

極秘

昭和八年一月十三日調

東和ノ米賃賤價爲替損失補給ニ關スル參考資料

拓務省殖産局

[Redacted text block]

[Faint vertical text columns]

目 次

- 一、東拓ニ對シ爲替差損補給ヲ必要トスル理由如何
- 二、案期損益表
- 三、昭和七年下期損益見込
- 四、案期利益金處分狀況
- 五、借入資本金及利息負擔表
- 六、不償債安現
- 七、不償債還益、爲替損及較差債却負擔表
- 八、資産ノ傾却方針及其ノ負擔表
- 九、地所收入負擔表
- 一〇、資産物費却益内詳表

一一、發行債券一覽表

一二、賠償債還豫想表

一三、役員報酬、賞與調

一四、課長支店長給與額調

一五、課長支店長本俸額調

一六、在勤手當新舊給額調

一七、舍宅料新舊給額調

一八、東拓、滿鐵、鮮銀、旭銀在勤手當比較表

一九、東拓、滿鐵、鮮銀、旭銀舍宅料比較表

二〇、政府納付金額

二一、東洋拓殖株式會社ニ付スル政府ノ保護

東拓ニ對シ爲替差損補給ヲ必要トスル理由

目次

第一、爲替損失補給ヲ爲サザルニ於テハ東拓ハ解散スルヤ

第二、東拓解散ノ場合ニ於ケル影響如何

第一 爲替損失補給ヲ爲サザルニ於テハ東拓ハ解散スルヤ

現在ノ對米爲替相場二十一弗ヲ基準トシ東拓米債ヨリ生スル昭和八年度ノ損失ヲ見ルニ約五百二十三萬圓ニシテ同年度ニ於ケル營業利益及經費節約ニ依ル利益ヲ榮顯好轉ヲ見込ミ二百十六圓ト假定スルモ尙三百七萬圓ノ缺損ヲ生スルコトトナルヘシ

斯ル状態ニテハ東拓ノ金繰困難ハ一層激化セラルルニ至ルベク東拓昭和七年十月五日^{發行}八十七回一千萬圓ノ募債ニ當リテモ發行者利廻ハ七分一厘ニシテ他會社發行ノ社債ニ比シ著シク不利ナルヲ見レサリキ

然モ右ハ爲替差損ニ付政府ハ何等カノ救済策ヲ講スヘシトノ一般的豫想ノ下ニ成立セルモノニシテ若シ政府ニ於テ何等ノ救済ヲモ爲サザルコト明瞭ト爲リタル場合ニ於テハ目前償還期ノ迫レル社債及米債ノ元利拂資金約二千萬圓

替損見込額表

(8.1.11改訂分)

還高 円	債権上益 円	為替差損 円	利 息			為替差損 円	取損 円
			屏	=円大厘替	21屏替		
168,600	367,730	413,747	466,755	936,311	2222,643	1256,332	1,331,946
978,527	577,331	551,175	486,000	975,319	2,315,238	1,339,521	1,313,765
1647,127	965,061	964,519	952,555	1,911,628	4,537,881	2,626,253	2,645,711
668,600	362,430	413,747	446,756	916,253	2,175,028	1,258,775	1,304,389
978,527	577,331	551,175	472,781	948,409	2,251,362	1,302,953	1,276,757
1647,127	965,061	964,519	925,562	1,864,662	4,426,350	2,561,728	2,581,186
1337,200	775,460	826,185	925,511	1,852,564	4,357,671	2,545,107	2,636,335
1,957,054	1,151,662	1,102,350	958,986	1,923,726	4,566,600	2,642,874	2,590,562
3,258,264	1,890,122	1,925,178	1,882,457	3,476,290	8,560,271	5,187,981	5,226,897

同日 21 屏トス

ノ 調達ハ殆ンド見込立タサル状態トナルベシ

昭和八年中外債償還差益及為替損見込額表

(8.1.11改訂分)

期別	國別	買入相場	現在高		償債基金			買入償還高		償還差益	為替差損	利息			為替差損	欲損
			円	円	円	円	円	円	円			円	円	円		
八年上期	25回	45円	5,555,500	31,210,351	149,585	300,870	714,214	333,300	668,600	364,730	413,744	446,755	936,711	2222,643	1,256,332	1,331,946
	57回	41円	17,680,110	35,446,500	158,558	401,196	952,371	487,800	978,527	547,331	551,175	486,000	928,319	2,315,238	1,335,521	1,313,765
	計		33,235,610	66,656,851	308,143	702,066	1,666,585	821,100	1,647,127	912,061	964,919	932,755	1,865,030	4,537,881	2,626,253	2,645,711
八年下期	25回	45円	15,225,200	30,541,751	149,585	300,870	714,214	333,300	668,600	364,430	413,744	446,755	916,253	2,175,028	1,258,775	1,304,355
	57回	41円	17,152,200	34,487,553	158,558	401,196	952,371	487,800	978,527	547,331	551,175	472,786	948,409	2,251,362	1,302,953	1,276,157
	計		32,377,400	65,029,304	308,143	702,066	1,666,585	821,100	1,647,127	911,761	964,919	919,541	1,864,462	4,426,390	2,561,728	2,581,512
合計	25回	45円	15,225,200	30,541,751	298,170	601,760	1,428,428	666,600	1,337,200	728,460	826,488	893,506	1,882,284	4,352,056	2,545,101	2,636,335
	57回	41円	17,152,200	34,487,553	305,386	802,392	1,904,742	975,600	1,957,054	1,094,662	1,102,350	958,786	4,573,726	4,566,600	2,642,874	2,590,562
	計		32,377,400	65,029,304	603,556	1,404,152	3,333,170	1,642,200	3,294,254	1,823,122	1,928,838	1,852,292	9,425,750	8,918,656	5,187,975	5,226,897

備考 社債買入償額ハ 第25回分 45円 } トニ為替相場ハ 21円トス
 (第57回分 41円)

(合計 25,111,181)

種別	金額	種別	金額	種別	金額	種別	金額
現金	1,234,567	債権	2,345,678	不動産	3,456,789	その他	4,567,890
債権	5,678,901	不動産	6,789,012	その他	7,890,123	現金	8,901,234
不動産	9,012,345	その他	10,123,456	現金	11,234,567	債権	12,345,678
その他	13,456,789	現金	14,567,890	債権	15,678,901	不動産	16,789,012
現金	17,890,123	債権	18,901,234	不動産	19,012,345	その他	20,123,456
債権	21,234,567	不動産	22,345,678	その他	23,456,789	現金	24,567,890
不動産	25,678,901	その他	26,789,012	現金	27,890,123	債権	28,901,234
その他	29,012,345	現金	30,123,456	債権	31,234,567	不動産	32,345,678
現金	33,456,789	債権	34,567,890	不動産	35,678,901	その他	36,789,012
債権	37,890,123	不動産	38,901,234	その他	39,012,345	現金	40,123,456
不動産	41,234,567	その他	42,345,678	現金	43,456,789	債権	44,567,890
その他	45,678,901	現金	46,789,012	債権	47,890,123	不動産	48,901,234
現金	49,012,345	債権	50,123,456	不動産	51,234,567	その他	52,345,678
債権	53,456,789	不動産	54,567,890	その他	55,678,901	現金	56,789,012
不動産	57,890,123	その他	58,901,234	現金	59,012,345	債権	60,123,456
その他	61,234,567	現金	62,345,678	債権	63,456,789	不動産	64,567,890
現金	65,678,901	債権	66,789,012	不動産	67,890,123	その他	68,901,234
債権	69,012,345	不動産	70,123,456	その他	71,234,567	現金	72,345,678
不動産	73,456,789	その他	74,567,890	現金	75,678,901	債権	76,789,012
その他	77,890,123	現金	78,901,234	債権	79,012,345	不動産	80,123,456
現金	81,234,567	債権	82,345,678	不動産	83,456,789	その他	84,567,890
債権	85,678,901	不動産	86,789,012	その他	87,890,123	現金	88,901,234
不動産	89,012,345	その他	90,123,456	現金	91,234,567	債権	92,345,678
その他	93,456,789	現金	94,567,890	債権	95,678,901	不動産	96,789,012
現金	97,890,123	債権	98,901,234	不動産	99,012,345	その他	100,123,456

第二 東拓解散ノ場合ニ於ケル影響如何

斯ル重大ナル結果ノ發生センカ東拓ニシテ若シ解散スル場合ニ於テハ一萬ニ
 餘ル比較的無産階級ニ屬スル株主ハ其產ヲ失フヘク而シテ此等株主ハ東拓ノ
 特殊性ニ鑑ミ政府ノ嚴重ナル監督ニ信賴セルモノナルヲ以テ政府ニ對シ怨嗟
 ノ聲ヲ發スルニ至ルベク又東拓六百ノ社員ハ失業ノ悲運ニ轉落セサルヘカラ
 ス

更ニ又政府ノ立場ニ於テモ外地其他東拓事業地ノ現状ヲ通觀スルニ不動産金
 融ト事業兼營ノ能力機能ヲ有スル機關ノ存在ノ緊切ニシテ此ノ種機關ノ活動
 ニ依ツコト甚タ多キハ謂フヲ俟タサル所ナルヲ以テ東拓ヲ解散セシムニ於
 テハ別個ニ同様ノ機關ノ創設ノ要アリ而シテ新機關ノ設立ニハ其間相當ノ時
 日ヲ要スルノミナラス東拓ノ失敗解散後ニ於テ此ノ種機關ノ株式ノ募集乃至

社債ノ募集ヲ爲サムト欲セハ勢ヒ政府ハ配當保證又ハ社債ノ元利拂保證等ノ
重大ナル犠牲ヲ負擔セサルヘカラス政府ハ一地方ノ開發ノ爲メ地方鐵道會社
ニ對シ其配當保證其他巨額ノ保護ヲ賦與セル現狀ニ鑑ミ東拓ノ如キ帝國ノ外
地及海外ノ經濟發展ニ重大ナル使命ヲ有スル此ノ種新會社ニ對シ東拓法第三
十九條ノ立法精神ニ準シ八分程度ノ配當保證ヲ爲ササルヲ得サルベシ
政府ハ昨年來不況打開ノ非常對策トシテ種々救濟施設ヲ政策ノ根幹トセルニ
際シ東拓ヲ解散セシムル如キハ財界ニ一大衝擊ヲ與フルモノニシテ政府ノ一
般の方策ヲ破壞シ政策ノ自殺トナリ國民ノ信賴ヲ天下ニ失墜スルコトトナル
ヘシ

次ニ東拓解散ノ場合ニ於ケル各方面ニ對スル影響ヲ具體的ニ表示スルハ左ノ如
シ

即東拓ヲ解散シタル場合各方面ニ及ホス損失ハ總計一億二千五百萬圓ニ達シ
内政府ノ家ルモノ五千二百五十萬圓政府以外ノ債權者ハ二千八百八十萬圓一
般株主ハ四千七百萬圓ノ巨額ノ損失ヲ夫々家ルコトトナル左ニ其影響ノ大要
ヲ列記スレハ

A、政府ニ及ホス影響

政府ハ東拓ニ對シ、株主、社債權者貸付者及外債ニ對スル保證人ノ立場
ニアリ其個々立場ニツキ見ルニ

(1) 株主トシテハ三百萬圓拂込済ノ株主ナルカ別表ノ如ク解散シタル場合ノ
東拓ノ資^産ニ評價ハ其債務ニ比シ七千八百五十萬圓ノ不足ヲ生スルヲ以テ

株主ニ對スル清算配當ハ皆無ナリ故ニ株金三百萬圓ハ損失トナル

(四) 社債權者トシテハ六千二百萬圓ノ社債ヲ有シ一般社債權者ト同一ノ立場ニ立チ清算配當ヲ受クルコトトナル東拓債券所有者ハ東拓法第二十七條ニヨリ東拓ノ財産ニツキ他ノ債權者ニ先チ辨濟ヲ受クル權利ヲ有スルヲ以テ別表解散ノ場合ノ純資産二億二千八百萬圓ハ總社債權額二億八千二百萬圓ニ按分スレハ八割強ノ配當ヲ受クルコトトナリ其結果此關係ニ於テ一千二百萬圓ノ損失トナル

(五) 米債保證關係ニ於テハ米債權者ハ一億六千三百六十萬圓(別表計算參照)ノ八割強即一億三千二百萬圓ノ配當ヲ受ケ其殘額三千^百五十萬圓ハ政府ニ於テ保證債務トシテ辨濟セサルヘカラス而シテ東拓資産ハ全部社債權者ニ按分配當セラルルヲ以テ此保證債務辨濟ハ政府ノ全損トナル

(六) 政府貸下金六百萬圓ハ一般債權者ト同一ノ立場ニアリ而シテ總資産ハ社債權者ニ分配セラレ殘餘無キヲ以テ全損トナル

以上四口ハ失合計五千二百五十萬圓ハ政府ノ損失總額トス

B、政府以外ノ債權者ニ及ホス影響

(一) 社債權者

(一) 内債ノ一般社債五千七百二十萬圓ハ八割強即四千六百二十萬圓ノ配當ヲ受ケ一千百萬圓ノ損失ヲ蒙ル

(二) 米債權者ハ政府ノ保證債務履行ニヨリ損失ヲ蒙ラス

(三) 定期預金者ハ其總額一千二百二十三萬圓全部ノ損失トナル

(四) 東拓ニ對スル貸付總額三百四十五萬圓ハ全部損失トナル

(五) 其他ノ債權者即契約保證金提供者身元積立金者解散ニヨル退職者等ノ契

約保証金、身元保証金、退職給與基金等合計貳日拾四萬四千圓ハ全部支拂不能トナル

C、株主ニ及ホス影響

拂込済株主ハ既拂込金全額ノ損失トナルノミナラス未拂込株ヲ有スル株主ハ總額一千五百萬圓ノ未拂込ヲ徴收セラルルコトトナリ而モ其總額ハ損失トナル

備考 前掲B項及C項ノ損失ハ當社カ^特株式會社ニ屬スル關係上政府ニ

於テ其ノ一部ヲ補償スルノ已ムヲ得サルコトトナルトキハ政府ノ負擔ハ一層増大トナルヘシ

D、一般經濟界ニ及ホス影響

政府、一般社債債權者、定期預金者、貸付銀行及株主ノ損失合計一億二千

五百萬圓ノ莫大ナル損失ヲ蒙リ東拓株ヲ擔保トセル金融業者ハ擔保無價他トナル結果損害ヲ蒙リ倒産者モ繰出スヘク又特殊銀行會社ニ對スル世人ノ信用ノ低下トナリ其結果場合ニヨリテハ財界ノ一大恐慌ヲ惹起スルノ導因トナル場合アルヤモ測リ難シ

斯ノ如ク巨額ノ損失ヲ各方面ニ及ホシ財界及一般社會ニ戰慄スヘキ結果ヲ招來スル虞レアルヲ以テ政府ハ東拓ノ爲替損失ニ對シ補給ヲ爲スハ事態ノ全局ヨリ遲延シ無庸ノ急ト謂ハサルヘカラス補給ヲ爲ス結果ハ東拓ハ其經營資金ノ調達可能トナリ其ノ國家的使命ト營利的使命ニ邁進シ純益ノ増加ヲ圖リ以テ政府及國民ノ權ヲ漸次低微シ得ヘク又一般財界ニ何等ノ動搖ヲ來スコト無カルヘシト信ス

解散ノ場合ノ政府損失豫想表

(一) 資産總高 二二八、一二八、三〇〇圓 (未拂込金千五百萬圓加算)

耐債権者債權總高 二八二、七七九、七〇〇圓

差引仕拂不能高 五四、六五、四〇〇圓 (此ノ配當歩合八割七厘)

(二) 政府損失總高 五二、五三、四〇〇圓

米債保證債務履行高 三一、五七、五七〇〇圓
 米債評價總高一六三、六〇四、八〇〇圓ノ一割九分三厘

預金部引受社債缺損高 一一、九五、五七〇〇圓
 (總額六一、九四、六四〇〇圓ノ一割九分三厘)

全 貸下金缺損高 六〇〇、〇〇〇圓 (全額)

株式拂込金缺損高 三〇〇、〇〇〇圓 (全額)

解散ノ場合ノ清算收支豫想表

對外債務總高	三〇六、六一〇、四〇〇圓 (附一參照)
右仕拂引當資産高	二一三、一二八、三〇〇圓 (附二)
差引不足高	九三、四八二、一〇〇圓
未拂込金徵收高	一五、〇〇〇、〇〇〇圓
再差引支拂不能高	七八、四八二、一〇〇圓

(附一)

株主勘定以外ノ負債評價調

種別	總負債高 (帳簿價額)	全上對外負債 評價高	備考
株主勘定	27,810,000	1	總負債高八十七年六月 末現在ナリ
政府拂込金	11,000,000	1	
内 一般拂込金	11,000,000	1	
内 積立金及繰越金	11,000,000	1	
社債發行高	18,025,000	18,279,900	
預金部資金	21,928,000	21,928,000	
内 米債	2,211,100	1,236,000	券面額三四三五七、〇〇弗
内 一般内債	19,717,000	20,692,000	二一弗替
借入金	25,858,000	25,858,000	

合計	雑	内 地所建物受高	爲替整理金	雑 資 金	定期預り金	内 預 金 部	
						一 般	預 金
¥1,100,000	¥1,300,000	¥21,000	¥2,000	¥81,500	¥1,111,200	¥531,800	¥579,400
¥6,610,000	¥1,300,000	—	—	¥1,200,000	¥1,111,200	¥531,800	¥579,400

(附二)

解散ノ場合ノ諸投資金ノ評價額

種別	帳簿價額	評價額	評價額	備考
拓殖資金供給高	1,698,800	1,200,000	1,584,800	帳簿價額ハ七年六月末現在ナリ
關係會社投資金	6,444,700	5,800,000	9,600,000	
内 産米増殖資金	2,211,000	2,211,000	—	
一 貸付金	8,900,000	3,590,000	9,400,000	
直營事業投資金	6,700,000	5,590,000	1,378,000	
農業投資金	1,111,000	1,111,000	—	
林業	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
内 殖民	5,528,000	5,528,000	5,710,000	

定期損益表

利益部

年度	内訳							合計
	山杯収入	地所収入	利預金利息	業収入	受託収入	業収入	特種収入	
昭和元年	五三三三	四七七八	一四四七	八七九四	一五七四二	一〇一七	五三三三	三三〇五三
昭和二年	四九二二	五六六三	四四六四	九七七五	一四一〇九	九七七五	四九二二	一九八五三
昭和三年	八八八七	四七七八	二八六四	七九八九	一〇九三三	九一五九	八八八七	一九〇五三
昭和四年	五四三四	五九一五	七四〇一	七九八四	七三三九	六五八七	五四三四	三三〇五三
昭和五年	四〇四七	一七一〇	三二七四	五七〇〇	五七九〇	四七〇九	四〇四七	二二〇五三
昭和六年	六九九五	一六八〇	三二一六	六九八〇	四六五三	四三三〇	六九九五	二二〇五三
昭和七年	六〇六五	二二二〇	五七五〇	六四〇九	六六八〇	七五八五	六〇六五	三三〇五三

種別	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年
總計	三三〇五三	一九八五三	一九〇五三	三三〇五三	二二〇五三	二二〇五三	三三〇五三
業投資金	一〇八九〇〇	九八四〇〇	一〇〇〇〇	九八四〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
市街地	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
特種事業	一〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
業用財産	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
手持金	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
合計	三三〇五三	一九八五三	一九〇五三	三三〇五三	二二〇五三	二二〇五三	三三〇五三

累期損益表

損失部

勘定科目	年度	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年
總損益		三、九三六、九三三	一、七〇九、四九四	一、七、二〇一、七七七	一、九三三、三三六	七、九二四、三三〇	八、二二一、四七一	八、〇五二、九六三
内訳								
雑収入		八〇、三三三	九五、九八〇	一、〇〇、九五四	七七、七四八	五〇九、九四九	五〇三、五九五	四一〇、五七〇
雑支出		四九、三四三	五七、五六六	五九、五三三	五九、九七二	五五、〇八三	五八、九四八	一七九、七五九
旅費		二、三六、六九〇	二、六、四九七	二、八、四九二	二、一、〇二二	一、五、九九一	一、三、三六四	一、四、〇九八
諸税		一、〇、〇〇〇	一、〇、〇〇〇	一、〇、〇〇〇	一、〇、〇〇〇	一、〇、〇〇〇	一、〇、〇〇〇	一、〇、〇〇〇
修繕費		一、〇、九三一	九四、三二二	七九、〇七一	七、七〇八	三、七三六	四、五五九	三、六一五
備用品費		一、四、三三〇	一、五、九〇五	一、五、一六四	一、一、九一五	六、四、五四五	六、〇、八二七	五、三、三三〇

勘定科目	年度	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年
建物収入		二、八七五、三五五	八、二五五、九七九	七、七三三、三〇九	五、五三三、三三〇	五、五三三、三三〇	四、五三三、三三〇	四、五三三、三三〇
地積収入		一、六、六〇〇	九、一、六三三	八、九、九九二	八、九、九九二	一、〇、九〇五	一、〇、九〇五	一、〇、九〇五
物産収入		六、〇、九四六	三、五、〇四三	四、一、四四四	二、七、六五三	五、〇、七三三	一、一、五八九	一、一、五八九
受託土地改良事業収入		一、二、六八三、三九九	七、八、六八八	一、〇、一、四七五	九、一、四三三	六、九、六〇〇	五、五、七五八	六、四、三、五九〇
雑収入		三、五、九三四	四、七、七五	三、七、三三二	三、七、三三二	三、七、三三二	三、七、三三二	三、七、三三二
前期繰越利益金		五、五、五三五						
当期損失金		五、五、五三五						
合計		一、九、九、七、九三三	一、九、八、五、六、九七九	一、九、四、五、七、七五	一、八、七、七、四、三三	一、九、一、二、三、五五	一、八、八、七、六、七	一、八、七、九、一、三三

昭和七年下期損益計算書											
利					損						
種	類	金額	種	類	金額	種	類	金額	種	類	
總	益	金	10,000.00	總	損	金	10,810.00	總	益	金	0.00
内				内							
貸付金利息		4,700.00		報酬及給料	4,000.00						
株券及債券收入		9,800.00		雜給	2,500.00						
特種事業收入		1,100.00		旅費	9,500.00						
受託事業收入		4,200.00		諸稅	5,840.00						
預々金利息		3,300.00		仕拂利息	5,700.00						
地所收入		2,540.00		修繕費	3,400.00						
山林收入		800.00		備品及消耗品費	5,300.00						
建物收入		1,390.00		通信費	0.00						

東京市直米代會士

合計	常利	特別利益	諸債利息	仕利利息	雜損	為寄花損	雜費	運賃	通言及
36,950.93	2,880.00	2,880.00	1,000.00	1,500.00	5,200.00		5,700.00	2,700.00	8,550.93
19,860.97	3,500.00		8,900.00	2,600.00	7,900.00		6,000.00	2,900.00	27,900.00
19,400.00	3,500.00		1,800.00	1,500.00	4,000.00		8,000.00	3,400.00	34,600.00
1,700.00			1,500.00	1,100.00	1,100.00		4,500.00	1,900.00	19,500.00
9,100.00	1,100.00		7,000.00	5,100.00	1,100.00		3,300.00	1,200.00	14,700.00
8,700.00	6,500.00		6,200.00	5,500.00	1,300.00		3,500.00	1,400.00	14,400.00
6,700.00	7,000.00		7,000.00	5,300.00	1,400.00		1,900.00	1,500.00	14,600.00
9,600.00	9,000.00		9,000.00	5,200.00	1,400.00		2,000.00	1,600.00	15,200.00
9,500.00	5,000.00		9,500.00	5,000.00	1,500.00		2,000.00	1,500.00	15,000.00

年 度	一	二	三	四	五	六	七
昭和	一	二	三	四	五	六	七
純益金	五九,四六九	二五,七六六	一九,四三二	一四,七五六	七,七〇一	二七,六三二	六九,三二五
繰越金	三五,九八四	四七,一五	三七,三七一	三,七五二	三,七八〇	一,二〇五	一,五七三
計	五五,四八五	二五,四二一	二二,一八四	一八,〇三〇	一一,一八〇	二八,八三七	七〇,九〇〇
準備金	五五,〇〇〇	二五,〇〇〇	二〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	六,五〇〇	二,三〇〇	五,〇〇〇
配當金	一〇,〇〇〇	二二,〇〇〇	四,〇〇〇	三,〇〇〇	二,〇〇〇	六,〇〇〇	一七,〇〇〇
役員賞與金	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	七,五〇〇	四,五〇〇	二,五〇〇	四,〇〇〇
繰越金	四七,一五	三三,三七一	三三,五二六	三三,八〇六	三三,三三三	一,二〇五	一,五七三
配當金	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇
配當率	年五分	年五分	年五分	年五分	年五分	年五分	年五分

累期利益金上處分状況

前 期	繰 越 金	當 期 利 益 金	諸 債 却 金	雜 損	雜 費	為 替 差 損	貸 借 料	保 險 料	農 事 助 費	仕 拂 手 数 料	作 業 費	運 搬 費
一〇,五六三,〇〇〇	五五,〇〇〇	一四,六〇〇	五九二,〇〇〇	一五三,〇〇〇	一三六,〇〇〇	二,〇〇〇	四一,〇〇〇	九,〇〇〇	八四,〇〇〇	六四,〇〇〇	三三,〇〇〇	八五,〇〇〇
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

備考 利益剰余金△印ハ当期損失金額ヲ示シ分配額ニ於ケル△印ハ損失補填金額ヲ示ス

東洋拓殖株式会社

借入資本高及利息償還表（自昭和二年（一九一一年）至全七年度上期）

社債	種別	借入資本高		利息償還	
		期末現在高	期內仕拂利息高	期末現在高	期內仕拂利息高
	二年度	2,836,931	172,137	2,280,841	222,822
	三年度	1,767,021	93,208	2,220,200	217,212
	四年度 (九ヶ月)	1,476,225	63,881	2,398,917	227,222
	五年度	1,201,668	98,693	2,155,114	227,222
	六年度	1,217,782	99,550	2,065,917	227,222
	七年度上期 (六ヶ月)	1,202,202	117,777	2,055,802	208,222

種別	二半期	三半期	四半期	五半期	六半期	七半期	八半期
現金	1,234,567	1,345,678	1,456,789	1,567,890	1,678,901	1,789,012	1,890,123
短期貸付	2,345,678	2,456,789	2,567,890	2,678,901	2,789,012	2,890,123	2,901,234
短期有価証券	3,456,789	3,567,890	3,678,901	3,789,012	3,890,123	3,901,234	4,012,345
長期貸付	4,567,890	4,678,901	4,789,012	4,890,123	4,901,234	5,012,345	5,123,456
長期有価証券	5,678,901	5,789,012	5,890,123	5,901,234	6,012,345	6,123,456	6,234,567
固定資産	6,789,012	6,890,123	6,901,234	7,012,345	7,123,456	7,234,567	7,345,678
流動負債	7,890,123	7,901,234	8,012,345	8,123,456	8,234,567	8,345,678	8,456,789
長期負債	8,901,234	9,012,345	9,123,456	9,234,567	9,345,678	9,456,789	9,567,890
純資産	9,012,345	9,123,456	9,234,567	9,345,678	9,456,789	9,567,890	9,678,901

借入金 資本高 役員退任金 賞与 剰余金 (株主) 二半期

東洋拓殖株式会社

項目	二半期	三半期	四半期	五半期	六半期	七半期	八半期
現金	1,234,567	1,345,678	1,456,789	1,567,890	1,678,901	1,789,012	1,890,123
短期貸付	2,345,678	2,456,789	2,567,890	2,678,901	2,789,012	2,890,123	2,901,234
短期有価証券	3,456,789	3,567,890	3,678,901	3,789,012	3,890,123	3,901,234	4,012,345
長期貸付	4,567,890	4,678,901	4,789,012	4,890,123	4,901,234	5,012,345	5,123,456
長期有価証券	5,678,901	5,789,012	5,890,123	5,901,234	6,012,345	6,123,456	6,234,567
固定資産	6,789,012	6,890,123	6,901,234	7,012,345	7,123,456	7,234,567	7,345,678
流動負債	7,890,123	7,901,234	8,012,345	8,123,456	8,234,567	8,345,678	8,456,789
長期負債	8,901,234	9,012,345	9,123,456	9,234,567	9,345,678	9,456,789	9,567,890
純資産	9,012,345	9,123,456	9,234,567	9,345,678	9,456,789	9,567,890	9,678,901

米債社債要項
外債發行條件

第貳拾五回米債計債

發行要項

一、發行總額 邦貨 三九九一九四〇〇圓 (邦貨換算貳圓六厘券)
米貨 一九九〇〇〇〇〇弗

一、發行價格 百弗 = 付九十二弗

一、引受手数料 百弗 = 付五弗

一、利率 年 六 分

一、券面種類 壹千弗、五百弗、貳圓、千弗券、一九三二、五枚、五百弗券、一、一五〇枚

一、利子支拂期 每年三月十五日、九月十五日

一、發行年月日 大正十二年三月十五日(一九二三年)

一、償還期限 昭和二十八年三月十五日

債名	金額	利率	償還期
米債	1,990,000	6%	昭和二十八年三月十五日
社債	3,980,000	6%	昭和二十八年三月十五日
合計	5,970,000		

一、償還方法

大正十二年九月十五日ヨリ昭和三年三月十五日(一五ヶ年間)迄毎半期二十五萬弗ノ償基金ヲ以テ買入償還シ昭和三年九月十五日以降ハ毎半期十五萬弗ノ償基金ヲ以テ買入償還シ種額ハ最終ニ於テ額面ニテ全部償還スルモノトス

一、引受者

ナシヨナル、シチーコンパニー(日本興業銀行)ナシヨナル、シチーバンク(代 表)

一、元利支拂場所

紐育ナシヨナル、シチーバンクニ於テ支拂フモノトス

但社債所有者ノ都合ニ依リ倫敦市又ハ東京市ニ於ケル支拂銀行ノ支店又ハ代理店ニ取

イブライム一則五五全

一、保 證

立依頼ヲ爲スコトヲ得ルモノトス
日本政府元和金支拂保證

タイプライター用紙製全

第七十五回米貨社債

發 行 要 項

- 一、發行總額 邦貨 三九九一九〇〇圓 (邦貨換算貳圓六厘計)
米貨 一九九〇〇〇〇〇圓
- 一、發行價格 百圓二付九十圓
- 一、引受手数料 三圓七五
- 一、利 率 年五分五厘
- 一、券面種類 壹千圓、五百圓、貳圓 (千圓券 一八九〇〇枚)
(五百圓券 二〇〇〇枚)
- 一、利子支拂期 毎年五月一日、十一月一日
- 一、發行年月日 昭和三年十一月(一九二八年)
- 一、償還期限 昭和三十三年十一月一日(一九五八年)
- 一、償還方法 昭和四年五月一日ヨリ昭和八年十一月一日(五

一、引受者
 一、元利支拂場所
 一、保 證

ケ年前一迄ハ毎半期二十萬磅ノ設備基金ヲ以テ
 買入償還シ昭和九年五月一日以降ハ毎半期十六
 萬磅ノ設備基金ヲ以テ買入償還シ昭和十六
 於テ額面ニテ全部償還スルモノトス
 ナシヨナル、シチー、コンパニー
 紐育ナシヨナル、シチーバンクニ於テ支拂フモ
 ノトス
 日本政府元利金支拂保證

東洋拓殖株式會社

米債償還益、爲替及取差償却費積立（自昭和元年度）
 至全七年度下期

年度別償還益	元金	分利息	損	差引純損益取差償却費
元年度 九三〇〇〇	一	一	一	三三〇〇〇〇〇
一年度 八二七九	一	一	一	一三三〇〇〇〇〇
二年度 一三三〇〇	一	一	一	一三三〇〇〇〇〇
三年度 一三三〇〇	一	一	一	一三三〇〇〇〇〇
四年度 一三三〇〇	一	一	一	一三三〇〇〇〇〇
五年度 一三三〇〇	一	一	一	一三三〇〇〇〇〇
六年度 一三三〇〇	一	一	一	一三三〇〇〇〇〇
七年度 一三三〇〇	一	一	一	一三三〇〇〇〇〇
上期 一三三〇〇	一	一	一	一三三〇〇〇〇〇
下期 一三三〇〇	一	一	一	一三三〇〇〇〇〇

年次	株主	株数	資本	利益	剰余金	負債	貸付	その他
千九百一十一年	株主	1,000	100,000	10,000	5,000	5,000	10,000	10,000
千九百一十二年	株主	1,000	100,000	10,000	5,000	5,000	10,000	10,000
千九百一十三年	株主	1,000	100,000	10,000	5,000	5,000	10,000	10,000
千九百一十四年	株主	1,000	100,000	10,000	5,000	5,000	10,000	10,000
千九百一十五年	株主	1,000	100,000	10,000	5,000	5,000	10,000	10,000
千九百一十六年	株主	1,000	100,000	10,000	5,000	5,000	10,000	10,000
千九百一十七年	株主	1,000	100,000	10,000	5,000	5,000	10,000	10,000
千九百一十八年	株主	1,000	100,000	10,000	5,000	5,000	10,000	10,000
千九百一十九年	株主	1,000	100,000	10,000	5,000	5,000	10,000	10,000
千九百二十年	株主	1,000	100,000	10,000	5,000	5,000	10,000	10,000

米穀貯蔵、穀物貯蔵、海産物貯蔵、製糖工場（至全十半不具）
 自開辦以來

東洋拓殖株式会社

資産ノ償却方針及其ノ實際

資産ノ償却ハ之ヲ普通償却ト特別償却トニ分チテ處理セリ以下各別ニ其ノ概要ヲ記述スヘシ

一、普通償却 雜物機械器具其他ノ所有物件ニシテ年限經過ト共ニ減價ヲ生スルモノ並ニ發行社債ノ帳差ニ對スル償却金ヲ指稱スルモノニシテ此種償却金ハ營業成績ノ如何ニ拘ラス所有物件ニ付テハ主トシテ其ノ耐久力、社債帳差ニ付テハ發行期間ヲ基準トシテ每期一定率ノ償却ヲ實行シ居レリ償却年額合左ノ如シ

(A) 雜物ハ期末現在高ニ對シ煉瓦造、石造、鐵筋コンクリート造

五十分ノ一木造ハ全二十分ノ一

(B) 機械ハ全五分ノ一

山陽鐵道ハ全五段、一

五十段、一本五ハ全二十段、一

國庫債ハ明治末發行額ニ達シ、戦時、津貼、國債ニシテ、一

一、五、十、二十、三十、四十、五十、六十、七十、八十、九十、一

百、二百、三百、四百、五百、六百、七百、八百、九百、一

千、二千、三千、四千、五千、六千、七千、八千、九千、一

万、十万、二十万、三十万、四十万、五十万、六十万、七

十万、八十万、九十万、一百万、一千万、一億、一億一

千万、一億二千万、一億三千万、一億四千万、一億五

千万、一億六千万、一億七千万、一億八千万、一億九

千万、二億、二億一千万、二億二千万、二億三千万、二

億四千万、二億五千万、二億六千万、二億七千万、二

億八千万、二億九千万、三億、三億一千万、三億二

億三千万、三億四千万、三億五千万、三億六千万、三

億七千万、三億八千万、三億九千万、四億、四億一

千万、四億二千万、四億三千万、四億四千万、四億五

千万、四億六千万、四億七千万、四億八千万、四億九

千万、五億、五億一千万、五億二千万、五億三千万、五

億四千万、五億五千万、五億六千万、五億七千万、五

億八千万、五億九千万、六億、六億一千万、六億二

千万、六億三千万、六億四千万、六億五千万、六億六

千万、六億七千万、六億八千万、六億九千万、七億、

七億一千万、七億二千万、七億三千万、七億四千万、

七億五千万、七億六千万、七億七千万、七億八千万、

七億九千万、八億、八億一千万、八億二千万、八億三

千万、八億四千万、八億五千万、八億六千万、八億七

千万、八億八千万、八億九千万、九億、九億一千万、

九億二千万、九億三千万、九億四千万、九億五千万、

八

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

報告書 昭和二十一年度決算書

一、資産の部

現金 1,000,000

債権 1,000,000

固定資産 1,000,000

流動資産 1,000,000

負債の部

短期負債 1,000,000

長期負債 1,000,000

純資産の部

資本金 1,000,000

剰余金 1,000,000

合計 1,000,000

收洋拓殖株式會社

農産物賣却益内訳表

年度別收入區分種類	数量	單價		原價	差引損益
		單價	總額		
年度別收入區分種類	数量	單價	總額	原價	差引損益
賣却益	100	1000	100,000	100,000	0
其他	100	1000	100,000	100,000	0
合計	200	1000	200,000	200,000	0

回別	発行高	償還高	現在高	発行 価格	利率	券面種類	利子 支拂期
第2回	2,000,000	1,250,000	750,000	100.00	5.3	五萬圓	3 ^年 1 ^回 9.1
第20回	2,000,000	300,000	1,700,000	100.00	6.0	十萬圓	6.1 12.1
第29回	250,000	80,000	170,000	100.00	5.5	五千圓	6.1 12.1
第39回	4,560,000	1,250,000	3,310,000	100.00	5.0	一萬圓	6.1 12.1
第41回	2,273,000	93,000	2,180,000	100.00	5.1	一萬圓	1.20 7.20
第42回	1,384,000	3,000	1,381,000	100.00	5.1	六萬七千七百圓 千五百圓	3.20 9.20
第46回	350,000	180,000	170,000	100.00	4.0	一萬圓	3.31 9.30
第48回	12,000,000	-	12,000,000	100.00	4.5	十萬圓	3.31 9.30
第49回	3,610,000	48,000	3,562,000	100.00	5.1	一萬圓	6.24 12.24
第50回	448,000	2,000	446,000	100.00	5.1	一萬圓	6.24 12.24
第54回	1,900,000	-	1,900,000	100.00	5.1	十萬圓	6.30 12.31
第55回	4,050,000	-	4,050,000	100.00	5.1	一萬圓	6.26 12.26
第56回	140,000	-	140,000	100.00	5.1	一萬圓	6.26 12.26
第61回	809,314	54,314	755,000	100.00	5.1	一萬圓・千圓 三百十四圓	5.20 11.20
第63回	1,725,762	146,762	1,579,000	100.00	5.1	一萬圓・千圓 七百六十二圓	6.27 12.27
第64回	844,000	-	844,000	100.00	5.1	一萬圓	3.20 9.20
第65回	453,000	-	453,000	100.00	5.1	一萬圓	3.20 9.20
第67回	3,212,000	1,846,000	1,366,000	100.00	5.1	一萬圓	3.31 9.30
第68回	258,000	-	258,000	100.00	5.1	一萬圓	3.31 9.30
第69回	280,000	96,000	184,000	100.00	5.1	一萬圓	3.31 9.30
第70回	724,000	50,000	674,000	100.00	5.1	一萬圓	4.15 10.15
第71回	159,000	-	159,000	100.00	4.5	千圓	3.31 9.30
第74回	5,230,000	-	5,230,000	100.00	3.0	一萬圓	6.30 12.31
第77回	4,900,000	272,000	4,628,000	100.00	4.8	一萬圓	3.31 9.30
第78回	1,525,000	-	1,525,000	100.00	4.5	一萬圓	3.31 9.30
第79回	385,000	12,000	373,000	100.00	4.8	千圓	3.31 9.30

発行 年月日	据置 満期日	償還 期日	每期償還額	回別	資金名
6.4.16	9.3.1	12.3.1	50,000以上	第2回	舊朝鮮農工債券引受者金
"	11.6.10	2.6.9	12.6.9	第20回	適宜償還
"	12.12.15	3.12.14	13.12.14	第29回	9,000以上
"	15.1.25	-	11.12.1	第39回	海外興業合社事業援助資金「第四回 (大正六、一一、二〇)ノ借替第三〇回 (大正一一、一二、二〇)ノ借替」
"	15.7.20	6.7.20	26.7.20	第41回	産米増殖資金(土地改良)
"	15.9.20	6.9.20	26.9.20	第42回	同(農事改良)
"	2.5.7	-	10.4.22	第46回	隨時償還
"	2.5.27	8.3.31	17.3.31	第48回	元利均等償還
"	2.6.24	7.6.24	27.6.24	第49回	産米増殖資金(土地改良)
"	2.6.24	7.6.24	27.6.24	第50回	同(農事改良)
"	3.6.25	-	20.12.31	第54回	隨時償還
"	3.6.26	8.6.26	28.6.26	第55回	産米増殖資金(土地改良)
"	3.6.26	8.6.26	28.6.26	第56回	同(農事改良)
"	4.11.20	-	28.5.20	第61回	償還年次表=依ル
"	4.12.27	-	28.6.27	第63回	償還年次表=依ル
"	5.3.20	10.3.20	29.3.20	第64回	産米増殖資金(土地改良)
"	5.3.20	10.3.20	29.3.20	第65回	同(農事改良)
"	5.6.30	10.3.31	30.3.31	第67回	同(土地改良)
"	5.6.30	10.3.31	30.3.31	第68回	同(農事改良)
"	5.9.10	6.3.31	10.3.31	第69回	償還年次表=依ル
"	5.12.1	-	22.10.15	第70回	水利組合高利債借替資金「第五一回 (昭和二、一〇、一五)ノ借替」
"	5.12.12	10.3.31	25.3.31	第71回	災害(水利組合)救済資金
"	6.1.15	-	8.12.31	第74回	適宜償還
"	6.7.11	-	26.3.31	第77回	償還年次表=依ル
"	6.8.10	11.3.31	31.3.31	第78回	産米増殖資金(土地改良)
"	6.11.10	-	26.3.31	第79回	償還年次表=依ル

回別	発行高	償還高	現在高	発行 価格	利率	券面種類	利子 支拂期
第80回	1,349,000	-	1,349,000	100.-	4.5	萬圓	3.31 9.30
第81回	30,200	-	30,200	100.-	5.1	百圓	3.31 9.30
第82回	13,700	-	13,700	100.-	4.8	百圓	3.31 9.30
第83回	5,000,000	1,020,000	2,598,000	100.-	4.8	萬圓	3.31 9.30
第84回	2,003,000	-	2,003,000	100.-	4.5	千圓	3.31 9.30
第85回	3,150,000	280,000	2,870,000	100.-	4.0	千圓	3.31 9.30
第86回	1,477,000	-	1,477,000	100.-	4.5	千圓	2.27 8.27
合計	6,842,900	1,300,000	4,242,900				

発行 年月日	据置 満期日	償還 期日	毎期償還額	回別	資金名
6.11.25	11.3.31	31.3.31	1000000	第80回	産米増殖資金(土地改良)
" 7.2.25	" 11.3.31	" 26.3.31	償還年次表=依ル	第81回	歳入賦陥水利組合償還資金
" 7.2.25	" 11.3.31	" 26.3.31	償還年次表=依ル	第82回	同
" 7.4.15	"	" 27.3.31	償還年次表=依ル	第83回	土地改良事業高利債借替資金
" 7.4.25	"	" 8.3.31	適宜償還	第84回	業務擴張資金「第四五回(昭和二、五、二七)ノ借替」
" 7.4.25	"	" 8.3.31	適宜償還	第85回	滿洲金融流通資金「第四七回(昭和二、五、二七)ノ借替」
7.8.27	12.8.27	32.8.27	1000000	第86回	産米増殖政府資金(土地改良)

内										
八五回	八四回	八三回	七九回	七七回	七〇回	六九回	六三回	六一回	五〇回	四九回
三、八七〇、〇〇〇	三、〇〇三、〇〇〇	一、〇五〇、〇〇〇	六、〇〇〇	八、二〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	三、四〇〇、〇〇〇	二、七〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
三、三一	三、三一	三、三一	三、三一	三、三一	四、一五	三、三一	六、二七	五、二〇	六、二四	六、二四

東洋拓殖株式会社

期	八 中 土 國 東 洋	内				計 數 日 日	備 考
		一	二	三	四		
期	一八八五、六〇八三	一〇〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	三、一五	東洋拓殖株式会社
期	一八八五、六〇八三	一〇〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇	三、一五	東洋拓殖株式会社

推定額
一、八八五、六〇八三
一、五八、一七

東洋拓殖株式会社

外					内		八年下期總額	紙債社債
二	五	二	二	二	二	二	二	二
五	七	回	回	回	回	回	回	回
送金額	送金額	送金額	送金額	送金額	送金額	送金額	送金額	送金額
一、五二一、五八三	六五二、一三五	二九四、〇〇〇	八六九、四四八	四三七、一〇〇	八九四、九〇八	七四二、七五〇	五〇〇、〇〇〇	一、五〇〇
三、一五	五	九	九	九	九	九	九	九
送金額一四九九一弗、買入單價 五一弗、偽替相場二三弗、一括孤内 八買入券面高)	送金額一九九九七三弗、買入單價 四五弗四分ノ三、偽替相場二三弗 (一括孤内八買入券面高)	一括内替替						

東洋拓殖株式會社

内									
八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
回	回	回	回	回	回	回	回	回	回
送金額	送金額	送金額	送金額	送金額	送金額	送金額	送金額	送金額	送金額
二八、〇〇〇	一〇、〇〇〇	八、〇〇〇	六、〇〇〇	四、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇
九、三	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一	三、一
送金額一四九九一弗、買入單價 五一弗、偽替相場二三弗、一括孤内 八買入券面高)	送金額一九九九七三弗、買入單價 四五弗四分ノ三、偽替相場二三弗 (一括孤内八買入券面高)	一括内替替							

東洋拓殖株式會社

内										
七 七 回	七 四 回	七 〇 回	六 九 回	六 三 回	六 一 回	五 六 回	五 五 回	五 〇 回	四 九 回	四 八 回
八 四 〇 〇 〇	五 二 三 〇 〇 〇	一 四 〇 〇 〇	三 五 〇 〇 〇	二 七 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇 〇	五 四 〇 〇 〇	一 〇 〇 〇 〇	五 一 〇 〇 〇	一 三 五 〇 〇 〇
九 三 〇	一 三 三 一	一 〇 一 五	九 三 〇	一 三 二 七	一 一 二 〇	一 三 二 六	一 三 二 六	一 三 二 四	一 三 二 四	九 三 〇

東洋拓殖株式会社

長	内	入 手 可 得 額	別 項 非 費	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月
二 五 〇 〇 〇	五 十 〇 〇 〇	八 十 〇 〇 〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一 五 二 一 五 八 三	一 二 六 四 一 〇 〇 〇	八 六 六 〇 〇 〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

東洋拓殖株式会社

八年中償還額	内		外	
	五七回	二五回	八三回	七九回
二七、八〇、八一、六六	(八六、九四、四八、 四三、七二、〇〇、 〇〇)	送金額 (二六、五二、一三、 二九、四一、〇〇、 〇〇)	一、五二、一、五八、 三	六〇〇〇
	一一、	九一、	九三、	九三、
	一	五	〇	〇
	(送金額一九、九七、 四五、四分、三、 括弧内八買入券面高)	送金額一四、九九、 八一、五分、三、 括弧内八買入券面高)	一、四九、九、 一、弗、買入單價	

東洋拓殖株式會社

内									
四八回	四九回	五〇回	五一回	五二回	五三回	五四回	五五回	五六回	五七回
一、三、五、〇、〇、〇、〇	一、三、五、〇、〇、〇、〇	一、三、五、〇、〇、〇、〇	一、三、五、〇、〇、〇、〇	一、三、五、〇、〇、〇、〇	一、三、五、〇、〇、〇、〇	一、三、五、〇、〇、〇、〇	一、三、五、〇、〇、〇、〇	一、三、五、〇、〇、〇、〇	一、三、五、〇、〇、〇、〇
六、三、〇	六、三、〇	六、三、〇	六、三、〇	六、三、〇	六、三、〇	六、三、〇	六、三、〇	六、三、〇	六、三、〇

東洋拓殖株式會社

年度	昭和元年度		二年度		三年度		四年度		五年度	
	賞	報	賞	報	賞	報	賞	報	賞	報
総数	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
理事	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇
常任監事										
備考	特別整理ノ為役員賞與ナシ									

(一) 役員報酬、賞與調

東洋拓殖株式会社

八年中計		八年度		七年度		六年度		五年度	
賞	報	賞	報	賞	報	賞	報	賞	報
六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇
六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇

東洋拓殖株式会社

計	年 度							昭和元年度	員 數	本 俸 給	其 他 俸 給	合 計	一 人 當 給 額
	七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度	一年度						
一八一四六一、五八〇	二六六、九〇〇	二六一、五六〇	二七六、八〇〇	二七七一、五八〇	二七七〇、九二〇	二四六、三七二〇	二四六、五一一〇	三三〇、二〇〇	九八一、二〇〇	四〇八、八			
二三七、二六五、六九八、八四五	三四、二一八	三三、八四二	三四、九九〇	三一、一六五、一〇二、七四五	三六、六一〇、一〇七、五三〇	三三、四二〇	九七一、四〇〇	四〇、四八	三、九八三	三、八〇五			
三、八六一	三、六五八	三、六六九	三、八〇七	三、八〇五	三、九八三	四、〇四八	四、〇八八						

員 長、支店長給與額

其ノ一

東洋拓殖株式会社

昭和六年度		昭和七年		昭和八年		昭和九年	
員 數	二四	二六	二七	二七	二四	二六	二七
本 俸 給	六五、一〇〇	六六、九二〇	六七、八〇〇	七一、五八〇	七〇、九二〇	六三、七二〇	六五、一〇〇
其 他 俸 給	三三、〇二〇	三三、八四二	三四、九九〇	三一、一六五、一〇二、七四五	三六、六一〇、一〇七、五三〇	三三、四二〇	三三、〇二〇
合 計	九八、一二〇	一〇〇、七六二	一〇二、七九〇	一〇二、七四五	一〇七、五三〇	九七一、四〇〇	九八、一二〇
一 人 當 給 額	四、〇八八	三、八〇五	三、八〇七	三、八〇五	三、九八三	四、〇四八	四、〇八八

在勤地	東	何 税 行 (昭和六年八月十五日ヨリ施行)					
		長、支店月俸二百円以上	長、支店月俸百五十円以上	長、支店月俸百円以上	長、支店月俸七十円以上	長、支店月俸七十円未満	東
大連、青島	七〇	六〇	五〇	四〇	三〇	二五	二〇
大連、青島	七五	六〇	五〇	四〇	三〇	二五	二〇
大連、青島	五〇	四〇	三〇	二〇	一五	一〇	一〇
大連、青島	五五	四五	三五	二五	二〇	一五	一〇
大連、青島	六〇	五〇	四〇	三〇	二五	二〇	二〇
大連、青島	六〇	五〇	四〇	三〇	二五	二〇	二〇

東洋拓殖株式会社

支店	支店	支店	支店	支店	支店	支店	支店	支店	支店
大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島
大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島
大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島
大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島
大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島
大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島
大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島
大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島
大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島	大連、青島

昭和六年八月十四日迄
支店長月俸超過額

備考	支那			滿洲		
	丙	乙	甲	丙	乙	甲
右表金額ハ何レモ有家族者ノ場合ヲ示スモノニシテ單身者ニ	支店長、出張所長	本俸二〇〇圓以上	本俸一五〇圓以上	本俸一〇〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上
右表金額ハ何レモ有家族者ノ場合ヲ示スモノニシテ單身者ニ	支店長、出張所長	本俸二〇〇圓以上	本俸一五〇圓以上	本俸一〇〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上
右表金額ハ何レモ有家族者ノ場合ヲ示スモノニシテ單身者ニ	支店長、出張所長	本俸二〇〇圓以上	本俸一五〇圓以上	本俸一〇〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上
右表金額ハ何レモ有家族者ノ場合ヲ示スモノニシテ單身者ニ	支店長、出張所長	本俸二〇〇圓以上	本俸一五〇圓以上	本俸一〇〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上

乾洋拓殖株式會社

備考	支那			滿洲		
	丙	乙	甲	丙	乙	甲
支店長、出張所長	本俸二〇〇圓以上	本俸一五〇圓以上	本俸一〇〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上
支店長、出張所長	本俸二〇〇圓以上	本俸一五〇圓以上	本俸一〇〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上
支店長、出張所長	本俸二〇〇圓以上	本俸一五〇圓以上	本俸一〇〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上
支店長、出張所長	本俸二〇〇圓以上	本俸一五〇圓以上	本俸一〇〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上	本俸七〇圓以上

南洋拓殖株式會社

年度	日	種別	金額	出所
全十二年	八月十三日	種十五種	三〇〇〇〇〇	日本銀行
全十一年	八月二十五日	種十四種	三〇〇〇〇〇	全
大正十二年	八月一日	種十三種	一十八〇〇〇	海軍省

東洋拓殖株式会社
同種別補給金出所表

東洋拓殖株式会社ニ對スル政府ノ保護
一、補給金ノ交付

政府ハ東拓會社ノ設立ヲ援助シ之ガ円滿ナル發達運行ヲ助成セシムルノ趣旨ヲ以テ東拓法第三十九條及第四十條ノ規定ニ基キ設立登記ノ日ヨリ八年間ヲ限り毎年金三十萬圓ヲ毎營業期ニ割當テ補給スルコトトシ明治四十一年度ヨリ大正四年度迄八ヶ年間總額ニ三七八、〇〇〇圓、補給金ヲ交付シ其後大正九年度ヨリ十一年^は迄ノ三ヶ年間七七八、〇〇〇圓ノ償還ヲ爲シ現在ニ於ケル補給金殘高八一六、〇〇〇、〇〇〇圓ナリ。

〔參照〕 東拓法第三十九條

政府ハ東洋拓殖株式會社ニ對シ設立登記ノ日ヨリ起算シ八年間ヲ限り毎年金三十萬圓ヲ毎營業期ニ割當テ補

給スベシ 但シ毎營業期ニ於ケル利益配當カ拂込資本額ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スルトキハ其超過額ニ相當スル金額ヲ補給金ノ内ヨリ控除ス

東拓法第四十條
利益配當カ拂込資本額ニ對シ年一割ノ割合ヲ超過スル時ハ其超過金額ハ先ツ之ヲ前條補給金ノ償還ニ充ツヘシ
前項ノ償還ヲ終ヘタル時ハ該超過金額ハ其半額ヲ特別積立金トスヘシ

二 社債ノ保證

政府ハ東拓會社ノ資金繰上ニ便益ヲ興フル為同社ガ外國ニ於テ社債ヲ發行セル場合帝國議會ノ協賛ヲ經テ其元利支拂ノ保證ヲ為シタリ

第一回佛貸社債（大正二年三月發行 大正十三年十一月總額期限

前償還ヲ為シタリ）第二十五回及第五十七回米貸社債即チ之ナリ。

東拓外債社債表

（昭和八年一月十三日現在）

回別	發行總額	現在高	利率	發行年月日	償還年月日	政府ノ元利支拂保證限度
第一回佛貸社債	一九三五、〇〇〇 (五〇、〇〇〇、〇〇〇)	一四、〇〇〇、〇〇〇	五、〇	大正二年三月	昭和十三年十一月	二〇、〇〇〇、〇〇〇圓 (明治四二年八月第三議會協賛)
第二回米貸社債	三九、九一九、四〇〇 (九、九〇〇、〇〇〇)	三三、二二〇、三五一	六、〇	大正二年三月	昭和十三年五月	四〇、〇〇〇、〇〇〇圓 (大正二年三月第三議會協賛)
第五回米貸社債	三九、九一九、四〇〇 (九、九〇〇、〇〇〇)	三五、四六六、八〇〇	五、五	昭和二年三月	昭和十三年五月	四〇、〇〇〇、〇〇〇圓 (昭和五年五月第五議會協賛)
合計	九九、八三八、〇〇〇	六六、六七六、四五一 (三三、二二五、〇〇〇)				

三 不均一配當

昭和元年度同社特別整理ニ關聯シ政府ハ之カ援助策トシテ東拓法第四十條ノ二ノ規定ニ依リ昭和二年度決算ヨリ五ヶ年

間政府持株ニ對スル配當ノ免除外違裁ヲナシ以テ此ノ金額
 ハ同社整理資金ニ充當セシメタリ
 政府持株六萬株ニ對スル配當免除額

年	度	配當率	金額	備考
昭和二	年度	年五%	一五〇,〇〇〇	
全三	年度	五〇	一五〇,〇〇〇	
全四	年度	五〇	一一二,五〇〇	九ヶ月分
全五	年度	四〇	六〇,〇〇〇	
全五	年度	三〇	四五,〇〇〇	
全六	年度	三〇	四五,〇〇〇	
全七	年度	無配	六〇七,五〇〇	
計				

東洋拓殖株式会社

日魯鐵業株式相場

(一五〇圓掛込分)

日	期	相	場	日	期	相	場	日	期	相	場
七	七	一	四〇〇	七	一	一	三	七	〇	七	一
七	一	〇	三	七	〇	一	〇	一	〇	三	五
七	二	〇	三	六	五	一	〇	二	〇	三	八
八	一	三	四	八	一	一	一	四	七	〇	〇
八	一	〇	三	五	〇	一	一	〇	四	六	五
八	二	〇	三	六	〇	一	一	二	〇	五	一
九	一	三	九	五	一	一	一	五	〇	七	七
九	一	〇	三	七	二	一	一	一	〇	六	三
九	二	〇	三	七	八	一	一	二	〇	六	七

備考 山一日報ノ現物相場ニ依ル

七下	七上	六	五	四	三	二	一	
損							損	當期益金
四〇〇〇〇	二〇〇〇〇	一、四〇〇	一、〇〇〇	一、四〇〇	一、九〇〇	三、五〇〇	五、九〇〇	
一、四〇〇	七、五〇〇	益 一、五〇〇	益 三、五〇〇	益 一、二七〇	益 一、一三〇	益 一、一五〇	益 九、四〇〇	爲替差損
一、〇〇〇	九、六〇〇	一、四一五	一、〇〇〇	一、五二七	一、九〇〇	二、六一五	六、〇〇〇	事業益金

事業益

日書編纂所支辨簿

（正口通帳）

日	摘要	借	貸	日	摘要	借	貸
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31

日書編纂所支辨簿

昭八、一〇

東拓救済案審議要項

一 現状

要償却資産壹千萬圓餘

資産ノ評價増ヲナシ得ル餘裕約壹千萬圓

長期負債ニ對スル長期投資ノ過剩額約五千萬圓

短期負債ニ對スル短期投資ノ不足額約五千萬圓

爲替差損ノ影響少カリシ過去四期ノ利益平均約七拾萬圓

昭和八年中ニ支拂ヲ要スル元利金約參千七百五拾萬圓

内二月十五日ヲ償還期トスルモノ壹千萬圓アリ

三 救済ニ付キテハ缺損補填ト資金難緩和ノ兩方面ヲ考慮スル要アリ

四 要補給金相當額ヲ起償セシメ其ノ元利拂ニ要スル資金ヲ補給スル方

法ハ會社ノ爲ニハ勿論國家財政ノ上ヨリモ必ズシモ有利トハ斷ズル

五 大體ニ於テ理財局案第一項ハ之ヲ容認スルモ第二項中

大蔵省

東拓法第四十條ノニ
政府ノ所有スル株式ニ對シテハ昭和二年度以降昭和六年
度迄ノ毎營業期ノ利益配當ニ限リ政府以外ノ者ノ所有スル
株式ニ對スル配當ノ割合ヨリ年五分ヲ低下シタル割合ヲ以テ
配當ヲ屬スコトヲ得。

〔參照〕 東拓法第四十條ノニ

政府ノ所有スル株式ニ對シテハ昭和二年度以降昭和六年
度迄ノ毎營業期ノ利益配當ニ限リ政府以外ノ者ノ所有スル
株式ニ對スル配當ノ割合ヨリ年五分ヲ低下シタル割合ヲ以テ
配當ヲ屬スコトヲ得。

四. 特別能力

會社ハ商法上有スル一般能力ノ外資金充實ニ関シ東拓法上ニ於テ
更ニ左ノ特別能力ヲ有ス

(イ) 資本増加ハ株金全額ノ拂込ヲ要セス(東拓法第四條)

(ロ) 拂込資本額ノ十倍ヲ限リ東洋拓殖債券ヲ發行スルコト得
而シテ其債券ヲ發行スル場合ニ於テハ株主總會ノ決議ニ

依ルヲ要セズ(東拓法第二十三條)

拓
務
省

昭和七年十一月

帝國議會
說明資料
業務概要



東洋拓殖株式會社

帝國議會說明資料目次

◎總說

- 一 會社設立ノ經過
- (一) 設立ノ趣旨
- (二) 法律ノ制定
- (三) 會社ノ創立
- 二 資本金
- 三 社債
- 四 政府ノ監督及保護
 - (一) 一般監督事項
 - (二) 特別監督事項
- 五 保護

- 一 補給金
- 二 社債ノ保證
- 三 不均一配當
- 四 特別能力
- 五 監督官廳
- 六 役員、職員
- 七 役員職制
- 八 現役員
- 九 退任役員
- 一〇 職員俸給
- 一一 在勤手當
- 一二 職員社宅料

- 一三 職員ノ員數並給與額調
- 一四 營業所及其ノ管區
- 一五 土地改良部廢止ノ理由及顛末

◎金融

- 一六 貸付概況
- 一七 總貸出高表
- 一八 財界ノ状況ト當社ノ金融業務
- 一九 總貸出高地方別ノ譯表
- 二〇 朝鮮各店別貸出高ノ譯表
- 二一 滿洲、北部支那及南洋各店別貸出高ノ譯表
- 二二 貸付金用途別ノ譯表

4 大水利組合其ノ他ノ公共團體ニ對スル貸出高表

七 臺灣銀行保證貸付状況

八 貸付金利率

九 株券及債券ノ引受

一〇 引受株券

一一 引受債券

一二 産米増殖計畫ニ基ク資金ノ取入及貸付状況

一三 資金ノ取入

一四 貸付状況

一五 土地改良資金

一六 農事改良資金

一七 産米増殖資金貸出店別表

五二

五三

五四

五五

五六

五七

五八

五九

六〇

六一

六二

六三

◎ 事業

一 社有地ノ經營

一〇 事業用地

一一 稻作及小作料ノ調整

一二 殖産施設

一三 稻作ノ改良

一四 貸付物品

一五 金肥ノ配給

一六 緑肥栽培ノ奨励

一七 採 耕

一八 玄米收納

一九 指導部署

七一

七二

七三

七四

七五

七六

七七

七八

七九

八〇

八一

- 八 優良小作人続ノ表彰 九七
- 九 芸 評 會 九七
- 一 農事講習、雜誌會 八八
- 二 副業ノ奨励 八九
- 三 小作人ノ保護施設 八九
- 四 食糧ノ貸付 八九
- 五 種子救済會 九〇
- 六 奨励資金ノ給與 九〇
- 七 農事改良事業區 九〇
- 八 指導方法 九一
- 九 農事改良施設 九二
- 一〇 農事改良事業區支店別設置数 九二

- 五 農産物ノ處分 九四
- 一 鮮肉賣却 九五
- 二 内地賣却 九五
- 六 山林事業 九六
- 一 經營面積 九六
- 二 造林面積 九八
- 三 昭和七年春期ニ植栽セリ新補植、梅種造林面積 九八
- 四 苗圃 一〇〇
- 五 竹 林 一〇一
- 七 土木事業 一〇一
- 一 社有地ノ維持修築工事 一〇二
- 二 社有地ノ改良工事 一〇四

三 水墾地ノ開墾事業

四 水利事業ノ普及

五 朝鮮産木増殖計畫ニ依ル土地改良事業

八 製塩事業

九 殖民事業

一 移住民ノ募集

二 移住民ノ現在戸数

三 移住民割當地

四 移住民ニ對スル保護施設

五 移住民ノ状況

一〇 特殊事業

一 支那炭礦

一〇七

一〇八

一一〇

一一二

一一三

一一三

一一五

一一六

一一四

一一〇

一一三

一一七

一 支那棉作事業

二 天津紡織事業

三 馬來半島ニ於ケル土地經營

四 朝鮮都市經營株式會社

五 中東海林採木有限公司

六 ホル木才土地經營

一八

一四〇

一四二

一四三

一四四

一四九

◎ 計 算

一 自第廿三期附資産

二 全 上負債

三 全 上利益

四 全 上損失

一五一

一五三

一五五

一五六

五 各期別損益比較表
大昭和七年下期損益豫算書

一 滿洲事件ノ事業上ニ及ボシタル影響並ニ對策	五九
二 滿洲ニ於ケル投資狀況	六三
一 投資額調	六三
二 關係會社投資額調	六四
三 貸付金ノ貸出、回收狀況	六五
四 株券調	六七
五 債券調	六八
六 特殊事業資金調	六九

總 說

一 會社設立ノ經過

一 設立ノ趣旨 明治三十九年我帝國ハ日韓新協約ニ依リテ
 韓國ヲ指導啓發シ以テ朝鮮民族ヲシテ文明ノ恩澤ニ浴セ
 シムヘキ國際的使命ヲ有スルニ至レリ而シテ朝鮮民族ヲ
 指導啓發スルハ其ノ途一ニシテ是ラスト雖殖産興業ノ道
 ヲ振興シ以テ朝鮮民族ノ生活ヲ向上セシムルト同時ニ國
 家財政ノ資源ヲ培養スルノ急務ナルニ若クハナシ由來朝
 鮮ノ地タルヤ比較的平坦地多ク地勢氣候其他天然ノ條件
 ハ産業ノ基礎ヲ農事ニ置クノ必要アルニ拘ラス從來土地
 ハ荒廢ニ委シテ顧ミラレス耕地面積僅ニ全面積ノ百分ノ
 九内外ニ過キサリキ從テ之ヲ開墾シ或ハ堤防ヲ築テ或ハ

用水ノ便ヲ開カハ耕地ト化シ得ヘキモノ多カラズ殊ニ朝鮮在來ノ農法タルヤ極メテ幼稚ニシテ財力亦疲弊シ其ノ天恵ヲ活用シテ農業ノ進歩ヲ企圖スルノ實力ヲ有セサリシカハ必然ノ勢トシテ我帝國ハ資本ト進歩シタル農法トヲ朝鮮ニ輸入シ加フルニ文明ノ技術ヲ以テシ朝鮮農民ヲ指導啓蒙スヘキ機關ヲ作ルノ必要ニ迫ラレタリ

(四) 法律ノ制定、政府ハ茲ニ觀ル所アリ其ノ監督、指導保護ノ下ニ朝鮮開拓ノ便令ヲ全フスヘキ特殊ノ會社ヲ設立セシムルコト、シ明治四十一年三月十八日帝國議會ニ東洋拓殖株式會社法案ヲ提出スルニ至レリ斯クテ該法案ハ衆議院ニ於テ若干ノ修正ヲ施サレタル上三月二十六日兩院ヲ通過シ同年八月廿六日法律第六十三號ヲ以テ公布セラ

レタリ而シテ一方韓國政府ニ於テモ我法律ニ照應シテ略同様ノ内容ヲ有スル法律ヲ發布シ同時ニ日韓取極メニ依リ東洋拓殖株式會社ニ關スル監督權ヲ日本政府ニ委任シタリ

(三) 會社創立、日韓兩國ハ明治四十一年九月設立委員(柳本健三ハニ君)ヲ任命シ該設立委員ニ於テ定款ヲ作成シ同年十月八日日韓兩國政府ノ認可ヲ受ケ十一月一日ヨリ株式募集ニ着手シタリ該株式募集ノ要項中主ナルモノヲ摘記スレハ左ノ如シ

(一) 會社ノ資本金ハ壹千萬圓ニシテ株式數貳拾萬株壹株ノ金額五拾圓トス

(二) 韓國政府ハ田五千七百町歩、畑五千七百町歩ヲ當會社

へ出資ニ其ノ價格參百萬圓ニ相當スル六萬株ヲ引受ク
 三 募集スヘキ株式數ハ貳拾萬株ノ内韓國政府引受濟株數
 六萬株ヲ除ケタル拾四萬株中千株ヲ控除シ其ノ殘拾參
 萬九千株ヲ公衆ヨリ募集スルモノトス

四 當會社ノ株式申込人ハ日韓兩國人ニ限ルモノトス
 右株式公券ヲ發長スルヤ之カ應募盛況ヲ極メ其ノ最終日
 タル十一月十日ニハ實ニ四拾六萬五千六百貳拾壹株ノ多
 キニ達シ募集株數ノ約參倍半ニ達スルノ盛況ヲ呈シタリ
 而シテ右ノ内八千參百株ハ日韓帝室並ニ皇族ヨリノ御申
 込株ニシテ之ヲ優先募入トシ殘餘ノ申込株數ニ對シテハ
 按分比例ヲ以テ募入株數ヲ確定シ同年十二月十四日總株
 ニ付第一回ノ掃込ヲ完了シ同月二十八日創立總會ヲ開キ

二 資本金

異議ナク可決シ茲ニ東洋拓殖株式會社ノ成立ヲ見タリ

當會社ノ資本金ハ設立當初ハ壹千萬圓ナリシカ大正六年法
 律第二十三號ヲ以テ當會社法中改正セラレ業務地域ヲ「朝
 鮮及外國」ニ營業項目ヲ「拓殖資金ノ供給其ノ他拓殖事業」
 ニ擴張セラレタル結果滿蒙發展ノ第一歩トシテ新ニ奉天及
 大連ニ支店ヲ開設シ更ニ進シテ南洋其ノ他ノ方面ニ漸次發
 展ヲ講スル爲資本金増加ノ必要ヲ認ムルニ至リ大正七年五月
 二十二日定時株主總會ノ決議ニ依リ更ニ資本金壹千萬圓ヲ
 増加セリ

資本金壹千萬圓ヲ増加シ且社債及借入金ヲ以テ資金ヲ
 調達シ放資ニ備フル所アリタルモ資金ノ需要益々旺盛トナ

ルト同時ニ世界ノ大戦モ終息ヲ告ケ各國競フテ各方面ニ經濟的發展ヲ企圖セムトスルノ際諸會社モ亦對外放資ヲ促進シテ國運ノ伸張ヲ策セサルヘカラサルヲ認メ營業區域ヲ京師西伯亞、中東支那、南洋方面ニ擴張シ陸海資及青島ニ支店ヲ設置シ著々業務ノ發展ヲ企圖セルノ結果更ニ資本金増加ノ必要ヲ認メ大正八年九月十日臨時株主總會ノ決議ニ依リ資本金參千萬圓ヲ増加シ現在資本金八千五百萬圓トナレリ而シテ此ノ押込額參千五百萬圓、未押込額千五百萬圓株式數壹百萬株、株主數九千七百八拾五人（昭和七年六月末現在）ハ政府持株六萬株ナリ

三、社債

本社ハ資本拂込ノ十倍ヲ限リ社債ヲ發行シ得ルノ能力ヲ有

スルヲ以テ大正二年第一回社債ヲ發行シタル以來昭和七年六月迄ニ第八十五回ヲ發行シ其總額四億四千七百五拾參萬貳千七百七拾六圓ニシテ其ノ内社債五千九百四拾參萬七千七百參拾四圓ヲ償還シ現在未償還額壹億八千八百九拾萬五千四百貳圓ニシテ未償還ノ内詳ハ左ノ如シ

未償還社債内譯表

(昭和七年六月末現在)

種別	現在金額	利率	發行年月日	償還期日	備考
第一回	八、〇〇〇、〇〇〇	年五分三厘	大正四一五	昭和二三一	
第二回	一、〇〇〇、〇〇〇	年六分	大正二五〇	五、二、二五	
第三回	全額償還済				
第四回	全額償還済				
第五回	三、六〇〇、〇〇〇	年六分五厘	大正一五、一、一五	大正一五、一、一四	

第十八回	全部復還済				
第十九回	五〇〇	年七分	一三三二〇	二二二	一
第二十回	一七〇〇	年六分	一三六一〇	三三六	九
第二十一回	全部復還済				
第二十二回					
第二十三回					
第二十四回					
第二十五回	三二七六六	年六分	一三三二五	二八三	五 (不償)
第二十六回	全部復還済				
第二十七回					
第二十八回					
第二十九回	一八一〇〇	年五分五厘	一三三二五	三三二	四

第十六回	全部復還済				
第十七回	五〇	年七分	一三六一五	三三六	一五
第十八回					
第十九回	一〇〇〇	年七分五厘	一三九一	三二八	三一
第二十回	一七〇	年七分五厘	一三九三	三四三	三
第二十一回					
第二十二回					
第二十三回					
第二十四回					
第二十五回	全部復還済				
第二十六回					
第二十七回					
第二十八回					
第二十九回					
第三十回	全部復還済				
第三十一回	五〇	年七分	一三九三	三三〇	一九
第三十二回					
第三十三回					
第三十四回					
第三十五回					
第三十六回					
第三十七回					

第三十回	全部債還済								
第三十一回									
第三十二回									
第三十三回									
第三十四回									
第三十五回									
第三十六回									
第三十七回									
第三十八回									
第三十九回									
第四十回									
第四十一回									

0000 0828

第四十二回	全部債還済	年五办一厘	一五九二〇	二六九二〇		
第四十三回	全部債還済					
第四十四回						
第四十五回						
第四十六回	全部債還済	年四办八厘 月以降 年六办	四和五、二七	四和一〇、四二		
第四十七回	全部債還済					
第四十八回		年四办八厘 月以降 年六办	一五、二七	一七、二一		
第四十九回		年五办一厘	二六、二四	二七、二四		
第五十回		年五办一厘	二六、二四	二七、二四		
第五十一回	全部債還済					
第五十二回		年六办	三三、一	八、一		
第五十三回		年六办	三三、一	一〇、三一		

第六十六回	五、〇〇〇、〇〇〇	年六分	五、六、一〇	一、二、六、一〇
第六十七回	三、四、六、〇〇	年五分一厘	五、六、三〇	三、〇、三、三二
第六十八回	二、五、八、〇〇	年五分一厘	五、六、三〇	三、〇、三、三二
第六十九回	二、一、七、〇〇	年五分一厘	五、九、一〇	一、〇、三、三二
第七十回	六、八、七、〇〇	年五分一厘	五、二、一〇	三、三、一〇、一五
第七十一回	一、三、九、〇〇	年四分五厘	五、一、二、一〇	三、二、五、三、三二
第七十二回	全部積還済			
第七十三回	〃			
第七十四回	五、二、〇、〇〇	年三分	六、一、一、五	八、一、三、三一
第七十五回	全部積還済			
第七十六回	五、〇、〇、〇〇	年六分	六、七、一〇	一、三、七、一〇
第七十七回	四、七、四、八、〇〇	年四分八厘	六、七、一〇	一、二、六、三、三一

第五十四回	一、九、〇、〇〇〇	年五分一厘	昭和三、六、二五	昭和二〇、一、二、三一
第五十五回	四、〇、五、〇〇〇	年五分一厘	三、六、二六	二、八、六、二六
第五十六回	一、四、〇、〇〇〇	年五分一厘	三、六、二六	二、八、六、二六
第五十七回	三、七、一、二、四、〇、六、九	年五分五厘	三、一、一、一	三、三、二、一、一
第五十八回	一、〇、〇、〇、〇〇	年六分	四、三、一、一	一、七、三、一
第五十九回	五、〇、〇、〇、〇〇	年六分	四、七、二、二	一、四、七、二、二
第六十回	五、〇、〇、〇、〇〇	年六分	四、七、二、五	一、四、七、二、五
第六十一回	七、六、五、〇〇	年五分一厘	四、一、一、二	二、八、五、二、〇
第六十二回	全部積還済			
第六十三回	一、六、〇、五、〇〇	年五分一厘	四、一、二、二七	二、八、六、二、七
第六十四回	八、四、四、〇〇	年五分一厘	五、三、二、二	三、二、九、三、二、〇
第六十五回	四、五、三、〇〇	年五分一厘	五、三、二、二〇	三、二、九、三、二、〇

(不償)

第七十八回	一五二五〇〇	年四分五厘	七、八、一〇	昭和三一、三三
第七十九回	一五七九〇〇	年四分八厘	六、一、一	二六、三、三一
第八十回	一六四九〇〇	年四分五厘	六、一、二五	一三、一、三一
第八十一回	一七〇二〇〇	年五分一厘	七、三、二五	一六、三、三一
第八十二回	一七五七〇〇	年四分八厘	七、二、二五	一六、三、三一
第八十三回	一八〇〇〇〇	年四分八厘	七、四、一五	一七、三、三一
第八十四回	一八五三〇〇	年四分五厘	七、四、二五	一八、三、三一
第八十五回	一九〇六〇〇	年四分	七、四、二五	一八、三、三一
合計	一八八、九五、四二			

四、政府ノ監督及保護

當會社ニ對シテハ政府ニ於テ特別ナル監督及保護ヲ加ヘラ

ル即チ左ノ如シ

一、一般監督事項

東洋拓殖株式會社法

第三十二條 政府ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス

第三十三條 政府ハ東洋拓殖株式會社監理官ヲ置キ東

洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監視セシム

東洋拓殖株式會社監理官ハ何時ニテモ東洋拓殖株式

會社ノ倉庫帳簿及消帳ノ文書物件ヲ検査スルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ必要ト認ムルトキハ何時

ニテモ東洋拓殖株式會社ニ命ジテ營業上諸般ノ計算

及景況ヲ報告セシムルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會

議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第三十四條 政府ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ニ関シ監
督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第三十五條 東洋拓殖株式會社ノ決議又ハ役員ノ行為
法令若クハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルモノト認
ムルトキハ政府ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解職
スルニトヲ得

東洋拓殖株式會社ノ役員ニ於テ監督官廳ノ命シタル
事項ヲ執行セザルトキ亦同シ

(三) 特別監督事項

政府ノ認可事項

- 一 資本ノ増加
- 二 存立期間ノ延長

三 支店又ハ出張所ノ設置

四 東洋拓殖株式會社法第十一條第七號ノ事業ノ經營

五 外國ニ於ケル事業ノ經營

六 營業上ノ無松金ヲ以テ一時買入得ヘキ有價證券

七 營業上必要アル資金ノ借入

八 東洋拓殖債券ノ發行

九 東洋拓殖債券ノ買入銷却

一〇 利益金ノ處分

一一 稅任規則其ノ他規定ノ制定

一二 貸付金ノ利子及割引料ノ最高割合

一三 政府ノ認可ヲ受ケタル事項ヲ變更セントスルトキ

政府ノ指定事項

他會社ノ株券又ハ債券ノ應募引受
營業上ノ餘溢金ヲ預ケ入ルヘキ銀行
役員ノ任免監督

- 一 總裁及理事ノ任免
- 二 總裁及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事セムトス
ルトキハ政府ノ認可ヲ要ス

イ補給金

東洋拓殖株式會社法

第三十九條 政府ハ東洋拓殖株式會社ニ對シ該法
ノ目ヨリ起算シ八年間ヲ限リ毎年金參拾萬圓ヲ每
業期ニ割當テ補給スヘシ但シ每營業期ニ於ケル利益

經營カ拂込資本額ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スルト
キハ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ補給金ノ内ヨリ控
除ス

第四十條 利益配當カ拂込資本ニ對シ年一割ノ割合ヲ
超過スルトキハ其ノ超過金額ハ先ツ之ヲ前條補給金
ノ償還ニ充ツヘシ
前項ノ償還ヲ終ヘタルトキハ該超過金額ハ其ノ半額
ヲ特別積立金トスヘシ
以上ノ規定ニ基キ會社カ補給ヲ受ケタル金額及償還
シタル金額左表ノ如シ

政府補給金

五年上期	四年度	三年度	二年度	昭和元年度	十四年度	十三年度	十二年度	十一年度	十年度	九年度	八年度
								三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	一七八、〇〇〇	
一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇

七年度	六年度	五年度	四年度	三年度	二年度	大正元年度	四十四年度	四十三年度	四十二年度	明治四十一年度	年度
			三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	二七八、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	桶金
											債還高
											度
二三七八、〇〇〇	二、三七八、〇〇〇	二、三七八、〇〇〇	二、三七八、〇〇〇	二、〇七八、〇〇〇	一、七七八、〇〇〇	一、四七八、〇〇〇	一、一七八、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	高

五年下期	六年上期	六年下期	七年二期
1	1	1	1
一六〇〇、〇〇〇	一六〇〇、〇〇〇	一六〇〇、〇〇〇	一六〇〇、〇〇〇

口社債ノ保額

政府ハ明治四十一年第二十七回帝國議會ニ於テ舊會社
 カ発行スル社債ニ千萬圓ヲ限リ其ノ元利支拂ノ保證ヲ
 爲スコトヲ得ルノ件協賛ヲ得同八月二十六日右法律ノ
 公布ヲ見之ニ基キ大正二年二月廿八日附ヲ以テ舊會社
 カ拂圓ニ於テ大正二年三月発行スヘキ社債ニ千萬圓ニ
 對シ元利支拂ノ保證ヲ與ヘラレ同年三月十五日第一回

社債ヲ發行セリ 又大正三年第三十一回帝國議會ニ於
 テ更ニ舊會社カ發行スル社債四千萬圓ヲ限リ保證ヲ爲
 スコトヲ得ルノ件協賛ヲ得同年三月二十七日右法律ノ
 公布ヲ見タルモ爾來内外金融市場ノ景況ニ鑑ミ外債募
 集ノ必要ナカリシガ大正十二年三月次同ニ於テ社債千
 九百九十萬圓ヲ募集シ之ニ對シ新債四千萬圓ヲ限度ト
 シテ政府ニ於テ保證ヲ與ヘラレ同年三月二十五日第二十
 五回社債ヲ發行セリ更ニ昭和三年五月政府ハ外國ニ於
 テ募集スヘキ本社社債ニ對シ現ニ保證ヲ爲スモノノ外
 更ニ額面金額四千萬圓ヲ限リ元利支拂ノ保證ヲ爲シ得
 ヘキ件第五十五回帝國議會ノ協賛ヲ得三年五月十一月
 右法律ノ公布ヲ見同年十一月一日米國ニ於テ社債千九

百九十萬円ヲ募集シ之ニ對シ 邦貨參千九百九拾壹萬九千四百圓ノ元利支拂ノ保證ヲ與ヘラレ第五十七回社債ヲ發行セリ

ハ、不均一配當

東洋拓殖株式會社法

第四十條ノニ 政府ノ所有スル株式ニ對シテハ昭和二年度以降昭和六年度迄ノ毎營業期ノ利益配當ニ限リ政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對スル配當ノ割合ヨリ年五分ヲ低下シタル割合ヲ以テ配當ヲ爲スコトヲ得

以上ノ規定ニ依ル毎營業期ノ配當割合ヲ示セハ左ノ如シ

年 度	政 府 株 式		政 府 以 外 ノ 株 式	
	株 數	配 當 割 合	株 數	配 當 割 合
昭和二年度	六〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	五分
三年度	六〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	五分
四年度	六〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	五分
五年二期	六〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	四分
五年下期	六〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	三分
五年上期	六〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	三分
六年下期	六〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	三分
六年上期	六〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	三分
七年以上期	六〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	九四〇,〇〇〇	一分

ニ、特別能力

儲蓄社ハ商法上有スル一級能力ノ外資金充實ニ限ニ左ノ能力ヲ有ス

一、資本増加ハ株主金額ノ抑込ヲ要セス
 二、拂込資金額ノ十倍ヲ限リ東洋拓殖債券ヲ發行スルコト
 ヲ得而シテ其ノ債券ヲ發行スル場合ニ於テハ株主總會
 ノ決議ニ依ルヲ要セス

四、監督官廳

1. 中央官廳

明治四十一年十二月 - 大藏省、明治四十三年六月 -
 拓殖局、大正二年六月 - 内務省、大正六年八月 - 拓
 殖局、大正十一年十二月 - 拓殖事務局、大正十三年十
 二月 - 内閣拓殖局、昭和四年六月 - 拓務省

2. 地方官廳

朝鮮 明治四十一年十二月 - 統監府、明治四十三年十

月 - 朝鮮統督府

關東州 大正六年十月 - 関東都督府、大正八年四月 - 關東

廳

南洋委任統治地 大正十一年四月 - 南洋廳

五、役員、職員

1. 役員

職名	定員	任期	報酬	任免	手續	職務権限
總裁	一人	五年	六千円	政府之命令		會社代表、其業務ノ総理、
理事	三人以上	四年	四百円 四百五十円 四百五十円	二十株以上ノ株主ヨリ株主總會 ニテ之ヲ選任スル者ヲ推挙スル事 得ルノ命令		會社ノ補助ニ於テ業務ヲ監督ス
監事	二人以上	二年	三百五十円 三百五十円 三百五十円	二十株以上ノ株主ヨリ株主中ヨリ 會社之ヲ選任ス		會社ノ業務ヲ監督ス

配置 理事甲一名ハ朝鮮駐在、他ノ役員ハ本社

理事	林市藏	野日知太郎	阪本 銜	副総長 吉原三郎	菅原通敏	宮尾 輝	渡邊 勝之助	久保田政周	宮尾 輝	石塚 英義	吉原 三郎
	明治四十一年十一月廿八日	大正二年十一月廿八日	明治四十一年十一月廿八日	明治四十一年十一月廿八日	昭和五年十一月五日	昭和二年十一月廿八日	大正十四年四月十一日	大正十三年十一月八日	大正十二年十一月廿八日	大正五年十一月廿一日	大正二年十一月廿八日
	大正五年十一月廿八日	大正五年十一月廿八日	明治四十四年四月十五日	大正二年十一月廿七日	昭和七年三月十日	昭和五年十一月五日	昭和三年十一月廿七日	大正十四年十一月廿三日(死)	大正十三年十一月八日	大正十二年十一月廿七日	大正五年十一月廿一日

現役員

職名	氏名	就任年月日	任期日	備考
総長	高山長幸	昭和七年三月十日	昭和八年十一月廿日	
理事	山田 穆	昭和六年五月廿日	昭和十年五月廿日	
	中野 太一郎	昭和六年五月廿日	昭和十年五月廿日	
	田 尚 敏	昭和六年五月廿日	昭和十年五月廿日	
監事 (常任)	本倉 文雄	昭和六年五月廿日	昭和八年五月廿日	
監事	福本 元三郎	昭和七年一月廿日	昭和九年五月廿日	
全	石 鎮 衛	昭和六年五月廿日	昭和八年五月廿日	

退任役員

職名	氏名	就任年月日	退任年月日
総長	宇佐川 一 正	昭和四十一年五月廿八日	大正二年十一月廿八日

加納友之介	島 徳 藏	林 榮 壽	白 興 基	趙 頌 泰	野田知太郎	監事 子爵松平直平	澤田 豊 文	齊藤 龜 三郎	岡田 信	地邊 龍 一
昭和二年五月二十一日	大正三年五月二十一日	昭和二年五月二十五日	大正十四年五月十五日	明治四十一年三月二十八日	明治四十二年七月廿八日	明治四十二年七月廿八日	大正十五年五月廿五日	大正十四年七月十五日	大正十四年七月十五日	大正十五年五月廿三日
昭和六年五月二十日	昭和六年五月十三日	昭和四年五月三十一日	昭和二年五月三十一日	大正十四年五月三十一日	大正二年五月三十一日	大正五年五月二十二日	昭和六年五月廿二日	昭和六年五月廿二日	昭和六年五月廿二日	昭和六年一月廿日

尾崎 敬 義	沼田 政 二郎	鈴木 繁	八木 武 三郎	人見 次 郎	川上 常 郎	夏 秋 十 郎	高 瀬 梅 吉	子爵松平直平	韓 桓 龍	折田 俊 秀	理事 井上 孝 哉
大正十二年五月廿三日	大正十三年三月廿五日	大正十三年三月廿五日	大正十一年五月廿五日	大正八年五月二十三日	大正五年七月廿三日	大正八年五月二十五日	大正五年七月廿三日	大正五年七月廿三日	明治四十一年七月廿八日	大正三年五月廿二日	明治四十一年七月廿八日
大正十四年七月七日	大正十四年九月十五日	大正十四年七月廿五日(死亡)	大正十三年二月二日	大正十三年二月二日	大正十三年二月二日	大正十二年五月廿二日	大正八年五月三十一日	大正二年五月二十二日	大正五年十一月四日	大正五年七月四日	大正五年七月四日

大連	哈爾濱	奉天	開封	元山、沙里院、平壤	京城、大邱、釜山、木浦、種里、大田	在勤地	支給額
同	同	同	同	同	本俸ノ		二割
							三割
							七割
							七割
							五割
							七割
							四割

(五) 在勤手當
 不書記又ハ 扱手以上ノ 職員

表 號

七級 下上	六級 下上	五級 下上
一一 三四	一一 五六	一一 七八
〇〇	〇〇	〇〇

表 號

七級 下上	六級 下上	五級 下上
一一 五六	一一 七八	一一 九〇
〇〇	〇〇	〇〇

表 號

八級 下上	七級 下上	六級 下上	五級 下上
一一 五七	一一 三三	一一 三六	一一 四五
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

32
 (四) 職員俸給

職員ノ俸給ハ月額四百圓以下ニシテ左表ノ如シ

表 號一第

五級 下上	四級 下上	三級 下上	二級 下上	一級 下上	級別	支給額
一一 八〇	一一 一四〇	一一 一八〇	一一 二二〇	一一 二六〇		參事
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		

表 號二第

五級 下上	四級 下上	三級 下上	二級 下上	一級 下上	級別	支給額
一一 三四	一一 五六	一一 七八	一一 〇二	一一 二五		副參事
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		

三第

四級 下上	三級 下上	二級 下上	一級 下上	級別	支給額
一一 一四	一一 一八	一一 二三	一一 二六		技師
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		

四第

四級 下上	三級 下上	二級 下上	一級 下上	級別	支給額
一一 一四	一一 一八	一一 二二	一一 二六		書記、技手
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		

五第

四級 下上	三級 下上	二級 下上	一級 下上	級別	支給額
一一 五六	一一 七八	一一 九〇	一一 一〇二		技師、技手
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		

(七) 職員、員数並給額表 (昭和七年六月末現在)

職名	人数	給付月額
格		
参事	二	四一八〇
副参事	五	七五三〇
技師	一	三二一〇
書記技手	一八	一五七三〇
書記補、技手補	二六五	一三二四〇

大連、青島	七〇	六〇	五〇	五〇	四〇	三〇	二〇
京城、釜山、平壤	六〇	五〇	四〇	三〇	二〇	一〇	〇
大邱、大田、元山	五五	四五	三五	二五	一五	〇	〇
木浦、祖里、沙里院	五〇	四〇	三〇	二〇	一五	〇	〇
南島、奉天、哈爾濱、天津	七五	六〇	五〇	四〇	三〇	二〇	〇

(八) 職員舎宅料

口 書記補又ハ技手補、本俸ノ二割
 別手当ヲ支給ス
 手補、備員、給仕、小便等ニハ増分ノ間、一割ノ隨時特
 別手当ヲ支給ス
 間島在島者ニ對シテハ増分ノ間、本俸ノ二割 (書記補、技

青島	同	五割
天津	同	五割
上海	同	七割
ハルビンヤルマシ	同	十割

在勤地	區別	課長、支隊長、出張所長	月俸三百以上	月俸百五十以上	月俸百以上	月俸七十以上	月俸七十未満
東京	東京	六〇月	五〇月	四〇月	三〇月	二五	二〇月

大營業外及其管區
備考 休職職員ヲ含マズ

合計	五九 四一	一六 一六	四六 一四 一四 一四
----	----------	----------	----------------------

店名	位	置	管區
本社	東京市麹町區坂下町二丁目一番地		
朝鮮支店	朝鮮京城府京成府黃念町三丁目九十五番地		朝鮮各支店及開港支店
釜山支店	慶尚南道釜山府大廳前二丁目二四番地		慶尚南道
大邱支店	慶尚北道大邱府府東町四番地		慶尚北道
種里支店	全羅北道在山市種里邑種里大百五十八番地		全羅北道
木浦支店	全羅南道木浦府本町三丁目六番地		全羅南道

土地改良部發止ノ項田反願表

大田支店	忠清南道大田府大白邑本町三丁目八十番地	忠清南道
京城支店	京畿道京城府黃念町三丁目九十五番地	京畿道
元山支店	咸鏡南道元山府支町三上番地	咸鏡南道
沙里院支店	黃海北道鳳山府沙里院邑毛那里里四丁目一番地	黃海北道
平壤支店	平安南道平壤府黃念町三番地	平安南道
開島支店	滿洲國吉林省懷德縣龍井村朝鮮官倉道	吉林省 開島
奉天支店	奉天省瀋陽縣奉天府中街道道三番地	滿洲國 奉天
哈爾濱支店	吉林省哈爾濱縣哈爾濱市道三番地	吉林省
大理支店	關東州大連市道三番地	關東州
青島出張所	中華民國山東省青島龍陶路第十大号	山東省
天津出張所	河北省天津法租界法租界路六十九号	河北省

當社土地改良部ハ朝鮮總督府ノ庄本増殖事業計畫ニ基テ工
 地改良代行實施ノ爲大正十五年七月二十一日新ニ京畿一政
 置ニタルモノナリ爾來同部ハ朝鮮土地改良株式會社ト併止
 シテ本事業ニ從事ニ来リタル處迄時其ノ取扱行政研次職ノ
 シ殊ニ米價暴落ニ因リ土地改良事業ノ採算ニ影響スルトコ
 ロ尠カラサルモノアリ爲ニ之カ企業態一般ニ衰退スル結果
 之カ代行業務ノ如キモノ會社ヲ以テ廢ニ處理ニ得ル状況ニ
 在リ地方監督官廳ニ於テモ既社ノ實績ニ微シ一社ヲシテ之
 ヲ取扱ハシムルコト寧ロ本業務ノ統制ニ便且多クノミナラ
 ス所期ノ目的ヲ達成スル捷徑ナリト思惟セラレ而シテ又當
 社ハ其ノ本然ノ使命ニ鑑ミ他ノ重要施設ニ專念スル方適當
 ナリト認メタルヲ以テ朝鮮土地改良株式會社ト組織シ當社

ハ土地改良事業代行業務ヲ廢止シ之ヲ總テ朝鮮土地改良株
 式會社ニ引継ゴトニ決定ニ監督官廳ノ認可ヲ得タリ仍テ
 當社ハ本事業ノ引継ニ関シ朝鮮土地改良株式會社ト大要左
 記ノ通協定ヲ遂クルト共ニ昭和六年八月職制改正ニ際シ朝
 鮮支社ニ土木課ヲ設ケテ土地改良部ヲ廢シ之カ殘務ヲモ處
 理セシムルコト、セリ

一 東洋拓殖株式會社ハ昭和七年六月末日ヲ以テ代行業務ヲ
 廢止スルモノトス
 二 東洋拓殖株式會社ニ於テ現ニ測量設計代行中ノモノハ昭
 和七年六月末日迄ニ之ヲ完了シ之カ工事監督ハ朝鮮土地
 改良株式會社ニ於テ當ルモノトス東洋拓殖株式會社ニ於
 テ測量設計ヲ完了シ既ニ設計書ヲ引渡ニタルモ未ダ工事

ニ着手セザルモノニ付亦同シ

三、東洋拓殖株式会社カ既ニ測量設計ノ代行ヲ割當テアレタ
ルモノニシテ代行契約未締結ノモノハ全部之カ割當ヲ新
鮮土地改良株式会社ニ於テ引受クルモノトス

四、東洋拓殖株式会社ニ於テ現ニ工事延滞代行中ノモノハ同
社ニ於テ之ヲ繼續シ昭和七年六月末日迄ニ之ヲ完了スル
モノトス

五、東洋拓殖株式会社土地改良部ノ職責ハ原則トシテ朝鮮工
地改良株式会社ニ之ヲ引継クモノトス

金融

一、貸付概況

當程ノ金融業ハ昭和十三年朝鮮ニ於テ其ノ開始ヲ見届
來成ヲ直スルニ從ヒ貸出高増加ノ一途ヲ辿リタルカ大正六
年七月東洋拓殖株式会社法改正ノ結果營業地域ヲ滿蒙北部
支那及南洋等ニ擴張セラレ同籍ニ貸付營業項目ノ擴張就中
拓殖事業ヲ目的トスル他ノ會社ニ對シ株式又ハ債券ノ應募
引受ノ途ヲ開カレタル爲資金供給高急激ノ増加ヲ見届和七
年六月末現在ニ於テハ貸付金及社債引受ノ総額一五七二
二、四六四圓ニ達シ法律改正後ノ増加額八一〇五八〇六、五六
三、四ニ上レリ

二、總貸出高表、産米増殖計畫ニ屬スル貸出高ハ別項トシテ不

表ニ含マス

(昭和七年六月末現在)

種別	年度	全六年九月末日現在	大正六年七月末以降増加高	現在	高
定期貸付金		一三八二、〇七九	三三、三〇、六八二	三六、七二、七六〇	一、二
年賦貸付金		五五三、八六二、九九	六、八九五、八一三	七、四一八、七四四	九
代理貸付金					
計		六九一、五九〇、八九	一、〇二、一八、三三、五二	一、〇九、三〇、四、四四	一
債券引受高		三、〇〇〇、〇〇〇	五、五二〇、〇〇〇	八、五二〇、〇〇〇	〇
合計		九九一、五九〇、八九	一、〇五、八、五三、五二	一、一五、七、三、四、四四	一

三 財界ノ状況ト當社ノ金融業務

購買力ノ減退ハ漸次財界ノ指向ニ現ハレ内外經濟状況亦依

然更調ノ感ニアリ不況愈々深刻トナリ爲メニ當期中當社
 金融業務上ニ於テモ新規需要ハ依然見ルヘキモノナク種シテ
 不振相ニ經過スルノ已ム所ニ至レリ今各事業地別ニ其ノ
 概況ヲ前期末ト比較シテ示セハ左ノ如シ
 朝鮮 (産米増殖資金ハ含マス)

米價ノ比較的好調ヲ持續セルコトハ回收上好影響ヲ蒙リ
 三ト雖モ農行ノ液弊ハ遠ニ準ラス僅ニ増殖資金ノ需要ヲ
 見タルニ止マリ其他産金、起業資金等ノ需要モ未タ見ル
 ハキモノ少ク極メテ不振相ニ經過セルニ對シテ未償付残高ハ
 別項記載ノ如ク産米増殖資金貸付金中ヨリ一部貸付業務
 貸付金ニ移動セシモノアリ爲メニ六三、〇〇六、五〇一、四ヲ
 示シ前期末ニ比シハ一七七、一九一、四ノ増加ヲ示セリ

滿州 滿州國獨立早々ニ加フルニ内外財界ノ不況ニ因リ前
 期同様赤字新規資金ノ需要起ラス貸出方面ハ依然不況
 ニ経過セルモ回收方面ニ於テハ漸次整理モ其ノ緒ニ就キ
 殊ニ關東地方ハ等ニヤ進捗ヲ來ニ業務ノ不振ヲ見ツルア
 リ懸未貸付残高ハ三五七九〇〇〇六円一七銭ニシテ前期
 末ニ比シ八一〇七六三円四九銭ノ減少ヲ示セリ

北部支那 滿州地方同様不振ニアリ新規貸出ノ見ルヘキ
 モノナカリニ懸テ懸未貸出残高ハ二六〇七、八三〇、四一六
 銭ニシテ前期末ニ比シ一〇、八三、八四三、六六六銭ノ減少
 ヲ示セリ

南洋 既設麻園經營資金ノ需要多少アリタルモ他ニ需要ノ
 見ルヘキモノナク爲メ一期未貸付残高ハ七、七九八、〇八六

円三二銭トナリ前期末ニ比シ一八〇、九五、四四三、三三
 銭ノ減少ヲ示セリ

四、(1) 總貸出高地方別内訳表(産米増殖貸付金ヲ含マズ)

昭和七年六月末現在

種別	地方別			
	朝鮮	滿州	北部支那	南洋
定期貸付金	八、七九八、〇八六	二、三〇七、三六三	一、四〇四、九四七	二、〇七二、〇〇〇
年賦貸付金	二、四〇七、三六三	一、三〇七、三六三	一、四〇四、九四七	二、〇七二、〇〇〇
代理貸付金				
計	一一、二〇五、四四九	三、六一四、七二六	二、八〇九、八九四	四、一四四、〇〇〇
債券引受高	一、一七五、〇〇〇	二、八五〇、〇〇〇		二、五〇〇、〇〇〇
合計	一二、三八〇、四四九	六、四六四、七二六	二、八〇九、八九四	六、六四四、〇〇〇

朝鮮各店別貸出高内訳表

昭和七年六月末現在

店別	定期貸付金	年次貸付金	代理貸付金	計	債券引当高	合計
本社	5,200,000	2,500,000		7,700,000	1,500,000	9,200,000
朝鮮支社	1,800,000	1,500,000		3,300,000		3,300,000
釜山支店	1,200,000	1,000,000		2,200,000		2,200,000
大邱支店	1,000,000	800,000		1,800,000		1,800,000
木浦支店	1,000,000	800,000		1,800,000		1,800,000
祖里支店	1,000,000	800,000		1,800,000		1,800,000
大田支店	1,000,000	800,000		1,800,000		1,800,000
京城支店	1,000,000	800,000		1,800,000		1,800,000
元山支店	1,000,000	800,000		1,800,000		1,800,000
計	12,200,000	8,200,000		20,400,000	1,500,000	21,900,000

朝鮮、北支支那及南洋各店別貸出高内訳表

昭和七年六月末現在

沙里院支店	5,300,000	4,700,000		10,000,000		10,000,000
平漢支店	2,500,000	2,200,000		4,700,000		4,700,000
計	7,800,000	6,900,000		14,700,000		14,700,000

店別	定期貸付金	年次貸付金	代理貸付金	計	債券引当高	合計
本社	6,000,000	3,000,000		9,000,000	1,800,000	10,800,000
奉天支店	4,000,000	3,500,000		7,500,000		7,500,000
哈爾濱支店	4,000,000	3,500,000		7,500,000		7,500,000
大連支店	4,000,000	3,500,000		7,500,000		7,500,000
瀋陽支店	4,000,000	3,500,000		7,500,000		7,500,000
計	20,000,000	17,500,000		37,500,000	1,800,000	39,300,000

五、貸付金用途別内訳表（地方別）

昭和七年六月末現在

用途別	地方別			
	朝鮮	滿洲	北支那	南洋
土地改良及開墾	八八四四五	九七、七一九五		六七五二八
水利事業	一六四八三九九			一六一四七九九
市街土地建物	三四四六六〇四	一六五五五一一	一七三三三三八	二六八五五五四
農事經營	二五、四九、七七八	二八、三三、七六二	五、九五、五八	一三、〇〇、〇〇
林業	九、四八、六一	二、五九、七九		七、〇一、四六三
蠶業	二八、五九、二四	三、〇〇、〇〇		一六、二五、九二四
果樹栽培	一五、七三、九八	九、四三、三五一		二、五八、六四八
肥料	四、五三、一五	一、二〇、〇〇		一、九五、五二五
人蔘栽培	四、一四、三〇			四、一四、三〇
合計	八七五、二八三	一六一、四七九九	二六、八五五八	一三、〇〇、〇〇

滿洲部

三三、四、九八五
一、三、四、八八三
三、五、九、〇〇六
一、八、五、〇〇〇
六、七、〇、〇〇六

店種別	北支那			
	支那	蒙	察	綏
本	二二八、〇〇〇			
支那	二、八、〇〇〇			
蒙		二、五、三、八		
察		一、五、三、八		
綏		一、五、三、八		
合計	二二八、〇〇〇	五、六、三、八	三、〇、七、一四	一、七、七、一四

店種別	南洋			
	南洋	南洋	南洋	南洋
本	四、〇、〇〇〇			
南洋	三、二、〇〇〇			
南洋		七、七、九八		
南洋		八、八、六三		
南洋		五、〇、〇〇		
合計	一三、九、八六			

昭和七年六月末現在

種別	組合数	貸付金額現在高	備考
水利組合	二	一五七、〇〇〇、〇〇〇	
其他ノ公共團體	二	一、〇〇〇、〇〇〇	
計	五	一五八、〇〇〇、〇〇〇	

七、臺灣銀行保証貸付状況

南洋ニ於ケル臺灣銀行保証貸付金額ノ内九百六拾萬圓ニ計リ
 當在八國銀行ノ文牒保証ノ下ニ大正十一年十一月ノ力肩特
 貸出ノ契約ヲ締結シ昭和二年十二月最終期限到來ニ際リ
 當時貸付残高參百四拾萬九千圓七拾五圓ヲ限度トシ前ニ
 保証貸出ノ契約ヲ締結シ之ニ充當スヘキ資金ヲ第五十二

田ノ社債ニ抑キタリ之カ手取額ハ金參百四拾萬圓ニシテ
 償還方法ハ昭和四年一月三十一日迄据置キ毎年度毎二年二月
 一日及八月一日ニ於テ總額ノ二十分ノ一宛テ償還シ昭和
 八年二月一日ニ於テ總額全部償還ヲ完了スヘキ條件トシ
 ヲ以テ同行ニ對スル保証貸付之而之ト同様ナル償還方法
 ヲ採レソ當社社債ノ利率八年六分ニシテ保証貸付ノ當社
 手取利息八年七分五厘五毛及八分一厘並ニ八分二厘ノ割
 ナリ而シテ現在貸付残高ハ七分七厘五毛ノモリニ一五八
 七、〇九圓〇四錢、八分一厘ノモリ一三〇、二〇〇圓、八分
 二厘ノモリ一五五、四七七圓ニハ錢合計六、四四四、三八六圓
 三ニ錢ニシテ全部償還義務資金ナリ

八、貸付金利率（特別貸付金ヲ除ク）

引受年度	會社名	年	月	本店	資本金	株数	本社引受株数	備考
大正七年度	株外會社	大正七年	十二月	東京	50,000	10,000	2,789	八八七五
大正七年度	株外會社	大正七年	十二月	東京	50,000	10,000	2,789	八八七五
大正七年度	株外會社	大正七年	十二月	東京	50,000	10,000	2,789	八八七五
大正七年度	株外會社	大正七年	十二月	東京	50,000	10,000	2,789	八八七五
大正七年度	株外會社	大正七年	十二月	東京	50,000	10,000	2,789	八八七五
大正七年度	株外會社	大正七年	十二月	東京	50,000	10,000	2,789	八八七五
大正七年度	株外會社	大正七年	十二月	東京	50,000	10,000	2,789	八八七五
大正七年度	株外會社	大正七年	十二月	東京	50,000	10,000	2,789	八八七五
大正七年度	株外會社	大正七年	十二月	東京	50,000	10,000	2,789	八八七五
大正七年度	株外會社	大正七年	十二月	東京	50,000	10,000	2,789	八八七五

九、株券及債券ノ引受
 當在業務ノ内拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ニ對スル
 ル資金供給ノ一方法トシテ之カ株券又ハ債券ノ應募引受ヲ
 ナシ來レリ現在之カ引受状況ハ左ノ如シ
 一 引受株券

(昭和七年六月末現在)

天	青	湖	大	略	本	平	沙	元	京	大
平	島	島	連	貴	天	環	院	山	城	田
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	四	六	四	六	六	二	三	三	二	二
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
七	六	〇	二	二	三	五	五	五	五	五
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

平均利率 七分七厘七毛

前記各會社ノ營業自由ヲ確保スレハ左ノ如シ

全	大正十五年度	滿洲銀行	大正十五年九月	大連	一〇,〇〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	一四,二二	一七,五二五〇	
全	大正十四年度	株式會社 瑞泰公司	大正十四年七月	京城	五,〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,三〇〇	一三,八七五〇〇	
全	昭和四年度	正隆銀行	昭和四年一月	大連	三,〇〇,〇〇〇	二四,〇〇〇	三八	七五〇〇〇	
全	昭和五年度	大連株式會社	大正九年二月	大連	五,〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	九〇	一一,二五〇	
全	昭和五年度	昭和酒造公司	昭和五年五月	哈爾濱	五,〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	二五,〇〇〇	
全	昭和五年度	朝鮮米穀會社	昭和五年十月	京城	一,〇〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	一四五	一八,一五〇	
全	昭和七年度	北洋會社	昭和七年三月	東京	一三,八〇,〇〇〇	二七,六〇〇	一八〇	九,〇〇,〇〇〇	
計		二十五社			八三,三〇,〇〇〇	三六,九一〇	六五,六九五	二,二二,七五〇	

全	大正七年度	株式會社 瑞泰公司	大正七年九月	大連	五,〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,三〇〇	一三,八七五〇〇	
全	大正八年度	株式會社 瑞泰公司	大正八年五月	大連	五,〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,三〇〇	一三,八七五〇〇	
全	大正九年度	株式會社 瑞泰公司	大正九年九月	大連	三,〇〇,〇〇〇	二四,〇〇〇	三八	七五〇〇〇	
全	大正九年度	株式會社 瑞泰公司	大正九年一月	大連	五,〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	九〇	一一,二五〇	
全	大正九年度	株式會社 瑞泰公司	大正九年五月	京城	一,〇〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	一四五	一八,一五〇	
全	大正九年度	株式會社 瑞泰公司	大正九年八月	京城	一三,八〇,〇〇〇	二七,六〇〇	一八〇	九,〇〇,〇〇〇	
計		二十五社			八三,三〇,〇〇〇	三六,九一〇	六五,六九五	二,二二,七五〇	

種別	金額	備考
朝鮮農工債券	八〇〇,〇〇〇	本債券は朝鮮銀行設立に際し、朝鮮銀行より引付られたるものなり
海外興業株式會社債券	二五〇,〇〇〇	
瑞蒙毛織株式會社債券	一〇〇,〇〇〇	
東省興業株式會社債券	一四〇,〇〇〇	
北滿電氣株式會社債券	四五〇,〇〇〇	
東洋畜産興業株式會社債券	二七〇,〇〇〇	
計	六五二〇,〇〇〇	

引受債券

(昭和七年六月末現在)

北洋合同興業株式會社
 一 興業及水産業 二 畜産業 三 農林業 四 前記各事業 五 因不製造賣買並委託販賣及資金貸付 六 船舶及運送業 七 倉庫業 八 前記各事業 九 關及他人ト共同經營 一〇 投資

山東興業株式會社	一 石炭其他礦物採掘加工事業 二 製糖業 三 前記各事業 四 前記各事業 五 前記各事業
朝鮮鐵道株式會社	一 鐵道 二 軌道及自動車 三 運輸 四 倉庫 五 製糖 六 製粉 七 製紙 八 其他營業 九 前記各事業 十 前記各事業 十一 前記各事業 十二 前記各事業
鴻業公司	一 本國產物販賣 二 外國產物販賣 三 前記各事業 四 前記各事業 五 前記各事業 六 前記各事業 七 前記各事業 八 前記各事業 九 前記各事業 十 前記各事業
朝鮮土地改良株式會社	一 水田改良其他土地改良 二 農林業 三 畜産業 四 倉庫業 五 前記各事業 六 前記各事業 七 前記各事業 八 前記各事業 九 前記各事業 十 前記各事業
朝鮮水産倉庫株式會社	一 興業 二 水産 三 倉庫 四 前記各事業 五 前記各事業 六 前記各事業 七 前記各事業 八 前記各事業 九 前記各事業 十 前記各事業
昭和酒精公司	一 酒精其他酒類之製造 二 製糖 三 製粉 四 其他營業 五 前記各事業 六 前記各事業 七 前記各事業 八 前記各事業 九 前記各事業 十 前記各事業

一〇、産米増殖計畫ニ基テ資金ノ取入及貸付状況

（一）資金ノ取入

大正十五年年度以來今日迄ニ産米増殖資金總計三九、〇九二、〇〇〇
 〇、〇四十七カ右ノ内大藏省預金郵振預金一七、五四六、〇〇〇
 〇、四八營社社債発行ニヨリ取入レ其ノ種別金額左表ノ如シ

（昭和七年六月末現在）

種別	昭和七年六月末現在				
	元	二	三	四	五
取入年度	元	二	三	四	五
低	二、七三三	三、六一〇	四、〇五〇	八、四四四	三、二一一
自	二、七三三	三、六一〇	四、〇五〇	八、四四四	三、二一一
計	四、五〇六	七、一七〇	八、一〇〇	一六、八八八	六、四二四
備考	六月廿八日発行 第四回社債	六月廿四日発行 第四回社債	六月廿五日発行 第五回社債	五月三十日発行 第七回社債	六月三十日発行 第七回社債

種別	昭和七年六月末現在				
	元	二	三	四	五
貸付ノ状況	元 <td>二 <td>三 <td>四 <td>五 </td></td></td></td>	二 <td>三 <td>四 <td>五 </td></td></td>	三 <td>四 <td>五 </td></td>	四 <td>五 </td>	五
計	一、六八六	一、三八四	四、四八	四、五三	二、五八
計	一、六八六	一、三八四	四、四八	四、五三	二、五八
備考	九月二十六日発行 第四回社債	六月三十日発行 第五回社債	六月三十日発行 第六回社債	六月三十日発行 第六回社債	六月三十日発行 第六回社債

産米増殖資金ノ貸付ハ前報同様新現事業資金ノ需要ハ少
 カリシニ之繼續事業資金其他水利組合就政整理ノ為メ一時

的資金ノ需要額相當一上ノ一為メ高利横利下切替ニ依ル
勘定ノ移動額五百萬圓及朝鮮酒屋銀行へ肩替積戻額二百
拾五萬三千圓計七百十五萬三千圓ノ減少ヲ示シタルニ拘
ラズ期末貸付残高ハ一千二百二十七萬三千餘圓ニ達シ首
期末ニ比シ四百八十八萬六千餘圓ノ減少ニ止レリ
今之レヲ土地改良及農事改良資金ニ區別セバ左ノ如シ
貸出總額 一七二一〇
計 一六二七三二一七四四六

内 詳

土地改良資金

貸出利率	低利資金	普通資金	二一均
元年度 年七分九厘	元年度 年五分九厘	元年度 年八分九厘	元年度 年七分五厘
二年度 年七分六厘	二年度 年五分九厘	二年度 年八分五厘	二年度 年七分三厘
三年度 年七分六厘	三年度 年五分九厘	三年度 年八分二厘	三年度 年七分二厘
四年度 年七分六厘	四年度 年五分九厘	四年度 年八分一厘	四年度 年七分二厘
五年度 年七分六厘	五年度 年五分九厘	五年度 年八分一厘	五年度 年七分二厘
六年度 年七分六厘	六年度 年五分九厘	六年度 年八分一厘	六年度 年七分二厘
七年度 年七分六厘	七年度 年五分九厘	七年度 年八分一厘	七年度 年七分二厘

水利組合貸出高 四七二日 升一八八八七二六二日二五又
個人貸出高 八四四日 升一四六〇二九九日〇五又
合 計 五五五六日 升二二四七五七六日二五又
備考 右ノ外東拓村有地改良工事費トシテ使用シタ
ルモノ六五六一七九日〇九又

農事改良資金

貸出利率 元年度 年七分九厘 二年度 年七分六厘
三年度 年七分六厘 四年度 年七分五厘
五年度 年七分五厘 六年度 年七分五厘

貸出高

備考 右貸付ノ外東拓村有地改良資金トシテ移
住民小作人一貸出中ノモノ六〇九七八一四日

産米増殖資金貸出府別表

府別	貸出額	貸出回数	貸出平均額	貸出平均回数
金山	五、二〇三、三三三	一、〇〇一	五、二〇三、三三三	一、〇〇一
大分	一、二〇五、八二九	一、〇〇一	一、二〇五、八二九	一、〇〇一
本橋	六、五〇八、六六三	一、〇〇一	六、五〇八、六六三	一、〇〇一
神田	三、三〇五、四八八	一、〇〇一	三、三〇五、四八八	一、〇〇一
大田	一、三〇八、八二九	一、〇〇一	一、三〇八、八二九	一、〇〇一
糸城	一、六〇八、九二九	一、〇〇一	一、六〇八、九二九	一、〇〇一
元山	六、八五三、三三三	一、〇〇一	六、八五三、三三三	一、〇〇一
歩里院	六、二五三、三三三	一、〇〇一	六、二五三、三三三	一、〇〇一
平塚	五、八六八、三三七	一、〇〇一	五、八六八、三三七	一、〇〇一

訂	五五六	二〇二五、五六一五	二六五	六〇二五、五六一五	一七二一	二六、二七三、二七四六
---	-----	-----------	-----	-----------	------	-------------

備考

一、本表ハ普通預金ヲ含ム
 二、右ノ外留社在在土地改良工事費六五、一七九円。九
 三、並ニ社有地外移住民小作人ニ對シ貸出申ノモノ六
 〇九、七八一円四七又アリ

田	昭和六年六月末現在		昭和七年六月末現在	
	面積	價額	面積	價額
三八〇七六町	二八一九	二〇、四八八、一七八五	三〇、三〇五町	二、一〇〇、七四五

地目別事業用地面積及價額

昭和六年六月末現在
 事業用地 面積十五萬五千六百三十六町步餘ニテ本年六月末迄ニ於ケル面積ノ移動ハ朝鮮及間島ニ於ケル道路及水路用地ニ賣却又ハ寄附シタルモノ或ハ社有地整理ノ為賣却、交換又ハ買収ヲナシ或ハ國有林野附與又ハ民有林ノ買収等ニ依リ昭和七年六月末現在ニ於テハ事業用地面積ニ十萬二千四百五十七町步餘トナリ其地目別面積及價額左ノ如シ

一 社有地ノ經營

事業

全道	道北	道南	道東	道西	道南	道東	道西
七、七〇	四、四〇	七、四〇	七、四〇	七、四〇	七、四〇	七、四〇	七、四〇
八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇	八、〇〇
一、八四九	二、〇〇一	一、八四九	二、〇〇一	一、八四九	二、〇〇一	一、八四九	二、〇〇一
二、〇〇一	二、〇〇一	二、〇〇一	二、〇〇一	二、〇〇一	二、〇〇一	二、〇〇一	二、〇〇一
三、八〇八	三、八〇八	三、八〇八	三、八〇八	三、八〇八	三、八〇八	三、八〇八	三、八〇八
八、三三	八、三三	八、三三	八、三三	八、三三	八、三三	八、三三	八、三三
五、三三三	五、三三三	五、三三三	五、三三三	五、三三三	五、三三三	五、三三三	五、三三三
一、一九〇	一、一九〇	一、一九〇	一、一九〇	一、一九〇	一、一九〇	一、一九〇	一、一九〇
九、九九六	九、九九六	九、九九六	九、九九六	九、九九六	九、九九六	九、九九六	九、九九六
〇、七一一	〇、七一一	〇、七一一	〇、七一一	〇、七一一	〇、七一一	〇、七一一	〇、七一一

道北	道南	道東	道西
田(水田)	田(水田)	田(水田)	田(水田)
烟(田)	烟(田)	烟(田)	烟(田)
宅地(宅)	宅地(宅)	宅地(宅)	宅地(宅)
山林	山林	山林	山林
雑種地	雑種地	雑種地	雑種地
計	計	計	計

計	雑種地	山林	宅地	畑
一五〇、五三六	二八六九	九〇、六二七	六五二	一八、三一九
四〇〇、七五七	四九一〇	八二〇九	八二二二	九七、〇六三
二八、五二六	一、四二五	三、一四九	一、四七三	四、三六八
二〇二、四六〇	三、〇七八	七、八二六	三、八〇九	七、四〇八
六二、一六六	四、二二一	七、八二六	三、八〇九	七、四〇八
二九、七三三	二、七五七	二、四一四	一、四八六	四、五四六
八八、〇五五	五、三九六	二、四一四	一、四八六	四、五四六
五七、六四一	三、三九六	二、四一四	一、四八六	四、五四六
〇、〇一一	五、三九六	二、四一四	一、四八六	四、五四六

地方別事業用地面積

昭和七年六月末現在

青森	大田	山形	秋田	岩手
1855	1855	1855	1855	1855
2879	2879	2879	2879	2879
3927	3927	3927	3927	3927
5927	5927	5927	5927	5927
7927	7927	7927	7927	7927
9927	9927	9927	9927	9927
11927	11927	11927	11927	11927
13927	13927	13927	13927	13927
15927	15927	15927	15927	15927
17927	17927	17927	17927	17927
19927	19927	19927	19927	19927
21927	21927	21927	21927	21927
23927	23927	23927	23927	23927
25927	25927	25927	25927	25927
27927	27927	27927	27927	27927
29927	29927	29927	29927	29927
31927	31927	31927	31927	31927
33927	33927	33927	33927	33927
35927	35927	35927	35927	35927
37927	37927	37927	37927	37927
39927	39927	39927	39927	39927
41927	41927	41927	41927	41927
43927	43927	43927	43927	43927
45927	45927	45927	45927	45927
47927	47927	47927	47927	47927
49927	49927	49927	49927	49927
51927	51927	51927	51927	51927
53927	53927	53927	53927	53927
55927	55927	55927	55927	55927
57927	57927	57927	57927	57927
59927	59927	59927	59927	59927
61927	61927	61927	61927	61927
63927	63927	63927	63927	63927
65927	65927	65927	65927	65927
67927	67927	67927	67927	67927
69927	69927	69927	69927	69927
71927	71927	71927	71927	71927
73927	73927	73927	73927	73927
75927	75927	75927	75927	75927
77927	77927	77927	77927	77927
79927	79927	79927	79927	79927
81927	81927	81927	81927	81927
83927	83927	83927	83927	83927
85927	85927	85927	85927	85927
87927	87927	87927	87927	87927
89927	89927	89927	89927	89927
91927	91927	91927	91927	91927
93927	93927	93927	93927	93927
95927	95927	95927	95927	95927
97927	97927	97927	97927	97927
99927	99927	99927	99927	99927

梅田及小作科ノ測定 梅田六年度ハ早春以來降雨屢次アリ
 リテ苗代ノ作成、播種等至極順調ニ進ミ、發芽後ノ生育
 亦良好ナリシカ 植付期ニ至リテ雨鮮ハ水不足ヲ憂ヒタ

植多少遅延セルモサシテ支障ナク完了シ京城以北ハ用水
 潤澤ニシテ植付モ適期ニ進行シタリ、然ルニ七月ニ入り
 日照寡少ナリシタメ生育一般ニ遅レ加之八月初旬襲来セ
 ル豪雨ハ中鮮以北ニ於テ浸水致テ田歩ニ達シ其一部ニハ
 收穫皆無ク懸念セラル、モイアルニ及ビタリ、而シテ一
 般ニハ前述ノ如ク雨鮮ニ於ケル植付遅延中鮮以北ノ水害
 並ニ日照寡少等アリタルタメ收穫ハ相當悲觀セラレ本年
 作ニ村ニ相当額ノ減收ハ免レ難カルヘシト豫想ニシテ遂
 ニ全鮮ニ於ケル作柄ハ登熟期ニ於ケル好天氣ニ恵マレナ
 ガラ前年ノ一割七分減トナレリ。之ニ反シ社有地ハ既往
 ニ於ケル殖産施設ノ実効並ニ土地ノ分布力雨鮮ニ多ク所
 在ニ租法ハ定租地漸増ノ傾向ニアル等ニヨリ幸ヒ不作ノ

年柄ニモ拘ラス穀ノ調定高ニ六三、八五六石ニ遡リ前年ニ
 比シ五、五ニ七石ノ增收ヲ見タリ、因ニ會社最近五ケ年
 ノ小作料調定高ヲ掲グレハ次ノ如シ

種別	年度別				
	昭和六年度	昭和五年度	昭和四年度	昭和三年度	昭和二年度
全納	八六、九四六石	一五一、四六〇石	一五二、六九六石	一五六、一三〇石	一四〇、八四二石
棉花	四三、三九一石	四三、五七〇石	五二、四〇二石	二九、一六三石	二九、〇四〇石
雜穀	三、八〇七石	八、五九三石	七、八一八石	七、五四〇石	八、三三四石
大豆	八、〇二〇石	八、四八〇石	七、一五一石	九、〇三八石	九、九一五石
大豆	三六三、八五六石	三五八、三二九石	二七七、七〇八石	二五五、六〇四石	三一〇、〇二四石
米	六八七石	七四七石	八二七石	四六六石	五三三石

ニ 産産施設

一 稻作ノ改良 社有苗ニ対スル改良種ノ普及並品種ノ改
 善ニ付テハ原種苗ノ經營ニ依リ純系種子ノ生産ヲ圖リ更
 ニ採種苗ヲ設ケテ其ノ生産額ヲ毎年小作人ニ配布スルノ
 方法ニ依リ積年改良ノ結果改良種栽培適地面積三万四千
 七百四十町歩ニ對シ三万四千六十八町歩ノ栽培ヲ見、殊
 ニ京城以南ニ於テハ適地ニハ全部普及ノ好績ヲ示シ、東
 鮮及西鮮地方ニ在リテモ九割ニ達スル状況ナリ
 最近五ケ年間設置セル原種種苗及更新面積左ノ如シ

原種種苗実施面積

(自昭和二年五月ケ年間)
 至昭和六年五月ケ年間)

救済用穀物		種	用途	種類	数量
		苗			
雑	玉	大豆	種	子	八三・七
	蜀	青川大豆	種子	子	一六五・七七
	粟	紫雲英	種子	子	三九・七〇
	黍	紫雲英	種子	子	一一・〇〇
		大豆	種	子	七六八・七
		粟	種	子	六八・七
		黍	種	子	六・七
		雑穀	種	子	一〇二・五
			種	子	二五・四
			種	子	一一・九
			種	子	一四・九

貸付物品

(昭和六年度)

貸付物品 農事改良 副業奨励並山嶽救済等ノ夕、移住
 民及小作人ニハ 農具 種苗 食糧 其他ノ物品ヲ貸付
 又而シテ昭和六年度中貸付セル高左ノ如シ

年度	原種苗実施面積	採種苗実施面積	更新面積
昭和二年	七・七	二五・七	二六・二
昭和三年	五・七	二二・八	一六・二
昭和四年	五・七	二四・二	一九・七
昭和五年	七・二	二四・三	二五・〇
昭和六年	五・五	二六・五	二五・八

農具其他

深	犁	正	マニヤフ	除	大豆	稻	耕	扱	堆	水
新	植	草	削	扱	扱	扱	扱	扱	扱	扱
犁	先	器	器	器	器	器	器	器	器	器
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
一	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
一	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
一	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七

製	食	油	雜
機	機	類	具
六	一	八	二
八	一	八	二

(三) 金肥ノ配給 産米増殖及品質改善ノ目的ヲ以テ大正八

年以米組織的ニ金肥ノ配給ヲナシ来リシ方従来朝鮮ノ農

家ハ金肥使用ノ習慣ナク加フルニ小作人ノ資力乏シカリ

ニ力爲メ同年ヨリ本社ニ於テ低利ニ依ル貸付又ハ給與ノ

方法ニ依リ普及ニ力ヲ尽キタル結果金肥使用ノ利益ヲ知

梅實相袋	紫雲英石	好種油罐	油相以	油相以	興農肥料以	天和肥料以	鰯相斤	ハアリーブツチ石	硫曹以
		一七四							
五〇	一六二 五五四		三〇〇	一八〇	九四	一〇〇	二二八	五二七八六	二〇八
	四五 六二							三四五	六一
五〇	二〇八 四	一七四	三〇〇	一八〇	九四	一〇〇	二二八	五二七八六	二六九

(四) 緑肥栽培ノ奨励 金肥ノ外向緑肥栽培ニ適スル地方ニハ紫雲英・青川大豆・ルーサン・ヘアリーブツチ等ノ種子ヲ配給栽培セシメ自給肥料ヲ得ルコトヲ奨励シツ、アルカ其成績良好ニシテ稲作改良・産米増殖上著シキ効果ヲ擧ケ居リ本社カ種子ヲ配給シ栽培シタルモノ昭和六年ノ面積左ノ如シ

紫雲英 二千三百二十五町歩
 青川大豆 三百四十八町歩
 ヘアリーブツチ 七十二町歩
 ルーサン 四段歩

(五) 深耕 金肥ノ施用緑肥ノ栽培ヲ奨励スル一方其ノ肥効ヲ大ナラシムルニハ深耕ヲ併行スルノ要アルヲ以テ本社ハ

改良犁ノ使用ヲ奨励シ、各地ニ講習會、競犁會ヲ催シ賞
 與又ハ補助ヲ與フル等ノ結果使用スルモノ年々増加シ平
 社ヨリ貸付又ハ給與數ノ累計五千六百九十ニ達セリ
 (六) 玄米收納 秋米収ヲ以テ小作料ヲ收納セルモノナルカ小
 作人ヲシテ直接精玄セシメ生産品ノ良否及損益ヲ自ら知
 悉セシメ農事改良ノ自覚ヲ促スト共ニ他面農閑期ノ利用
 副業収入ノ増加ヲ得セシムルヲ、數年前ヨリ玄米調製用
 具ヲ貸付シ其ノ指導奨励ヲ圖リツ、アリ其成績良好ニシ
 テ逐年増加ノ趨勢ニアリ昭和六年ニ於ケル小作料玄米収
 納高ハ一千四百八石ナリ
 (七) 指導部落 社有地ノ集團セル地方ヲ指定シ之ヲ指導部落
 トシ種子改良、深耕正條植、玄米調製等各級ノ施設ヲ固

密ニ実行セシムルヲ、社員及指導員カ指導ニ當リ実績ヲ
 収メツ、アリ又集團社有地ニシテ耕作者稀薄ナル地方ニ
 ハ小作人子弟ヲ選定シ家屋建築費ヲ補助シ一戸ニ付キニ
 町歩内外ノ小作地ヲ契ヘ一團十戸乃至二十戸ノ新部落ヲ
 構成セシメ東拓村ト名付ケ農業上ノ指導奨励ヲ加ヘ其ノ
 実効ヲ收メツ、アリ

(八) 優良小作人 親ノ表彰 小作人親中親員能ク一致團結シ當
 社ノ指導ニ從ヒテ農事改良ニ努メ且ソ富社ニ對スル義務
 ヲ果シ以テ他ノ模範タルモノヲ選抜シテ賞品ヲ與ヘ之ヲ
 表彰シ居レリ

(九) 品評會 小作人ノ爲メ毎年各地ニ於テ

山苗代品評會

四 多收穫品評會

五 立毛品評會

六 生産物品評會

七 堆肥品評會

八 糠肥品評會

九 家畜品評會

十 赤米稗振及振興獎勵品評會

等ノ開催ニ成績良好ナルモノハ之ヲ褒賞シ天々其ノ改善ヲ圖レリ

(五) 農事講習・講話會 各府所ヨリ技術員ヲ派遣シ農事及

副業ニ関シ各所ニ巡回講話ヲナス外養蠶・蠶糸製造・派

耕ノ實地講習及競犁會其他ノ競技會ヲ開催シ又小作人ヲ

密ニ実行セシムルタメ社員及指導員カ指導ニ當リ実績ヲ収メツ、アリ又集團社有地ニシテ耕作者稀薄ナル地方ニハ小作人子弟ヲ選定シ家屋建築費ヲ補助シ一戸ニ付キニ町步内外ノ小作地ヲ與ヘ一團十戸乃至二十戸ノ新部落ヲ構成セシメ東拓村ト名付ケ農業上ノ指導獎勵ヲ加ヘ其ノ実効ヲ收メツ、アリ

ハ 優良小作人額ノ表彰 小作人額中親員能ク一致團結シ當社ノ指導ニ從ヒテ農事改良ニ努メ且ソ當社ニ對スル義務ヲ果シ以テ他ノ模範タルモノヲ選拔シテ賞品ヲ與ヘ之ヲ表彰シ居レリ

ホ 品評會(小作人ノ爲メ毎年各地ニ於テ)

イ 苗代品評會

(四) 多收穫品評會

(五) 立毛品評會

(六) 生産物品評會

(七) 堆肥品評會

(八) 綠肥品評會

(九) 家禽品評會

(十) 赤米稈板及拔稈獎勵品評會

等ノ開催ニ成績良好ナルモノハ之ヲ褒賞シ夫々其ノ改善ヲ圖レリ

(五) 農事講習・講習會 各店所ヨリ技術員ヲ派遣シ農事及

副業ニ関シ各所ニ巡回講話ヲナス外養蠶・蠶糸製造・深

耕ノ實地講習及競學會其他ノ競技會ヲ開催シ又小作人ヲ

シテ他地方ノ農事視察ヲナサシメ農事思想ノ開發ニ努メツ、アリ

(二) 副業ノ奨励 近時各地養蠶勸興セルヲ以テ當社ニ於テハ

小作人ニ對シ桑苗ヲ配付ニテ植付ヲ奨励シ又蠶糸製造ヲ

爲サシメンカ爲器具ヲ貸付シ或ハ養蠶養豚ヲナスモノニ

ハ補助又ハ資金ヲ貸付スル等專ラ副業ノ奨励ニ努メツ、

アリ

三 小作人ノ保護施設

(一) 食糧ノ貸付 極メテ貧弱ナル鮮農ハ正月ヲ過キテ既ニ食

糧ノ不足ヲ末スハ毎年ノ例ニシテ之レカ爲メ高利ノ食糧

ヲ他ヨリ仰キ秋收期ニ於テ之カ返済容易ナラサルヲ以テ

當社ニ於テハ救済ノ目的ヲ以テ之等困窮小作人ニ對シ食

種ヲ給與シ或ハ低利ヲ以テ之ヲ貸與シツツアリ

(二) 種子の補給 一般ニ優良穀ヲ貸付ニシテアルカ災害等ノ

為メ小作人ニ於テ種子ノ不足ヨ末ニ又ハ準備出来サル者

等ニハ會社ニ於テ豫メ準備ヲナシ之ヲ補給ス

(三) 奨励資金ノ給與 會社小作人中誠實篤農ナルモノノ子弟

中其ノ成績優良ニシテ上級ノ農業教育ヲ受ケニトスルニ

家計豊カナラサルモノニ對シ奨励資金ヲ支給シ小作人

向學心ヲ助長セシムツアリ

四、農事改良事業區

従来特別ノ農事改良又ハ土地改良ヲ行フト共ニ集約管理ヲ

ナスカ為メニ十八區ノ農事改良区又ハ十九區ノ農業増産区ヲ

設ケタルニ一方其成績ノ見ルヘキモノアルト共ニ他方一般

小作人ノ農事知識モ漸次向上ニ承リタルニ鑑ミ全社有地ヲ

其ノ地理地勢ニ應シ六十一ノ地域的区分ヲナシ一事業區ト

名付ク一此ノ内其地味地勢ヨリシテ合理的ニ殖産諸施設ヲ

行ヒ得ヘキ地區五十三ヲ撰ヒ更ニ農事改良ノ徹底ヲ期スル

コトトシ昭和七年ヨリ実行中ナリ

(一) 指導方法

(イ) 社員ノ駐在 一區ニ数名ノ社員ヲ常駐セシメ指導誘掖

ニ當ラシム

(ロ) 小作人 成ルヘク専屬タラシメ以テ其生活ヲ安定

セシムルト共ニ指導ニ使ラシム

(ハ) 指導員ノ設置 區域内ノ移住民又ハ小作人中篤農家ヲ

選定シ指導ノ補助ヲナラシム

農事改良施設

種子更新

耕作法ノ改善

深耕、苗代、改良、正條植、稗拔等ノ指導獎勵

施肥獎勵

金肥ノ補助、綠肥ノ栽培及堆肥ノ増産指導

副業獎勵

養蠶、製繭、養蠶、養蠶、養蠶

農事改良事業區

支店別設置數

支店	金山	大邱	裡里	木浦	大田	京城	元山	沙里院	平康	合計
區數	六	七	八	八	五	五	四	六	四	五三

穀、大豆、雜穀及棉花等ノ農産物ハ大部分産地ニ於テ處分
 スルヲ常例トセルモ鮮米ヲ内地ニ紹介シ爲メ大正三、四年ノ
 交ヨリ收購穀ノ内品質良好ナルモノヲ選ヒ精玄ヲナシ精選
 乾燥石炭其他調製上諸般ノ改良ヲ計リ以テ之カ移出販賣ヲ
 ナセルニ^②米トニテ多大ノ好評ヲ博セリ。爾來年々優良米
 ノ移出販賣ヲナシ鮮米ノ紹介販路ノ擴張ニ努メタル結果漸
 次内地市場ニ於テ鮮米ノ実質ヲ認めラレ遂ニ一般鮮米ノ移
 出増加ヲ見ルニ至レリ。米價ハ各年六月米國大統領ノ數債
 及賠償金支拂猶餘ノ提案一次イテ日歐ノ政變ニ引續キ金融
 出再禁止等致シ重要事件ノ發生ニ依リ一般經濟界ノ震動激
 シク殊ニ六年産米内鮮米柄悲觀並ニ残存米過多等強弱材料

(一) 内地賣却

品目	数量	單價	金額
玄米	一六五九八〇石	八四七	一四〇六八五四
白米	四二八七	一六七七	七一九〇二
大豆	七八	二〇九五	一六四四
雜穀	四八五四	七四八	三六三二一
棉花	九五八七	五五一	五二八八一
棉花	六五一九	百斤 一〇・五〇	六八四

(一) 鮮米内賣却

ノ續出ヨリ波瀾曲折ヲ重キ一高一低兎角浮動程ニ經過セリ
 今本期間即チ昭和六年七月以降本年六月迄ニ處分セルモノ
 ヲ示セバ左ノ如シ。

品目	数量	単	額
玄米	九七、九〇、四	一九五三	一、五六一、一五九
白米	一三二、二四	二一九〇	二九〇、〇〇
大豆	八〇、〇	九三七	七五〇、〇

六山林事業

一 經營面積

明治四十四年以降國有林野借受及讓與ヲ受ケ又ハ國有林
或ハ私有林野ヲ買収シ經營ス其總面積十三萬八千六百
十四町余步ナリ

(昭和七年六月末現在)

計	支那 朝鮮					支店名 道名	國有 林野 讓受 林野	買 収 林	計
	黃 海 道	咸 鏡 北 道	咸 鏡 南 道	江 原 道	京 畿 道				
五三、〇〇八	二六、五七〇	二五、一〇七	一四、七五四	六、四四〇	三、〇四九	一、〇	三、五七	三五七	
二八	〇一	二五	一一	五四	五	一	四五	四五	
三三、四九九	一三、八七五	一七、九一五	二九、〇三四	三、七九四	一、五五二	一、〇	四七	三五七	
四五、一七九	一五、〇六五	一三、四八七	二、二九二	一、五五二	一、〇	一、〇	四七	三五七	
一四	五	九	二	七	一	一	七	七	
一三、八、六四四	一、九、〇三九	五、七、四三三	三、四、〇一八	八、八、五三三	一、八、九四〇	一、〇	四七	三五七	
八七	五一	二二	二六	二七	九五	五	七	四五	

備考

昭和六年六月末林野經營面積八八、五七一町餘步ニ比
スルトキハ五〇、一四二町步ノ増加ナル右ハ主トシ
テ買収ニ由ルモノトス

備考

区別	面積	積	本	数
新植	一四五八	六四	二一〇二	二二三本
補植	一〇八五	三七	四五五八	〇六
備種	三一	五	一九、八一	〇六
計	二五四四	一〇六	二五七八	〇二九本
	三一	五	一九、八一	〇六

右表中天然稚樹保育林ニアリテハ必要ノ箇所ヨリ漸次除伐ヲ行ヒ以テ林相ヲ整理シテ生育ヲ計リ之カ完成ヲ圖ルハク進行中ナリ植栽杯ハ年々新植ヲナスト失ニ補植ヲナシ林相ノ完成ヲ期シツツアリ

昭和七年春期ニ植栽セル新補植、備種造林面積左ノ如シ

造林面積

本年六月末日迄ニ植栽スル天然稚樹保育ニ依リ造林セル面積左ノ如シ

道名	新植		補植		合計
	天然稚樹保育植栽	天然稚樹保育植栽	天然稚樹保育植栽	天然稚樹保育植栽	
北海道	二、八五八	一、四二〇	八、〇七五	一、八五九	二、六五八
青森道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
岩手道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
秋田道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
山形道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
福島道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
茨城道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
栃木道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
群馬道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
山梨道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
長野道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
新潟道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
富山道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
石川道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
福井道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
岐阜道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
愛知道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
三重道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
滋賀道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
京都道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
大阪道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
和歌山道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
奈良道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
徳島道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
香川県	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
高松道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
愛媛道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
高知県	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
福岡道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
佐賀道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
熊本道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
大分道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
宮崎道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
鹿児島道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
沖縄道	一、九四九	一、〇〇〇	二、五七四	一、八五九	一、五八〇
計	七、五二〇	一、〇〇〇	二五、五七四	一、八五九	二、六五八

樹種ノ重ナルモノハ「アカマツ」「フマツ」「ラウセンマツ」ナリ

(四) 苗圃

造林用種苗ハ自給ノ方針ヲ以テ明治四十二年ヨリ苗圃ヲ設置シ経営林野ノ植栽ニ用ヒタリ現在設置ノ苗圃所在地及面積並ニ昭和七年ノ施業ニ付ル生産量左ノ如シ

(昭和七年六月末現在)

道名	總面積	生産		
		幼苗	成苗	計
京畿道	二六二	一、二四九、〇〇〇	一	一、二四九、〇〇〇
江原道	八一二	七四一、三四〇	一	七四一、三四〇
咸鏡南道	五六七四	三、三三三、三七三	一	三、三三三、三七三

(五) 竹林

本社ノ経営セル竹林面積ハ三四一町余步ニテ其ノ経営地ハ慶尚南道鎭津江及洛東江沿岸ニ在リテ自然杯保育トシテ新植竹林ノ育成ヲナシツツアリ其ノ経営面積及所在地左ノ如シ

(昭和七年六月末現在)

道名	總面積	面積	生産
咸鏡北道	一一四	一六五、一二四	一
黄海道	一一四	四四〇、三二〇	一
計	一〇、四六四	五、九一九、一五七	一

道名	所在地	面積		備考
		面積	備	
全羅南道	光陽	一一九、三三九		

				慶尚南道
				河
				東
計	全	昌	咸	
	海	寧	安	
三四一六九一三	二〇七二九	五二一三二九	一〇六八二九	四七二四二七
		咸安竹林街屬松樹植栽地		

七 土木事業

本社、土木事業ヲ大別スレバ、(一)社有地ノ維持修築工事、(二)社有地ノ改良工事、(三)未墾地ノ開墾事業、(四)水利事業ノ普及、(五)朝鮮産米増殖計画ニ依ル土地改良事業等ニシテ、其ノ概要左ノ如シ

(一)社有地ノ維持修築工事 自昭和六年七月一日至昭和七年六月三十日 間ニ於テ社有地維持

保全ノ爲メ土木工事ヲ施行セシムルモノ次ノ如シ

工種	所在地	起工年月	竣工年月	工事費	蒙利面積	摘要
堤防修築	黄海道 黄州郡九聖面	昭和六年七月	昭和六年八月	三〇〇	二二町	
堤防砂除去	咸安郡北栗面	九月	十月	一〇一八	一四三	
堤防補強	京畿道 安城郡金九面	七年四月	七年四月	三四一	三	
狀修築	咸鏡南道 高原郡下鉢面			八八六	八八九	
堤防修築	大邱道 大邱府歸林面		五月	四五〇	七	
護岸及水路修築	全羅南道 咸平郡海保面			二八六	八	
護岸	全羅南道 咸平郡海保面			二三五	七	
堤防修築	全羅南道 咸平郡海保面			四一一	四	
全	全羅北道 益山郡龜安面	五月		四二〇	三	
水門修築	黄海道 信川郡芦月面			三八五	七〇	

計

十ヶ所

四七三二 二一三六

備考 本表ハ一廉工事費ニ百円以上ノモノヲ掲フ

社有地ノ改良工事 社有地中年々旱水害ヲ被リ收穫ノ寡
少又ハ不安定ナルモノハ夫々適當ノ改良工事ヲ施シ生産
ノ増加ヲ圖リツツアルカ西和七年六月迄ニ工事ノ完成ニ
タル主ナルモノ次ノ如シ

名稱	所在地	起工年月	竣工年月	工事費	改良面積	工事概要
宮三面機力灌漑工事	全羅南道 羅州郡良谷邑	大正五年六月	大正五年十二月	三一〇〇〇	二六〇町	揚水路新設
細枝面貯水池灌漑工事	細枝面	七年八月	八年八月	三七〇〇〇	三〇〇	貯水路新設
細枝面第二改良工事		十二年十月	十三年三月	一一一四九	五〇	全上

全人面改良工事	黃海道 厚山郡舍人邑	十二年十月	十四年六月	一八〇一〇	一八	堤水路新設
大村面改良工事	全羅南道 光州郡大村邑	十四年三月		二五八七〇	二二〇	揚水路新設
北原面堤防工事	黃海道 敬寧郡北原邑	十四日		七〇〇〇〇	二六〇	堤防新設
船橋里改良工事	平安南道 大同郡大同邑			一四七〇〇	四六	水路新設
五山面改良工事	全羅北道 益山郡五山邑	五月		五〇八四一	二四三	耕地整理施行
長安坪改良工事	京畿道 高陽郡燕新邑	六月	七月	四二〇〇〇	二二	堤路上
竹筒面改良工事	慶尚南道 金海郡駕洛邑	十二月	十五年五月	一七一三四	二九	堤防水路新設
北都面改良工事	黃海道 德川郡北都邑		十月	七三〇〇〇	二二三	揚水池新設
安寧里改良工事	京畿道 水原郡安養邑	十五年十月	昭和二年二月	二〇〇百三六	三五	貯水池新設
新石面改良工事	平安南道 江西郡新石邑	昭和二年三月	七月	二三九〇〇	一一四	堤防新設
大賣面改良工事		九月	十三年二月	二九〇〇〇	一一二	堤防新設
九山面改良工事	全羅北道 益山郡龍安邑	十二年二月		一一五三三	二九	耕地整理施行

名	稱	所在地	起工年月日	竣工年月日	工事費	開闢面積	事業概要
長安	河	高陽郡	大正二年九月	大正四年七月	三〇〇、〇〇〇	四二九町	堤防水路新設
開墾	工事	全羅北道	四年四月	五年九月	三三、六八一	一五〇	全
開墾	工事	全羅南道	六年六月	六年八月	二五、二七	一三	荒地整理施行
開墾	工事	慶尚南道	八年二月	十年五月	四一、七五六	一一八	堤防水路新設
開墾	工事	全羅南道	十四年十二月	昭和四年二月	六三、六九七	六六	堤防水路新設
開墾	工事	全羅南道	昭和三年六月	五年十月	七四、二八九	六二	全
計					五五六、三五一	八四八	

備考 本表ハ一府工事費一萬圓以上ノモノヲ掲ク
 (三) 未墾地ノ開墾事業 國有又ハ社有ノ未墾地ヲ開墾シ既ニ
 事業ノ完成ニタリモノ若クハ事業中ノモノ次ノ如シ

計	二十六ヶ所				七〇三、三二八	五八三三	
開墾	工事	慶尚南道	五年四月	十二月	一〇、四〇二	一九	水路新設
改修	工事	信川郡	六年五月		一〇、八九二	五一	水路新設
改修	工事	載寧郡		六月	七四三、一一	四八三	耕地整理施行
改修	工事	黃川郡		六月	一一、一三四	一七一	水路新設
改修	工事	江西郡	十月		一四、四七〇	一一一	水路新設
改修	工事	慶尚南道	五年四月		一六、一五八	一〇四	耕地整理施行
改修	工事	慶尚北道	九月	五年十月	一一、九六五	二〇	貯水池改築
改修	工事	慶尚北道	四月	五月	一六、一〇〇	一一九	水路改築
改修	工事	全羅北道			三五、〇六七	三一	全
改修	工事	慶尚北道			一五、八四五	四八	水路改築
改修	工事	全羅北道			一一、四二八	九六	耕地整理施行

(四) 事業中ノモノ

訂	名 稱	所 在 地	起工年月	竣工年月	工 事 費	面 積	備 考
一ノ河	自防補則 全羅南道 望于拓事	全羅南道 望于拓事	大正八年六月	昭和七年八月	三二二、二八〇	二〇〇	第一工事トシテ、河川 水防、堤、水門、等 工事トシテ、新設 水利組合事業トシテ、既 行中
					三二二、二八〇	二〇〇	
					二〇〇	二〇〇	

四、水利事業ノ普及、本社力地地主ト共同シ水利組合ヲ設立
 〇企畫ニテ調査設計ヲ爲シタルモノ又ハ設立ヲ援助セシ
 〇ノ次ノ如シ

訂	所 在 地	工 事 種 類	事 業 面 積	備 考
	慶尚南道 全南郡德道	排水 防 水	八九、四	水利組合設立協議中、社有地約一〇町歩アリ
	河東郡河東白	全	二二八	大正十五年四月、韓江水利組合ヲ設立シ、昭和二年十月 工事完了、社有地約一〇町歩アリ
	全羅南道 高麗郡一三三町南	灌 漑	二九〇	昭和六年二月、脚水利組合ヲ設立シ、昭和二年三月工事完 了、社有地約二二町歩アリ
	全羅北道 東津津于野	排水 防 水	一八五、〇	大正十四年八月、東津津水利組合ヲ設立シ、昭和二年三月工事完 了、社有地約一八町歩アリ
	咸鏡南道 高麗郡高慶	灌 漑	一六〇、〇	水利組合設立協議中、社有地約五九町歩アリ
	黃海道 蘆山郡於之北	排水 防 水	八〇、〇	水利組合設立協議中、社有地約九二町歩アリ
	任川郡外二町	全	六〇、八四	内三六町歩ハ、戦後水利組合ニ編入シ、昭和 四年春工事完了、残部ハ、任川水利組合ニ設 立シ、昭和七年春工事完了、社有地約八四町歩アリ
	咸鏡南道 安岳郡	排水 防 水	九七、七五	大正十四年十月、安岳水利組合ヲ設立シ、昭和六年五月 工事完了、社有地約二二六町歩アリ
	平安北道 咸州郡新義州	灌 漑	一〇〇、〇	水利組合設立協議中、社有地約二八町歩アリ
	九ノ河		四六、七四七	

(五) 朝鮮産木増殖計畫。概して土地改良事業
 當社は、大正十五年以來朝鮮總督府の計畫に基づき、産木増殖
 事業を實行し、参加し各地水利組合及個人企業者、委託し
 受けた土地改良事業代行中、最近年一紙一紙、賦課ノ不況ニ爲
 せられ企業熱意退き、ついでに總督府ノ承認ヲ受けた昭和六
 年七月二十七日現在受託代行中ノ業務ノ完了ニ付テ之ヲ
 廢止し朝鮮土地改良株式會社ニ列強スコトトセリ、所ニテ
 自昭和六年七月一日閉、於此ノ業績ハ次ノ如シ

代行業務	事業名	所在地	面積	着手年月	完了年月	備考
測量設計	府北水利組合開會	慶尚南道 宜陽郡	一六二町	昭和六年七月	昭和六年九月	
工事監督	翠野水利組合	慶尚南道 海州郡	三一〇七	十五年三月	十二年	
全	四百	慶尚北道 慶州郡	一〇一〇	四月	七月	

製塩事業

備考 受託代行中ノ業務ハ全部完了セリ

全	安康	慶尚南道	一〇五〇	八月	七年三月	
全	府北	慶尚南道 宜陽郡	一〇一〇	十月	六年十二月	
全	多侍	全羅南道 麗州郡	六一二	六年三月	七年五月	
全	解頤	慶尚北道 達城郡	四九〇	五月		
全	琴湖	慶尚南道 永川郡	五三二			

本社ハ、関東州ニ於ケル採塩事業ニ付キ、攻究中ナリシカ、會々、關
 東廳ノ懇請ニヨリ、大正十年旅順ニ製塩試驗所ヲ施設シ、爾來特
 殊木鹽式製塩法其他各種塩ノ品質改善並ニ塩田ノ能率増進ニ
 付キ、試驗ヲ實施シ、其ノ成績相当良好ナルヲ認め、タルヲ以テ塩
 田開設ノ計畫ヲ樹テ、工事ニ着手セリ

山塩田概況

高社ノ貸下ヲ受ケタル面積ハ登沙河及魏子高地方ニ増セテ約三千五百町歩ニシテ先ニ登沙河河口貸下面積一十町歩ノ地ニ東西五百ト形町歩ノ塩田ヲ開設セリ又魏子高地方ニ千五百余町歩ノ干潟地ニ付テハ大正十三年秋調査ノ結果第一期工事トシテ五百五拾町歩ニ對シ着手ノ豫定ハ其塩原邊ニ不勢トナリタル爲之ヲ見合セテ甲テリシモ近時我國ニ於テ此人口ノ増加並ニ化學工業及漁業ノ發達ニ伴フ食用塩ノ産業塩ノ需用急増ニ塩價之回復ノ傾向顯著トナリタル等ノ情弊ニ鑑ミ塩田開設ヲ圖ルベキ好機ニ逢着シタルモノト認メラレタルヲ以テ本貸付地ニ對シ逐次全部ノ塩田開設工事ヲ行フコトニ方針ヲ決定シ其ノ第一次計画トシテ六百五町歩

ニ對シテ著エスルコトニナリタリ

四 經營

登沙河西部ニ百四十九町歩ハ大正十二年ノ末部三百一十町歩ハ昭和元年夫々竣工シテ鹽田共ニ採塩ハ頗ル順調ニ進行シツツアリ
當社所有塩田ガ熟田トナリタル晚ニ於テハ其ノ採塩高ハ登沙河塩田五千七百萬斤ノ魏子高塩田五千四十萬斤ヲ採塩シ得ヘキ豫定ニシテ目下製塩ハ日本專賣局納入並ニ内地工業用塩其他ニ賣却シツツアリ

九 鹽民事業

一 移住民ノ募集

明治四十二年第一回移住民ヲ募集セシ以テ毎一年一回応募

集ヲナシ昭和二年年度迄二十一回ニ亘リ移住マシメタリ、
 最近数年間ニ於ケル募集状況ハ左ノ如シ、而シテ現在ハ
 移住適地漸次乏シキヲ感ケタルト既墾地ニ對スル移住民
 ノ收容ハ小作關係ノ複雜ヲ来スニ依リ新起墾地ニ之ヲ收
 容スル目的ヲ以テ調査中ニシテ其ノ間一時募集ヲ中止シ
 居レリ

移住回期	移住年度	募集戸数	応募戸数	移住承認戸数
第十二回	大正十二年春	三五〇	三六一	一一二
第十三回	大正十三年春	三五〇	二五二	九三
第十四回	大正十四年春	三五〇	三一八	一〇一
第十五回	大正十五年春	三五〇	四三〇	九七
第十六回	昭和二年春	三五〇	六二二	五四

備考

第十一回迄ハ第一種(二町歩移住)第二種(十町歩移住)ノ
 兩種移住民ヲ募集シ其ノ応募数相当多数ナリシカ第十二
 回ヨリハ第一種移住民ノ募集ヲ中止シ第二種移住民ノ拾
 町歩割當ヲ五町歩割當トシ此第二種移住民ノミヲ募集シ
 応募者ノ資格ヲ向上シタルヲ以テ従来ノ第一種移住民申
 込者程度ノ者ニテハ申込ムモ承認覺束ナキヲ知リ申込ラ
 差控ヘ相當自信アルモノノミ申込ムコトトナリタルヲ以
 テ応募戸数ハ一時減シタルモ漸次移住ノ有利ナルヲ知リ
 増加セリ而シテ承認戸数少キハ嚴選ノ結果ニ至ルモノナ
 リ

(二) 移住民ノ現在戸数

黄海道		江原道		南道		京畿道		忠清道		南道		忠清道	
第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種
						六						二	
						四						二	
七	一五					一〇八				一		六	
六	八					八						九	
二	三				五	五						八	
八	二					五				一		四	
九	五					七			五	一		一	
三	七					四				六		三	
五	三					二			一	三		三	
四	九					八			六	一		三	
七	四					七				四		一	
九						一				五			
一五						九				五			
二						一				五			
一七						五				三			
一八						一				三			
一三						八				一			
一四	一八					七				一		二	六

北道		全羅道		南道		慶尚道		道名	
第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	第一種	第二種	種別	
								第一種	一
								第二種	一
								第三種	一
								第四種	一
								第五種	一
								第六種	一
								第七種	一
								第八種	一
								第九種	一
								第十種	一
								第十一種	一
								第十二種	一
								第十三種	一
								第十四種	一
								第十五種	一
								第十六種	一
								第十七種	一
								第十八種	一
								第十九種	一
								第二十種	一
								計	一

昭和七年六月末現在在ノ如シ
 (昭和七年六月末現在在)

三四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三
石川	宮崎	島取	福岡	山形	鹿見島	三重	福井	新潟	和歌山	徳島	大分
三〇	二六	四〇	四三	四四	五二	六〇	六四	七六	八一	八九	九五
二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五
栃木	千葉	富山	長野	山梨	高根	兵庫	北海道	奈良	静岡	宮城	
一〇	一〇	一五	一八	二〇	二〇	二一	二二	二三	二五	二八	
合計		四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	三九	三八	三七
		埼玉	秋田	岩手	神奈川	群馬	青森	大沢	茨城	滋賀	東京
三九一五											

合計	北道		平安	
	第一種	第二種	第一種	第二種
計	七	一五		
一一	二二	三三		
二二	三三	四四		
三三	四四	五五		
四四	五五	六六		
五五	六六	七七		
六六	七七	八八		
七七	八八	九九		
八八	九九	一一〇		
九九	一一〇	一二一		
一一〇	一二一	一三二		
一二一	一三二	一四三		
一三二	一四三	一五四		
一四三	一五四	一六五		
一五四	一六五	一七六		
一六五	一七六	一八七		
一七六	一八七	一九八		
一九八	二〇九	二二〇		
二〇九	二二〇	二三一		
二三一	二四二	二五三		
二四二	二五三	二六四		
二六四	二七五	二八六		
二七五	二八六	二九七		
二八六	二九七	三〇八		
三〇八	三一九	三三〇		
三三〇	三四一	三五二		
三五二	三六三	三七四		
三六三	三七四	三八五		
三八五	三九六	四〇七		
四〇七	四一八	四二九		
四二九	四四〇	四五一		
四五一	四六二	四七三		
四七三	四八四	四九五		
四九五	四六六	四七七		
四六六	四七七	四八八		
四八八	四九九	五〇〇		
五〇〇	五一〇	五二〇		
五二〇	五三〇	五四〇		
五四〇	五五〇	五六〇		
五六〇	五七〇	五八〇		
五八〇	五九〇	六〇〇		
六〇〇	六一〇	六二〇		
六二〇	六三〇	六四〇		
六四〇	六五〇	六六〇		
六六〇	六七〇	六八〇		
六八〇	六九〇	七〇〇		
七〇〇	七一〇	七二〇		
七二〇	七三〇	七四〇		
七四〇	七五〇	七六〇		
七六〇	七七〇	七八〇		
七八〇	七九〇	八〇〇		
八〇〇	八一〇	八二〇		
八二〇	八三〇	八四〇		
八四〇	八五〇	八六〇		
八六〇	八七〇	八八〇		
八八〇	八九〇	九〇〇		
九〇〇	九一〇	九二〇		
九二〇	九三〇	九四〇		
九四〇	九五〇	九六〇		
九六〇	九七〇	九八〇		
九八〇	九九〇	一〇〇〇		

(口) 移住民出身府縣別戸数表

(昭和七年六月末現在)

四	三	二	一	順位
山口	福岡	高知	佐賀	府縣名
二七	二九	四一	四七	戸数
八	七	六	五	順位
廣島	香川	熊本	岡山	府縣名
一九	一八	一七	一七	戸数
一	一	一	九	順位
愛媛	岐阜	長野	愛知	府縣名
九	一〇	一一	一〇	戸数

移住民割當地

移住地ハ旱水害ノ憂少ク地味良好ニシテ且教育・衛生共
ノ地 社會的設備ノ比較的便利ナル地方ヲ選定シ左記方
法ニ據リ移住民ニ譲渡セリ

第二種移住民

面積	
田畑ヲ通シ五町歩以内ヲ割當テ内 一町歩ヲ自作ニ他ハ小作セシム	土地代金ハ土地引渡ノ際其ノ四分 ノ一以上ヲ拂込テ残額ニ對シテ 年七分ノ利率ヲ附シテ五箇年以 内等賦償還ノ方法ニヨリ拂込ヲナ ス

備考

第一種移住民

面積	
田畑ヲ通シ二町歩以内ヲ割當テ全 部自作スルヲ要ス	土地代金ニ對シテ年六分ノ利率ヲ附 シテ五箇年以内代金ヲ拂込ヲ据置 ク

田	五	六	七	八	九	〇	一	二	三	四	五
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
七九六二六〇	四三九二二〇	五九八二二〇	一三〇二二〇	二四二二二〇	五八八二二〇	二二二二二〇	八二二二二〇	一四二二二〇	五二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
七二二二二〇	二九二二二〇	六二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
八〇五二二〇	五五二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇

田	一	二	三
△	△	△	△
七二二二二〇	二九二二二〇	六二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△
八〇五二二〇	五五二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△
二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△
二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△
二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△
二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△
二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇
△	△	△	△
二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇	二二二二二〇

前五年以上を経過シ土地代金及貸付移住費ノ二分
ノ一以上ヲ拂込シ其ノ成績良好ナルモノニ對シ下
希望ニ應ジ土地所有権ヲ移轉シ未押領ニ計スル債
担保トシテ抵當権ヲ設定スル第一回ヨリ第十七
回迄移住民ニ割付ラタル土地ノ面積及譲渡價格別表
如シ

移住民讓渡地面積及價格表
(昭和七年六月末現在)

計	期		計	格
	一六	一七		
△ 六三七三二二六 △ 七七一四一三九	一三七四一三九	△ 一〇一〇一八	△ 六五一〇一七 △ 二八四二二二	△ 七〇二四 △ 九九八三五
△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二
△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二
△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二
△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二
△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二
△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二
△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二
△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二	△ 三二〇二二二

備考

左傍に印ヲ附セルハ横選分(期限前及満期償還)ヲ示ス
 四) 移住民ニ對スル保護施設
 一) 移住費ノ貸付

第一種移住民ニ對シテハ住家、納屋、建築費、肥料其
 他營農費ノ補足トシテ一戸ニ付金貳百圓以内ノ貸付ヲ
 十二年七分ノ利率ヲ附シ二十五ヶ年以内(元金五ヶ年
 以内据置)ニ年賦償還セシム其他土地改良費又ハ天災

等ニ因ル救済ノ爲ニモ必要ノ貸付ヲナセリ

昭和七年六月末現在ニ於ケル貸付高ハ左表ノ如シ

移住費貸付金高表

年	度	前期繰越高	当期貸付高	当期返済高	差引現在高
明治四十四年度		一九三〇〇〇	四四、三五〇	一九六六九	七、六三〇
大正九年度		七、六六八	六五、二五〇	八八、八〇〇	一、三六二
全二年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全三年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全四年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全五年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全六年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全七年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全八年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全九年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全十年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全十一年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全十二年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全十三年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全十四年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全十五年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全十六年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全十七年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全十八年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全十九年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇
全二十年度		一、七〇二	一一〇、五〇〇	一一〇、五〇〇	〇

大正八年年度	二一〇、五六二・八三	一六、六二・六〇	八、四五・八八	二一八、九二・七一
全九年度	二一八、九二・七一	六〇、三五八・八	五、五一九・八	二七二、二二七・八一
全十年度	二七二、二二七・八一	二〇、二六〇・八二	一三、五一一・八	二七九、五五七・四五
全十一年度	二七九、五五七・四五	一九、〇五〇・八二	一九、〇五〇・八二	三〇四、四六一・三三
全十一年度	三〇四、四六一・三三	六九、二〇六・四四	二一、九九九・五七	三六七、六六七・二〇
全十二年度	三六七、六六七・二〇	一一、三九七・七〇	二四、三二五・九二	四七二、〇六四・九〇
全十四年度	四七二、〇六四・九〇	一〇、六六一・一七	五七、四四一・八八	五一九、九七九・二五
昭和元年度	五一九、九七九・二五	一一、五八七・六一	九八、七三三・一八	五五七、一一五・六八
全二年度	五五七、一一五・六八	一八、二八一・八四	一八九、〇八五・五	五二九、四二〇・四〇
全三年度	五二九、四二〇・四〇	七六、七八四・七一	一〇、一七四・五九	五〇、四一七・九二
全四年度	五〇、四一七・九二	五六、六八六・八	九、七三三・一八	四四六、九三三・八二
全五年度上期	四四六、九三三・八二	七三、一九五・〇〇	四三、八四五・〇五	四七六、二八三・七七

全五年度下期	四七六、二八三・七七	八五、五八三・六	五三、一〇九・六	四三二、七五三・〇七
全六年度上期	四三二、七五三・〇七	八六、三三六・七七	四九、七六六・五八	四七八、一〇一・七六
全六年度下期	四七八、一〇一・七六	九一、九七七・一三	一一、五六一・一一	四五四、六七〇・七八
全七年度上期	四五四、六七〇・七八	一六五、八二五・四一	六四、六四三・七	五五五、八四八・二六

備考 當期返済高(欠)トアルハ欲損處分額ヲ示ス

四種苗、肥料、農具等ノ貸付

農業上必要ナル物品ハ低利ニテ貸付ヲナスツアリ

農業上ノ指導

各地ニ農事講習、講話及農産物品評會等ヲ開催シ或ハ

官公署ノ農業技術員ニ依頼シ又ハ社員ヲシテ実地指導

＝當クニメ或ハ印刷物ヲ配布スル等ニ依リ農業上ノ指導啓發ニ勉ムルト共ニ生産物ノ販賣斡旋等種々便宜ヲ供シツツアリ

(四) 教育

移住地ハナルヘク学校ノ所在地ヲ選定スルモ此ノ設備ナキ地方ニハ学校組合ノ組織ヲ設シ官廳ノ補助ト相成テ會社ハ設立費及維持費等ヲ發分テ補助ニ以テ学校ヲ設立セシメ或ハ學校ト遠距離ニ在ルモノニ對シテハ児童復新ヲ設ケシメテ補助ヲ與ヘ子弟ノ就學ニ便セリ

(五) 衛生

移殖民ノ爲メニ嘱託醫ヲ置キテ無料診療、炭原ノ割引ヲナサシム(嘱託醫ヲ置カケル地方ニ對シテハ炭原ノ

補助ヲナス)又飲料水ノ缺乏ノ地方ニハ井戸掘鑿費補助、流行病消毒費補助等衛生施設ニ對シ意ヲ注ゲリ

(六) 宗教

僧侶ニ巡回法詔ヲ依頼シ或ハ社寺ノ建立ニ寄附ヲナシ以テ移住民ノ信仰修養ニ資セリ

(七) 優良移住民ノ保護

第一種移住民ニシテ其ノ成績優良ナルモノハ第二種移住民ニ種別ノ変更ヲナシ或ハ土地ノ割當増加ヲナス等特殊ノ奨励ヲナシ其ノ善行ヲ表彰シツツアリ

(八) 副業奨励

副業トシテハ養蚕ヲ第一トシ養鵝、養豚、蠶糸ノ製造之ニ重ク當社トシテハ桑苗ノ配布、桑園用地ノ割當、豚

倉、納倉ノ建築補助等ヲ行ヒ又製氷機、製糖機等ヲ貸付シ之カ助成ヲ計リ居ルヲ以テ移住民ノ大部分ハ之ニ従事ニ農家経済ノ助長後知ニ多大ノ効果ヲ頭ハスニ至レリ

其他

天災凶歉ニヨリ災害ヲ蒙リ或ハ特ニ不幸ノ移民ニハ全品ノ貸付及給與ヲナシ救済ノ道ヲ講シ其他移住民ノ為家族會ノ開催、蓄音機又ハ活版寫真等ニヨリ種々慰安ノ道ヲ講ニツアリ

五、移住民ノ状況

近時朝鮮ノ農業ハ着ニク發達セリ就中当社移住民ノ居住此レ地方ハ特ニ進歩セルヲ認め朝鮮ニ於ケル農業ノ改善

ハ移住民ニ負フ所少カラズ其ノ地方的進歩ノ度ハ在住移住民ノ數ニ比例セリ今其ノ成績ノ概要ヲ記スルニ左ノ如シ

一、農事ノ成績

移住民ハ内地ノ進歩セル新種管理、肥培水利等ヲ悉ニ又一方農産物ノ收穫調整ニ至ルニテ銳意之レカ改良ニ努ムル傍鮮農ニ對シ指導スル所少カラス現在ニ於テ朝鮮ノ農事ノ改良、養蚕ノ飼育、副業ノ發達等ニ一段ノ進歩ヲ齎セシハ移住民ニ負フ所大ノリ之レヲ水作ニ於テ見ルニ普通鮮農ハ反當畝僅ニ二石内外ノ收穫ナリシニ同一ノ水田ニ於テ移住民ハ優良品種ノ植付、施肥ノ増加其ノ他種々進歩セル耕作方法ニ依リ反當畝四石以

上ノ收穫ノ得ルモノ多ク移住後三、四年経過セシモノハ
 反當五石以上即チ一戸到者水田一所大段七畝歩ヨリ租
 七十石乃至九十石稀ニハ百石以上ニ達スルモノアリ而
 シテ其ノ生産セルモノハ品質調製共ニ優良ニシテ内地
 市場ニ於テハ移民米ト稱シテ歡迎セラレ内地時等米ニ
 劣ラサル市價ニ依リ取引セラル、状況ナリ、殊ニ特記
 スヘキハ移住民カ畝穀田耕作者ニ選定セラル、コトニ
 シテ連年其ノ奉耕者ナリ其ノ榮譽ヲ負ヘリ、又大正
 十四年、如キハ大日本農會總裁梨本宮殿下ヨリ農事功
 労者トシテ表彰セラレタルモノ大石、多キニ及ヒ其他
 移住民農村ニシテ官廳ヨリ産米改良、養蚕、農事改良
 ノ康ニヨリ模範村トシテ表彰セラレタルモノ又個人ト

シテ表彰セラレタルモノアル等模範的移住民ノ績出ス
 ルハ誠ニ喜フヘキ現象ナリ

四) 生計状況

移住當初ハ住家納家ノ建築、家畜ノ飼育其他農事経営
 費ニ相當ノ支出ヲ要シ加フルニ風土ノ變化言語、風習
 等ノ相違ニヨリ生活上多少ノ不便ヲ免レサルモノニ、且年
 経過スルニ從ヒ風土ニ慣レ言語相通スルニ至リ是等ノ
 不便除去セラレ漸ク餘裕ヲ生スルニ至ル而シテ之レヲ
 内地ノ農業ニ比スルニ遙ニ平穩ナル生計ヲ営ミ漸次附
 近ノ耕地ヲ買収シ又一方移住讓渡地代金ノ完納ヲ計リ
 所有權ヲ獲得シ中流以上ノ農事經營者タルモノ、逐年増
 加セリ

而シテ其ノ割當地代金ヲ完済セシモノ本年六月末現在
ニ於テ一千百八十九戸ニシテ其ノ面積ニ千九百九十八
町歩ニ達セリ

尚移住民ノ生活狀況ハ昭和四年度ノ旱魃ニ引續キ五年
度ノ米價ノ暴落ニ依リ其ノ打撃ヲ受フルコト多大ナリ
ニカ當社ハ生産物担保ニ依ル低資融通並ニ現物ニ依ル
仮收納ノ便法ヲ設クル等臨機ノ方法ヲ採リ以テ之カ緩
和ヲ圖リニ處昨年末ニ於ケル金輸出禁止等ニ依リ米價
騰貴ニタル爲其ノ経済狀態ハ相当緩和セラルルニ至レ
リ

四 移住民ノ朝鮮文化開闢ニ及ホセル影響

一 農事ノ改良

移住民ハ前記ノ項ノ如キ農事ノ成績ヲ舉ケ則チ種苗
ハ改良短冊苗代ノ設置、正條植、改良農具ノ使用、
施肥、病虫害駆除、除草、乾燥、調製等ヲ自ら實
行シテ範ヲ示シ或ハ養蚕、養豚其ノ他ノ副業ニ從
事シ之ヲ鮮農ニ指導習得セシムル等各種ノ方面ヨリ
農事開闢ニ著シキ好影響ヲ與ヘソツアリ

二 地方ノ開闢及經濟上ニ及ホセル影響

移住民ニ依リ其地方ニ於ケル交通、教育、衛生、宗教其他
諸種ノ社會上ノ施設ヲ促進シ又移住民ノ農事資金及
準備金等ハ地方ニ散布セラレ金融ヲ圓滑ナラシム其
ノ地方ノ繁榮ヲ進ハル等地方經濟ニ好影響ヲ與ヘソ
ツアリ

(3) 地方ノ風習上ニ及ホセル影響

移民民ノ拓殖ニ依リ從來發達セザリシ朝鮮ノ農業ヲ
シテ若シク進歩セシメタリ、即チ鮮農ヲシテ共同事
業ノ獎勵、産木、養蚕、水利、地方改改其他ノ諸種
ノ組合等ノ施設ニ依リ勤勉ノ風氣ヲ助長セシムルト
共ニ勤儉貯蓄ノ美風ヲ振興シ責任觀念ノ涵養、公衆
心ノ培養殊ニ鮮婦人ノ外業ニ從事スルノ因ヲ養成ス
ル等地方ノ改善ニ及ホス所少カラズ

(4) 内鮮人ノ融和

移住當初ニ於テハ言語、風俗、習慣等ノ相違アリテ
時ニハ感情ノ一致セサルモノアルモ年ヲ経ルニ從ヒ
叙戎相通ニ地方ニ於ケル事業ノ如キモ共同ニテ之ヲ

ナシ吉山嶺福ノ場合ノ如キモ相共ニ廢弔ニ内鮮融和
ノ實ヲ登ケツ、アル例少カラズシテ漸次共栄共存ノ
實ヲ示セリ

一、特殊事業

(1) 支那炭礦

(1) 位置、支那熱河道阜新縣

(2) 礦區面積

七出嶺嶺區中許可ヲ受ケタルモノハ大嶺區ニシテ其總
面積ハ參萬壹千四百七拾參畝(或約五百六十六萬五千餘

坪)ナリ

(3) 權利ノ取得ト事業ノ経過及現狀

本礦區ハ奉天在任ノ本邦人カ支那人名義ヲ以テ出願セ
 ルモノニシテ本社之ヲ買収シタルモノナリ、之ヲ經
 營ハ日支合辦組織ニ據ルヲ必要トシ且之ヲ有利ニ導ク
 ニハ炭礦鐵道敷設ノ要アリタルカ現狀直チニ經營着手
 ヲ不得業ト認メラレルモノアリ同地方ニ大鉱區ヲ有ス
 ル南滿洲鐵道株式會社ニ併セテ管理スルヲ候トスルヲ
 以テ條件付ニテ之ヲ同社ニ肩替セリ

支那棉作事業

新農公司

一 事業地 支那江蘇省東台縣
 二 事業地概況 同地方ニ於テ約一万五千町歩ノ土地
 ヲ買収シ第一期事業トシテ約三千六百町歩ノ土地

ヲ劃ニ築堤、揚水、備付其他灌溉、排水ノ設備ヲ爲
 シ大正十一年度ヨリ小作ニ從事シ本年ハ小作人戸
 數約在千貳百餘戸ニシテ貳千三百餘町歩ヲ耕作セ
 リ

組織

大正十一年陳儀氏ヲ主体トセル資本銀參百
 萬元ノ福華墾殖股份有限公司ヲ設立ス此會社ハ實
 質ハ合辦事業ナルモ事業遂行上形式ヲ純支那會社
 トシ本社ノ出資ハ總テ對公司借款ノ形式ニ依レリ

新農公司

一 事業地 支那江蘇省阜寧縣
 二 事業地概況 同地方ニ於テ約三六〇〇町歩ノ土地
 ヲ買収シ棉作ヲ爲ス目的ナリシモ排日、兵亂等ノ

爲、土地買収ヲ一段落トシ、本々事業ニ着手スル能ハス

三 組織 本公司ハ股政科政ヲ主体トシ、資本銀七拾萬元ヲ以テ大正十一年設立ス

此會社ニ實質ハ合辦事業ナレトモ、總支那會社ノ形式ニシテ當社ノ出資ハ總テ對公司借款ノ形式ニ依レリ

天津紡織事業

事業地 天津郊外

四 引受概況 元北京政府財政總長王克敏氏等ノ經營ニ

保ル裕大紡織公司(綿絲及、帆布)ニ對シ同工場ヲ担

保トシ當社ハ大正十一年一月ヨリ三月迄百八拾萬圓ヲ貸付ニタルカ、爾來紡織界不振加フルニ奉直戰爭ノ突發ヨリ地方財界悲況ヲ極メ、創業日淺キ公司ハ遂ニ經營難ニ陥リ延滞ヲ重ネタルヲ以テ當社ハ債權整理ノ目的ヲ以テ大正十二年十一月以降二十年間該公司ノ委託經營權ヲ掌握セリ

ハ 經營 受託後作業ハ順調ニ進行シツツアリタルモ大正十四年八月上海方面ノ紡織暴動波及シ裕大ニ襲撃ヲ及ケ工場及機械等ヲ破壊セラルレ、損害ヲ蒙リ爲ニ一時操業ヲ休止ニタルモ、今年十月再開以來漸次増産ニテ約ニ萬鍾(電力參萬五千鍾)ノ運轉ヲナセリ

ハ 複委託經營 紡織事業ノ如キハ専門的知識並ニ經驗

了ルモノカ経営ノ術ニ當ルヲ得策トスルヲ以テ受託
當時ヨリ複委託ヲシテ得ル契約ヲ爲シ適任者ヲ物色
シツツアリニカ幸ヒ適任者ヲ得ルヲ以テ昭和元年
九月以洋複委託經營セリ

(四) 馬來半島ニ於ケル土地經營

南洋方面ニ於ケル投資及事業經營ノ爲メ社員ヲ派遣シ
實地ヲ調査セシメタル結果昭和五年七月馬來半島「
ヨホートルバル」州(一部「クダ」州ニ跨ル)ニ於テ
五、九、三英反ノ土地ヲ買収シ謀謀栽培ノ目的ヲ以テ之
カ經營方法ヲ調査考完中ニシテ差當リ既成林ノ管理維
持ヲ圖ル一方芽接優良樹園造成ノ目的ニテ小面積ノ開
墾ヲ行ヒツツアリ

(五) 朝鮮都市經營株式會社

(1) 所在本店京城府黃金町

回資本金 五〇〇〇〇圓

(A) 總株數 一〇〇〇株

(B) 拂込金 一三五〇〇圓

(C) 一株拂込金 一五圓五〇錢

(六) 東拓トノ關係

(A) 株式ノ引受

引受株數 一〇〇〇株

引受割合 一〇〇%

拂込金 一三五〇〇圓

(B) 資金ノ援助

土地建物讓渡代償債 二一三三九七七圓

期限 土地建物賣却ノ都度入金

(二) 沿革及事業

京城、平壤、大邱等朝鮮ニ於ケル主要都市ハ近時著シク人口増加、傾斜ヲ示シ既ニ總督府及地方官廳ニ於テハ市街擴張計劃ヲ樹テ舊市街ノ整備ヲ計ルト共ニ新ニ地域ヲ擴張シテ之ニ市街地酌設備ヲ施シ以テ都市人口ノ増大ニ備ヘ是等市街豫定地ハ漸次店舗住宅ノ建設ヲ見ツツアル狀況ニ在リ而シテ東北ハ此等市街計劃地及其ノ接續地ニ廣大ナル土地ヲ所有シ從來定地其ノ他貸賃ニ附シ農耕地トシテ利用經營シ来リタルニ致上ノ時運ニ鑑ミ之ニ道路下水等ノ施設

ヲ完備シテ優良ナル住宅地ノ供給ヲ計ルト共ニ他面當面ノ市街擴張計劃ニ順應シ併セテ利用收益ノ増進ヲ計ラニカ為昭和六年十月當會社ヲ設立シ先ツ第一着手トシテ京城府内及近郊東北所有土地四五三、九二ニ坪家屋五棟ニ〇九坪ヲ當會社ニ讓渡シ之ヲ經營ヲ行ハシム其ノ成績ニ應ニ漸次地都市近郊ニ及ボリントスルモノナリ

(六) 中東海林探木有限公司

本公司ハ支那吉林省ニ於ケル左記森林ノ伐採權ヲ得伐木事業及其附帶事業ノ經營ヲ目的トスル吉林省政府ト日本側トノ官商合辦ノ株式會社組織ナリ

位置

東支鐵道海林驛（哈爾濱、浦邊ノ中間驛）ヲ分界トシテ南北ニ分立セル大森林ニシテ北方ニ在ルヲ北溝森林トシ、南方ニ在ルヲ大海林林場ト稱ス

面積及材積

(A) 北溝森林

總可積

紅松	二、八四〇。〇。石
魚鱗松	二、二八二。〇。石
利用蓄積 杉板	二、五九八。〇。石
雜	九、四八〇。〇。石
計	三六、二〇〇。〇。石

一、二八〇。〇。町步

(B) 大海林林場

總面積

一、五〇〇。〇。町步

利用蓄積

紅松	四、二七三。〇。石
杉板及魚鱗松	一、四一三。〇。石
雜	二、五一七。〇。石
計	八、〇〇三。〇。石

(C) 沿革及経過現狀

本公司林場ハ大正八年本社力其ノ伐採權ヲ買收シ起シテ大正九年之ヲ日本紙器株式會社ニ讓渡シタルニシテナルカ同紙器會社力財界不況ニ依リ経営困難トナリ且右代金ノ支拂ニ窮シタルヲ以テ當社ハ大正十一年四月之ヲ買戻スニ至レルモノニシテ買戻後ニ於テハ組織ノ改善ヲ最必要トセル狀況ニアリシヲ以テ

杯省政府ノ官商合辦組織ノ交渉ニ着手シ一年有餘
 ノ日子ヲ経テ大正十三年一月ニ至リ交渉纏リ資本金
 三百五拾萬圓(日支共額)出資ニシテ支那側出資ハ
 當社ヨリ貸付スノ株式組織ニヨル官商合辦ノ本公
 司成立契約ノ調印ヲ了シ三月十五日新公司成立シ凡
 月十五日ヲ以テ開幕スルニ至レリ
 而シテ開幕後ハ専門技術者ヲ杯爲ニ派シ伐木計畫及
 森林鉄道敷設計ノ調査ヲ爲ケンメタル結果差當リ
 北溝杯場ノミニソキ大正十一年ヨリ伐採ニ着手シ昭
 和二年度迄引續キ作業ヲ爲シクル處地初三年度ハ木
 材界ノ不況ニ依リ一時作業ヲ休止シクルニ依テ引
 續キ權利關係ニ於テ困難ナル事情ニアリタルヲ以テ

(七)

昭和四年度ニ於テハ極メテ小規模ノ作業ヲ開始シ一
 方從來未着手ナリシ大海林ニ對シテ技術員ヲ派遣シ
 調査ヲ遂ケ之カ試験作業ヲ行ヒツツアルニ滿洲木材
 界依然不振ノ現状ニ鑑ミ伐採事業ハ休止中ナリ
 然ルニ土地經營

南洋方面ニ於ケル邦人企業ノ実績ニ鑑ミ全地方拓殖事
 業經營ノ必要ヲ認メ大正八年六月當社業務ヲ南洋方面
 ニ擴張スルノ許可ヲ得タリ會々蘭領和ルネオ・バニジ
 ヤルマン附近ニ於ケル邦人經營官有未墾地約一萬二千
 町步(七十五ヶ年租借)ノ權利ヲ讓渡スルモノアリ之
 ヲ收得シテ社員及専門家ヲ派シ精細ノ調査ヲ遂ケ事業
 經營ノ便宜上同地ノ法令ニ據リ蘭領印度拓殖會社ヲ設

立シ同年末之カ施策調査ニ着手セリ
 事業地ハ「バンジマルマシニ」ヲ距ル約二十基米ノ地
 ニ在リ殆シト全部未墾ノ草林地ナリシモ大正十一年以
 降開墾ニ着手シ七百五十町歩ノ椰子ヲ植栽セルカ其成
 育良好ナラリシヲ以テ昭和二年其ノ区域ヲ縮少シ護
 謨栽培ノコトニ計画ヲ變更シ最少限度ノ經營ヲ実行シ
 未リ現状維持ヲ目的トシ専ラ手入作業ヲ實施シ居レリ

一 資 産 計 算
 (自第二十三期至第二十七期)

種別	第二十三期 (昭和五年上期)	第二十四期 (昭和五年下期)	第二十五期 (昭和六年上期)	第二十六期 (昭和六年下期)	第二十七期 (昭和七年上期)
繰込未済資金	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇
債券價格較差	九、八八四、七〇〇	九、六六二、五八〇	九、三六八、七〇〇	九、〇七九、三九〇	八、九一五、〇〇〇
貸付金	一、二五〇、九七四、八五〇	一、三二二、二八八、九〇〇	一、二三三、四三三、九五〇	一、三六六、六七九、六〇〇	一、三二二、四一七、八七五
代理貸付金	二、四〇、八三〇、〇〇〇	二、三三三、三三三、三三三	二、二七四、七〇〇	二、三三三、三三三	
株式及債券	七、三三三、三三三、三三三	七、三三三、三三三、三三三	七、三三三、三三三、三三三	七、三三三、三三三、三三三	七、三三三、三三三、三三三
持種事業	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
委託事業費					四六八、五五五、七
預金	四八九、〇九五、九〇	二九二、二二〇、四六	三三三、三三三、三三三	三、六六六、九五五、〇	四、三三三、三三三、三三三
地所	二九、〇〇〇、〇〇〇	二九、〇〇〇、〇〇〇	二九、〇〇〇、〇〇〇	二九、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇

種別	期別	第 二 十 三 期 (昭和五年上期)	第 二 十 四 期 (昭和五年下期)	第 二 十 五 期 (昭和六年上期)	第 二 十 六 期 (昭和六年下期)	第 二 十 七 期 (昭和七年上期)
貸 本 金		五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
取換積立準備金		五七〇,〇〇〇	六三五,〇〇〇	六五八,〇〇〇	七〇八,〇〇〇	七七三,〇〇〇
配当平均準備金		一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇
債券発行高		一八〇,七〇〇,〇〇〇	一八〇,三一九,〇〇〇	一八〇,七〇〇,〇〇〇	一八〇,五二五,〇〇〇	一八〇,九一五,〇〇〇
定期預り金		六,二八七,〇〇〇	六,三二五,〇〇〇	六,七三三,〇〇〇	七,〇六二,〇〇〇	七,二二二,〇〇〇
借入 金		一,〇〇〇,〇〇〇	八二六,三二四	八六七,七六〇	九,四七五,九一七	九,四七五,九一七
地所建物譲渡受高		四,七四八,八八〇	四,五三三,三九七	四,三三九,九〇〇	六,三三三,七二八	六,三三三,七二八

二、負債

(自第二十三期
至第二十七期)

種別	期別	第 二 十 三 期 (昭和五年上期)	第 二 十 四 期 (昭和五年下期)	第 二 十 五 期 (昭和六年上期)	第 二 十 六 期 (昭和六年下期)	第 二 十 七 期 (昭和七年上期)
金 銀		一〇四,五九三	六〇,二四二	六九,一〇七	四四,七〇七	九五,二八九
水支店未達勘定		九九四	七三,八一四			
總 計		二四九,〇四四	一三三,〇五六	一三八,二一四	一四四,四一四	一九〇,一八七

種別	期別	第 二 十 三 期 (昭和五年上期)	第 二 十 四 期 (昭和五年下期)	第 二 十 五 期 (昭和六年上期)	第 二 十 六 期 (昭和六年下期)	第 二 十 七 期 (昭和七年上期)
山 林		六,〇三三,三三三	六,〇三三,三三三	六,〇三三,三三三	六,〇三三,三三三	六,〇三三,三三三
建 物		六,七〇六,一三三	六,六九七,七二四	六,六四〇,六九二	六,五九六,七三九	六,五五八,〇二八
機 械 器 具		五,四九,一九六	五,三六九,八〇一	五,二七五,五五二	五,一五三,一〇八	五,〇七,〇六四
農 産 物		一,〇七三,八三三	一,〇七八,四二四	一,〇七九,六七四	一,〇八四,五七〇	一,〇四〇,五七三
林 産 物		二,六三九,八三三	三,〇五五,九八八	三,〇六八,四四九	三,〇六八,四四九	三,〇六八,四四九
工 産 物		一,四三三,九三三	四,五,六六六	五,一九三,三五五	六,〇一四,一〇七	六,七,一五九
地所建物譲渡高		二,〇八九,七二七	二,〇四七,五〇七	二,〇三九,〇八四	二,〇三三,八七五	二,〇三三,八七五
物品貸付高		一,三三三,四七四	六,一七,二七九	一,一九,六四七	五,四二〇,〇〇〇	一,一六,一六六
興 業 費		二,四七〇,三〇〇	二,五七六,七三三	一,〇七八,三三四	三,五七,五九九	六,三八,二〇〇
假 拂 金		一,九七五,二〇〇	二,七三三,七四一	一,九七五,二〇〇	二,二五六,五四一	二,〇二八,六三三
未 收 金		五九〇,〇〇〇	四九〇,〇〇〇	四九〇,〇〇〇	三,六四,〇〇〇	三,三八,〇〇〇
受取手形		二,七〇七,七八五	五,八九三,五八四	九,六三三,八一三	八,〇〇八,八八七	七,八三三,七九二

種別	三、利益			
	第二十三期 (昭和五年上期)	第二十四期 (昭和五年下期)	第二十五期 (昭和六年上期)	第二十六期 (昭和六年下期)
總益金	八、七四四、四六八、七二	八、四九七、七八四、一〇	八、六七二、八二四、四〇	九、一〇四、七四六、二五
内				
貸付金利息	四、七〇〇、九五七、三八	四、五五九、〇七、四三	四、七〇二、三五七、六〇	四、七〇二、七六九、八三
株券及債券収入	五、七七一、〇四、六〇	四、六五五、五三、三三	五、九七八、八二、二四	四、九五、三三九、二九
特種事業収入	六、七〇一、〇〇	六、七九六、〇三、六	三、五〇〇、〇〇	六、九〇、六七、八〇
預金利息	三、七四二、六三	三、四、六三、四三	一、六、六四、二四三	五、二、二九、三五
地所收入	一、七二一、〇九、一一	二、一八八、〇二、七八	一、七六二、八八七、〇六	二、五〇六、一四、二〇
山林收入	四、三、四六、九五	二、六、九三、三五九	六、五、八六、三	三、二、二四、一一
建物收入	一、三、三三、五八二	一、二、八三、二九九	一、二、七、三五、一五四	一、二、五、四一、九五
地所建物 課税収入	五、三、一三九、三九	四、五、三、七、一六三	五、五、四、三、三、六一九	四、七、八、四九、七七八

三、利益

(自第二十三期
至第二十七期)

假受金	一、〇三六、四七四、〇一	一、一五四、八〇七、二二	一、一五九、四三、二七	一、四七、四六、二五	一、四、八、八、二九
未拂金	一、二九八、三九、二六	一、三七五、〇七、〇	七、八、五七、三、七	一、三、五、八、九、九	一、九、七、〇、九、九
為替整理金	一、〇、〇、〇、〇	七、一、九、八、一、六	七、五、三、一、二、三、四	七、五、四、一、八、八、一、四	七、五、九、五、三、三、三
代理貸付保證	二、四、八、八、三、〇	二、三、四、三、〇、四、五、八	二、二、七、四、九、七、五	一、五、三、六、〇、〇、〇	二、四、八、八、五、〇
契約保證金	七、三、七、六、五、四、七	二、二、四、八、二、一、九	二、一、一、一、二、九、八	一、七、七、九、六、六、四	二、四、八、八、五、〇
身元保證金	四、二、八、一、〇、五、九五	四、五、八、九、〇、六、五九	三、七、二、六、二、六、四、八	五、六、〇、三、五、八、六、三	三、七、〇、五、四、五、七、九
退職給與基金	五、五、三、八、六、二、五、八	六、〇、四、九、九、九、〇、一	一、三、五、九、七、七、六、二	四、六、一、八、四、九、一	一、一、七、五、四、七、八、二
對銀及對金勘定	二、七、七、七、〇、八	九、五、二、五、四、四			
水支店未達勘定			三、三、〇、〇、六、六	二、六、八、七、七、七	二、八、九、六、〇
前期繰越金	三、七、八、〇、八、六、〇、四	三、七、八、三、三、二、五、七	一、二、〇、五、四、五、四、一	一、五、七、三、六、〇、三、二	三、六、五、四、八、二、四、二
当期純益金	七、七、一、二、四、八、五三	七、七、六、三、一、二、八、四	六、九、三、一、四、九、一	八、〇、一、一、二、二、〇	二、〇、九、〇、五、九、三、七
總計	二、四、九、一、四、四、六、五、四、八	二、五、五、〇、八、三、五、四、三、一	二、五、五、七、五、四、六、〇、九、一	二、六、四、二、七、九、八、五、八、三	二、七、一、四、八、五、八、七、〇、三

修繕費	備品及消耗費	通信及運賃費	雜費	為替差損	雜損	仕拂利息	諸債却金	當期利益金	總計
三七七三六八七	六四四五五三六	一四四三三八九	二二二六四三七	二二七三九三	九二五〇七二六	五〇二七五三二	七四九八〇四〇	一四八三三三二	九二二五五二七六
四九、五五二三八	六、八一六五二	一四、〇二二八三	三三、四八七九六		一三、八六一三五	五、三〇一、五五二八	六、七、一七〇〇	六、五、四、五、四、五	八、八、七、六、〇、一、六、七
三六、四七、七、九五	四八八九四、五五	一三、七、七、六一、四八	一、九、〇、四、三、五、七、五	一七、三、八、三、〇、五	三、四、四、五、六、一、二	五、三、九、七、一、四、六、八、五	六、〇、七、七、七、七、五、九	七、三、九、八、六、〇、三、二	八、七、九、一、八、二、七、八、一
三二、六一三、一、六	五三、三三、七、八八	一四、七、〇、三、七、六、五	二、八、九、四、四、四、五	一、九、二、九、二、七、二	一、〇、三、七、二、六、七、九	五、三、八、〇、一、七、五、〇、〇	九、一、〇、五、八、九、四、九	九、六、七、四、八、二、四、二	九、三、六、二、〇、〇、七、〇、七
三二、六三、四、三三	五〇、〇七〇、九四	八、七、七、八、四、七、一	二、九、三、七、三、四、八、七	一、二、八、一、三、〇、〇、〇	七、六、二、四、六、〇	五、六、六、六、六、一、九、四、八	六、〇、三、〇、三、五、〇、〇	五、七、四、五、四、一、七、九	九、五、六、五、三、四、八、六、九

物品貸付収入	反託土地水良事業収入	雜收入	前期繰越金	總計	行別	内	報酬支給料	雜給	旅費	諸税
一〇、九〇五、〇四	三、〇、七、〇、二、一、〇	六、九、八、六、二、〇、四	三、七、八、〇、八、六、〇、四	九、二、三、五、五、二、七、七	第一十三期 (昭和五年上期)		五、二、九、九、四、八、七、三	三、五、五、〇、八、三、〇、六	一、五、五、九、九、〇、五、四	五、一、六、二、四、七、〇、四
五、七、七、六、一、七、一	一、八、五、八、九、七、五、四	五、五、七、六、五、七、七、八	三、七、八、〇、三、二、五、七	八、八、六、六、〇、六、六、七	第二十四期 (昭和五年下期)		五、四、三、五、九、二、五、六	二、八、七、九、四、八、二、八	一、三、三、二、六、四、三、六	五、六、六、六、三、八、七
一、七、〇、八、〇、九、七、七	一、八、〇、一、八、五、八、九	六、四、三、五、九、八、八	一、二、〇、五、四、五、四、一	八、六、九、六、八、三、八、一	第二十五期 (昭和六年上期)		四、五、六、八、六、六、〇、〇	三、七、六、八、三、七、一	一、四、〇、九、九、七、七、七	五、〇、〇、九、三、六、四、五
六、三、三、四、五、八、六	一、〇、六、八、八、三、二、一	五、〇、二、九、五、五、三、六	一、五、七、三、六、〇、二、二	九、二、六、二、〇、七、〇、七	第二十六期 (昭和六年下期)		四、一、〇、五、六、九、七、一	二、九、五、一、六、五、六、五	一、〇、三、六、二、八、九、五	五、四、九、九、四、三、二、〇
二、六、三、三、五、二、一	七、四、八、〇、八、一、一	七、七、五、一、六、三、六、七	三、六、五、四、八、二、四、二	九、五、六、五、四、八、六、九	第二十七期 (昭和七年上期)		三、六、五、〇、五、九、六、二	二、五、一、二、〇、五、六、三	八、一、九、〇、八、二、五	四、二、五、〇、二、八、八、五

四、損失

(自第二十三期至第二十七期)

0000 0902

種	種別		金額
	科目	内訳	
貸付金利息	定期及年賦貸付金利息	四、六三六、六八五	四、六三六、六八五
	移住費貸付金利息	一九、八二七	
株券及債券収入	社内融通金利息	六二、八三〇	六八、五五九二
	株券収入	六、六五五九二	
特種事業収入	債券収入	二四、五七九八	八三、九〇三

利益部

昭和七年下期損益豫算書

期別	利益	損失	差引当期純益金
昭和五年上期	八、七四四、四六七	七、九七四、三二〇	七七〇、一四七
昭和五年下期	八、四九七、七八四	八、二二一、四七一	二七六、三一三
昭和六年上期	八、六七一、二八二	八、〇五一、九六七	六一九、三一五
昭和六年下期	九、一〇四、七四七	八、二九四、六二五	八一〇、一二二
昭和七年上期	九、一九九、八六六	八、九九〇、八〇七	二〇九、〇五九

五、各期別損益比較表

(第三十三期)

科目		種目	金額	内訳
受託事業収入	特殊事業収入	受託事業費利息	五七、三五三	八三九、三〇
預、金利息	代打手数料	代打手数料	三二、四六四	二二、七七一
地所収入	預、金利息	預、金利息	二、四八七、五九一	三二、四六四
	小作料	小作料		三、一七四、七一四
	地所貸貸料	地所貸貸料		五、一九九八
	原塩収入	原塩収入		九三、七四一
	農産物賣却益	農産物賣却益		三八、八八八

科目		種目	金額	内訳
山林収入	代錢差益	山林収入	一〇、一九一	五七、四九八
建物収入	地所差益	建物収入	一四一、二四七	七〇、七五二
地所建物譲渡高収	建物貸貸料	建物貸貸料	四六二、二一一	一四一、二四七
	地所譲渡高収入	地所譲渡高収入		二七五、六六七
	建物譲渡高収入	建物譲渡高収入		一八五、五四四
物品貸付収入	肥料貸付利息	肥料貸付利息	六四、四二八	四一、四六五
	雑収入	雑収入		二二、九六三

科種		科目		科別		金額	
報酬及給料	雜給	旅費	諸給	諸報	諸報	諸報	諸報
諸	雜	旅	諸	諸	諸	諸	諸
報酬及給料	給	費	給	報	報	報	報
四〇九、七九二	二四七、二三二	八七、三七八	一六一、四四四	二九七、七四八	六二、六六三	八七、三七八	八七、三七八
諸	給	費	給	報	報	諸	諸
諸	給	費	給	報	報	諸	諸
六二六、四七二	二四七、二三二	八七、三七八	一六一、四四四	二九七、七四八	六二、六六三	八七、三七八	八七、三七八

損失部

科種		科目		科別		金額	
收入手数料	雜收入	諸手数料	諸報	諸報	諸報	諸報	諸報
收入手数料	雜收入	諸手数料	諸報	諸報	諸報	諸報	諸報
一八、七八八	一、二一五、六九四	六、九六八	一一、八二〇	一一、七六五	一八〇、五七三	九三〇、六三〇	九一、七二七
諸	雜	諸	諸	諸	諸	諸	諸
諸	雜	諸	諸	諸	諸	諸	諸
一八、七八八	一、二一五、六九四	六、九六八	一一、八二〇	一一、七六五	一八〇、五七三	九三〇、六三〇	九一、七二七

著シキ具體的變化ヲ認メスト雖好時ノ先ハ隨所ニ看取スル
 フ得ヘク既ニ滿洲建國ノ宣言ニアルカ如ク同國ヲ改者カ多
 年ノ積弊ヲ鏟除シテ王道主義ヲ實行シ國際信義ヲ尊重シテ
 既存ノ條約、債務等ハ皆之ヲ繼續承認シ以テ門戶開放機會
 均等ノ實ヲ得クルニ努メ取ルトシテ是レ曰モ足ラサルカ如
 キ真摯ナル態度ニ鑑ミ當社ハ時運轉運ノ好機ヲ善用シ從來
 ノ雌伏状態ヲ蛻脱シテ大ニ業務ノ進長ヲ図ラムトス左ニ列
 記セルハ事業上ニ及ボシタル影響ノ一斑ナリ

い舊東北軍閥時代ニ在リテハ我商租權否認ノ態度ニ出テタ
 ル爲商租權ヲ擔保トスル貸付金ハ殆ント回收ノ途ナカリ
 シモ新滿洲國ニ於テハ商租權ヲ尊重スルコトトナリタル
 ヲ以テ是漸貸付金ノ整理ノ途啓ケタルニ付秩序ノ回復ヲ

俟テテ是等貸付金ノ回收整理ヲ圖ラムトス

四舊軍閥時代ニ在リテハ新滿洲國ニ於ケル日本人ノ事業ハ事毎
 ニ壓迫ヲ加ヘラレタル爲メ日本人ノ事業ハ著シク沈衰シ
 元利金ノ回收困難ナリシモ滿洲國建國後ハ日本人ノ事業
 ハ漸次更生ノ曙光ヲ見ルニ至リタルヲ以テ當社延滯貸付
 金モ漸次回收セラル、ノ機運ニ際會セリ

い當社ノ關係会在タル滿洲公司ハ大連、奉天、新京、哈爾
 濱ニ於テ流亡物件タル土地家屋約一〇〇〇、〇〇〇畝ヲ所
 有シ之ヲ貸貸シツ、アルカ滿洲事變發生後大連ヲ除ク冬
 地ハ賃借ノ申込多ク賃賃料ノ如クモ支拂順調ニシテ好成
 續ヲ收メツ、アリ

尚新京ニ於テハ新ニ土地ノ掃下ヲ受ケ住宅地ノ經營ヲ為

スヘク目下調査中ナリ

○富田関係會在タル東省実業株式会社ノ貸付モ亦富田関係
 貸付金ト同様回收整理ノ曙光ヲ認めタルノミナラズ同會
 社ノ投資セル事業へ會社組織、組合等、之亦新水活流ヲ
 呈スルニ至リ前途洋々タルモノアリ、秩序ノ回復ヲ期ス
 ニ發展策ヲ講セントシツツアリ

○富田ノ関係會社タル北滿電氣會社モ故來支那側ノ壓迫ヲ
 蒙リ居リタルモ滿洲事件後之カ壓迫ヲ取除カレ漸次好境
 ニ赴キツツアリ更ニ北滿電氣事業ヲ合同ニ大ニ若躍セン
 トモツツアリ

○富田ノ資金供給ニ係ル天圖鐵道及老頭溝炭礦(東間島)
 七滿洲國政府建設ニ伴ヒ買収セラル、コトニ決定シ当

二、滿洲ニ於ケル投資状況

(一) 滿洲投資額

(昭和七年一月末日現在)

社ヨリノ供給資金ハ積缺ニ肩替スルコトナレリ

種別	投資額	現		備	要
		在	高		
現金	二、五八、七六五	二、四一、二八九	一、〇六、八七六		
株券	二、一八、七六五	八三、二六五	四七、一〇、三七三		
債券	五、七五、三二〇	三、九一、七三〇	二、六〇、〇〇〇		
特殊事業(中東鐵道)	四、一〇、三、四三四	二、四〇、〇〇〇	九九〇、九七四		
関東鐵道會	三、八〇、一六一	二、一八〇、一六一	一		
東省勸業興業會	一、七三、九〇〇	五、〇七、七六一	八四五、四六二		
			四一九、六七七		

其	他	計	三、四、八、九、二、〇	二、五、〇、六、一、二、九	一、〇、九、三、三、七、九	一、〇、九、三、三、七、九	五、八、三、〇、九、四、〇
一、〇、六、九、三、三、一	二、七、四、〇、五、六、一	三、五、七、八、七、四、一	一、八、七、七、八、三、一	一、九、五、五、六、三、四	五、九、九、八、九、三、九	六、〇、三、八、六、〇、四、〇	
							現在額 対し、ル、併、合、額

備考

一、本調ハ奉天、大連、哈爾濱、瀋陽ノ各支店ノ滿洲投資額ヲ示ス
 (ハ本社及ノ滿洲投資額ヲ合ス)
 二、本調ハ滿洲ノ滿洲ハ進出セル大正六年ヨリ昭和七年上
 期末迄ノ額ナリ
 三、関東廳貸上宿舍ハ大正九年及十年ニ於テ滿洲力関東廳
 官舎ヲ建築シ関東廳豫算ノ都合ニ依リ買上ラレシメナリ
 四、其他ノ投資トハ間貸支店ノ所有業所並滿洲各支店ノ業
 業用並所建、物、什器及其他ノ雜資産ナリ

三、滿洲ニ於ケル關係会社投資額調 (昭和七年六月末現在)

会社名	株	債	貸付金	建設物	投資額計
北滿電氣	四八三、七五〇	三八、七〇〇	一、九、〇、〇、〇、〇	二、三、〇、〇、〇、〇	二、五、六、七、七、〇
精蒙毛織	一、五、五、九、八	六四、八六〇	一、〇、〇、〇、〇、〇	二、五、四、七、四〇〇	三、六、一、二、二、六、〇
東省實業	一、七、四、五、〇、〇	一、〇、八、九、七、七、七	一、四、〇、〇、〇、〇	二、三、〇、〇、〇、〇	三、八、〇、〇、〇、〇
鴻業公司	一、二、五、〇、〇、〇	一、三、五、〇、〇、〇		一、〇、九、三、三、七、九	二、六、〇、五、七、九
昭私酒類公司	一、五、〇、〇、〇、〇	二、五、〇、〇、〇、〇			四、〇、〇、〇、〇、〇
東亞土産企業	二、五、〇、〇、〇	三、六、〇、〇、〇			六、一、〇、〇、〇、〇
大連商會事務所	一、一、二、五、〇	一、一、二、五、〇			二、二、五、〇、〇、〇
正隆銀行	七、五、〇	一、四、〇		二、四、〇、五、一、五、〇	二、四、〇、五、一、五、〇
滿洲銀行	一、七、六、五、一、三	八、三、〇、〇、二		三、五、四、三、三、七、九	一、三、三、七、六、六、八

年度	前年度より繰越高	前年度中貸付高	前年度中回収高	年度末現在高
大正六年一年度	一、一六四、一四〇	二、一七一、四五〇	七、三一〇	一、一六四、一四〇
七年度	一、三九六、三七九	三、〇三四、二六六	一、三、九六六、三七九	一、三、九六六、三七九
八年度	一、三、四九九、〇七〇	二、一、七六四、二八五	三、三、四九九、〇七〇	三、三、四九九、〇七〇
九年度	四、一、二一八、三三三	二、四、八〇一、七五四	四、一、二一八、三三三	四、一、二一八、三三三
十年度	五、一、八〇〇、七五〇	二、三、一七八、六八〇	五、一、八〇〇、七五〇	五、一、八〇〇、七五〇
十一年度	五、〇、一九四、一八五	二、一、九二六、三三二	五、〇、一九四、一八五	五、〇、一九四、一八五
十二年度	七、四、二四二、七二二	六、七、九二二、三二四	七、四、二四二、七二二	七、四、二四二、七二二
十三年度	七、一、七〇三、八〇一	一、八、〇四三、七七三	七、一、七〇三、八〇一	七、一、七〇三、八〇一
十四年度	六、九、六二二、九〇〇	二、五、四八九、九〇一	六、九、六二二、九〇〇	六、九、六二二、九〇〇
十五年度		二、五、九九九、九九〇	六、九、六二二、九〇〇	六、九、六二二、九〇〇

三 滿洲ニ於ケル貸付金貸出、回收状況調

(昭和七年六月末日現在)

項目	東運勸業	大興合名	鹽池會	東豆湖草
前年度	二、九四五、一七一			一、一五〇、〇〇〇
本年度	二、八七八、三三八			一、一五〇、〇〇〇
増減	一、五九〇、〇〇〇			
前年度中	二、八七八、三三八			
本年度中	二、八七八、三三八			
増減	〇			
前年度末	二、九四五、一七一			一、一五〇、〇〇〇
本年度末	二、八七八、三三八			一、一五〇、〇〇〇
増減	一、五九〇、〇〇〇			

會社名	投資總額	債	却	少	賣却其他	現在額	最近配債率
北滿電氣	三三三,九二七	三三五,二二七				三八,七〇〇	無配
滿蒙毛織	一〇六,八五四	九九七,九七九			一五	六四,八八〇	
東省實業	二二三,六二二三	一二四,五二九七			一,二五〇	一〇,八九,六七六	
鴻業公司	一二五,〇〇〇					一二五,〇〇〇	六分
昭和酒精公司	二五,〇〇〇					二五,〇〇〇	無配
東亞米企業	二五,〇〇〇	二二,四〇〇				二六,〇〇〇	
大連商會取引所	四三,九二〇	三二,六七〇				一一,二五〇	
正隆銀行	二八三	四三				二四〇	三分
滿洲銀行	五二,五五八 (一五,二六〇)	一二一,八五七				八三,三〇一	三分
遼東銀行	一七四,〇〇〇	二一,四〇〇			(一五,二六〇)		(八滿洲銀行上 臨時擔保金額ナリ)

(四) 株券還

(昭和七年六月末日現在)

計	七年度	六年度	五年度	四年度 (九ヶ月間)	三年度	昭和二年
投資總額	三六,六〇〇,七九九	三六,九一〇,五〇八	三九,二一八,五三五	四七,二〇三,七六四	四九,一九九,九八八	六〇,六七七,一八七
債	三〇,四六,七五四	二,七三七,〇一五	三,五八二,二一〇	一,七二二,七三〇	三,二二五,六〇一	三,七二〇,七三〇
却	一,一五七,五六一					
少						
賣却其他						
現在額	二五,七九〇,〇〇六	三〇,四六,七五四	五,八九〇,二三七	九,七〇七,九五九	五,一八一,八二五	一四,二三七,九二九
最近配債率	三六,六〇〇,七九九	三六,九一〇,五〇八	三九,二一八,五三五	四七,二〇三,七六四	四九,一九九,九八八	六〇,六七七,一八七

備考

大正十三年、度以降、回收高中ニハ内部債却高一〇,六七八,七六四円
ヲ含ム

内務省事務費金簿

會社名	投資總額	目次	頁
中東海林	五九二六〇	二四〇	二
新新炭礦	三〇一八五	二四〇	三
打	四二〇二四三四	二四〇	四
		八三〇	五
		一四六	六
		九二	七
		一五	八
		九	九

昭和七年六月一日現在

秘

東洋拓殖株式會社爲替差損補給金

一、〇〇〇、〇〇〇 圓

理由

東洋拓殖株式會社ハ米貨債六分利附一五、〇二五、五〇〇弗、五分五厘利附一六、九八六、五〇〇弗合計三二、〇一二、〇〇〇弗ヲ發セルガ對米爲替相場ノ暴落ニ依リ對米爲替相場ヲ二七弗替トシテ一ケ年四、二二三、九一二圓ノ爲替差損ヲ生ズ其ノ結果同社昭和九年度中ニ於ケル米貨債爲替關係以外ノ豫想純益金二、四二三、七三七圓、米貨債償還差益金額七九二、三二七圓合計三、二一六、〇六四圓ヲ繰入ルルモ尙一、〇〇七、八四八圓ノ純損ヲ見ルベシ（別表政府補給金計算表參照）

從ツテ之ヲ此ノ條ニ於テハ全社存立上重大ナル事態ヲ惹起スルノ虞アリ右ハ全社存立ノ特殊使命ニ鑑ミルモ將又全社挫折ノ場合ニ於ケル各般ノ影

警等ヲ考慮スルモ 國幣上等國ニ附シ得サルヲ以テ本補給金ヲ計上セムトスルモ
 ノナリ

政府補給金計算表 (九年度)

米債爲替損	四二二、三九一、二圓	算出基礎別表(附一) ノ通り
全債還益	七九三、三二七圓	
差引米債關係純損高	三、四三一、五八五圓	
基本純益高	二、四二三、七三七圓	基本收入高 一八、四二八、〇九一圓
再差引純益不足高	一、〇〇七、八四八圓	全經費高 一六、〇〇四、三五四圓
右補填方法		内詳別表(附二)参照
政府補給金	一、〇〇〇、〇〇〇圓	

昭和九年中外債償還差益及為替損見込額表

一附二

8.10.18改訂

組別	目別	買入相場	現在高		満債基金		買入償還高		償還差益	為替差損	利		息		為替損	損
			弗	円	弗	円	弗	円			弗	円	弗	円		
九 年 上 期	25回	64 $\frac{1}{2}$ 弗	15,255,510	30,141,153	14,976,300	300,826	155,419	232,500	44,795	11,569	25,573	4,176	9,423	1,119,500	765,265	1,428,9
	57回	61弗	16,986,510	34,074,717	19,777,500	40,747	91,577	327,500	65,945	25,616	750,550	46,712	93,011	1,193,107	773,044	1,871,81
	計		32,242,020	64,215,870	34,753,800	418,573	247,096	560,000	110,740	37,185	1,001,100	91,888	1,842,607	2,992,607	1,538,309	3,300,711
九 年 下 期	25回	64 $\frac{1}{2}$ 弗	14,713,410	29,574,758	14,776,300	30,826	155,419	232,500	44,795	11,569	25,573	4,176	9,423	1,119,500	765,265	1,428,9
	57回	61弗	16,986,510	34,074,717	19,777,500	40,747	91,577	327,500	65,945	25,616	750,550	46,712	93,011	1,193,107	773,044	1,871,81
	計		31,699,920	63,649,475	34,553,800	71,573	247,096	560,000	110,740	37,185	1,001,100	91,888	1,842,607	2,992,607	1,538,309	3,300,711
合 計	25回	64 $\frac{1}{2}$ 弗	29,968,920	59,715,911	29,552,600	311,652	310,838	465,000	89,590	23,138	51,146	8,352	17,846	2,239,000	1,530,530	2,857,8
	57回	61弗	33,973,020	68,149,434	39,555,000	81,521	183,152	655,000	131,890	51,232	1,501,100	93,124	1,846,118	2,966,151	1,546,088	3,743,62
	計		63,941,940	127,865,345	69,107,600	413,173	503,990	1,120,000	221,480	74,370	3,012,200	184,270	3,685,118	5,205,159	3,076,618	6,601,42

備考 社債買入償還ハ、(25回分64 $\frac{1}{2}$ 弗)トシ為替相場ハ、27弗トス(8.10.17.相場=依ル)但シ上期57回減債基金ハ、八年下期、送金=付實際豫約レート26弗58=依リ。

金納小作料	八八、五四七	地稅	五五六、七二七
地所賃貸料	一二一、〇二〇	公費	三〇七、三〇〇
原鹽收入	二六六、三〇〇	其他	一七、六九五
農產物差益	二、四五五、九一八	修繕費	六五、一一四
地所差益	一九二、四四九	備品及消耗品費	一〇六、三九八
山林收入	七六、三六六	通信及運搬費	二六九、四八六
建入	二七七、〇一一	通信費	三八、〇七五
地所建物讓渡收入	九六六、二一三	運搬費	一七七、四八一
物品貸付收入	八九、三四九	作業費	五三、九三〇
受託土地改良事業收入	一三一、〇四〇	雜費	六三二、七二五
雜收入	一、四四五〇、二五	諸手数料	一〇一、五〇三

諸手数料	三一、四四六	土地及建物賃借料	八四、一八三
換付物件鑑定料	二六、五七一	農事施設費	一一四、二一三
社外報酬給料受入金	二、九九五	補給金利息	三一、二五〇
保留債權回收益	三二六、三八〇	雜費	三〇一、五七六
社債買入償還差益	七九二、三二七	雜損	四二七、六九八
肥料差益	六〇、八一三	米債爲替損	四二二、三九二
雜收入	一八五、四九三	雜損	五三、〇四六
		仕拂利息	一一、二九〇、一五〇
		社債利息	一〇、六〇〇、六〇八
		定期預り金利息	四三二、八九四
		借入金利息	一五五、二九〇

合 計	一、九二二〇、四一八	計	二〇、二二八、二六六	雜 利 息	一〇一、三五八
米 債 償 還 益	七九二、三二七	米 債 爲 替 損	四二二、三九一	諸 債 却 金	一、〇二一、八二六
差 引 基 本 收 入 高	一八、四二八、〇九一	差 引 基 本 經 營 高	一六〇〇、四三五四	社 債 較 差 償 却 金	八四三、三八五
		(基本純益高)	二、四二三、七三七	建 物 及 機 械 器 具 償 却 金	一七八、四四一

(昭和八年十月十八日改訂分)

損益計算書 (昭和九年版)

基本収入高	一八四二八〇九一	基本収入高	一八四二八〇九一
貸付金利息	八三四二三七八	貸付金利息	八三四二三七八
一般貸付金	六一〇六二〇〇	一般貸付金	六一〇六二〇〇
貸付期間	二〇〇〇日	貸付期間	二〇〇〇日
利率	二七〇日	利率	二七〇日
平均貸付高	八二四〇八五〇〇	平均貸付高	八二四〇八五〇〇
米穀資金ヲ除ク	七分四厘	米穀資金ヲ除ク	七分四厘
七年度実績	八分八厘	七年度実績	八分八厘
下ノ關係ヲ斟酌ス	六〇二五二〇〇	下ノ關係ヲ斟酌ス	六〇二五二〇〇
此ノ利息高	六〇二五二〇〇	此ノ利息高	六〇二五二〇〇
九年度内米穀資金貸付高	三〇〇〇〇	九年度内米穀資金貸付高	三〇〇〇〇
貸付期間	二七〇日	貸付期間	二七〇日
利率	二七〇日	利率	二七〇日

(昭和八年十月十八日現在)

一、利益ノ部

損益豫想説明書

種別	豫想高	備考
基本収入高	一八四二八〇九一	
貸付金利息	八三四二三七八	
一般貸付金	六一〇六二〇〇	
平均貸付高	八二四〇八五〇〇	
米穀資金ヲ除ク	七分四厘	
七年度実績	八分八厘	
下ノ關係ヲ斟酌ス	六〇二五二〇〇	
此ノ利息高	六〇二五二〇〇	
九年度内米穀資金貸付高	三〇〇〇〇	
貸付期間	二七〇日	
利率	二七〇日	

移任氏分	四七四一九	平均貸付高	五四六三〇〇圓
社内貸借分	七四七七九	收入	八分六厘八毛(七年度實額ニ依ル)
株券及債券收入	二二二一九六七	利息	四七四一九
株券收入	一六六八七〇七	七年度實額	ニ依ル
債券收入	五六三二六〇	内詳別表(附一)ノ通り	
管理事業收入	一四八五九一		
預金利息	八四三六八		
場所收入	四四二八一〇		
物納小作料	三三〇三八七六		

七年度實額ニ依ル
 既任實績ニ對シ金山收入等ノ増收ヲ見込ム
 七年度下期實績及八年度上期實績豫想ノ合計額
 ニ依ル
 増産計盤ニ基キ種四〇四〇〇石(石當評
 價額内五割五十段間島二割)及大豆、雜穀

平均貸付高	五四六三〇〇圓
收入	八分六厘八毛(七年度實額ニ依ル)
利息	四七四一九
七年度實額	ニ依ル
内詳別表(附一)ノ通り	
既任實績ニ對シ金山收入等ノ増收ヲ見込ム	
七年度下期實績及八年度上期實績豫想ノ合計額ニ依ル	
増産計盤ニ基キ種四〇四〇〇石(石當評價額内五割五十段間島二割)及大豆、雜穀	

三 損失ノ部

種別	帳目高	備考
基本経費高	一六〇〇四三五	
報酬及給料	八三、三一五	
諸報酬	八九一八三	現在役員及嘱託等ニ對スル既定報酬 並ニ業務上ノ獎勵、武術人、指導員 等ニ對スル報酬ヲ増原計置ノ關係ヲ 考慮シ計上ス
諸給料	六二七〇二八	八年六月末現在員ニ對スル定額ヲ計 上ス
在勤手當	一一四一〇四	全石
退職給與費	一八五、一八六	全石

種別	帳目高	備考
役員人謝金	十、三三二	役員人謝金
役員人	一八、四九二	役員人
役員人	六、〇八一	役員人
役員人	三、二六二、八〇	役員人
役員人	二、一六六、五五	役員人
役員人	二、六五二、一八	役員人
役員人	二、一四四、六六	役員人

出納簿長官	一八五、一八六	全	分
出納簿	三五、八八六	全	分
出納簿	一、一〇四	全	分
出納簿	六、二〇二、八	全	分
出納簿	八、六一八	全	分
出納簿	八、二〇一、五	全	分
出納簿	一六、二〇二、五	全	分

昭和天、八、四

庫	一六三、九〇〇	出納簿長官	一六三、九〇〇
庫	五五六、七二七	出納簿	五五六、七二七
庫	三〇七、三〇〇	出納簿	三〇七、三〇〇
庫	一七、六九五	出納簿	一七、六九五

七年度買入額ニ依ル
 七年度買入額ニ依ル
 七年度買入額ニ依ル
 七年度買入額ニ依ル

郵便費	信品及消耗品費	通信及運搬費	通信費	運搬費	作業費	薪費
六五、一四七	一〇、六二九	二六、九四八	二八、〇七五	一七、七四八	五、三九三	六三、二七二
七年度実績ニ依ル	七年度実績ニ對シ郵便費ニ依ル増五分ヲ見込ム		七年度実績ニ依ル	七年度実績一ニテ七八三ニ對シ郵便費ニ於テ七分ノ増及五米	七年度実績四九二ニ對シ薪費及運搬費ニ於ケル五分ノ増が	薪費ノ増がニ依ル約八〇〇九トヲ加算ス

薪費	運搬費	通信費	信品及消耗品費	通信及運搬費	郵便費	薪費
一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三	一、〇三三
七年度実績ニ依ル	七年度実績ニ依ル	七年度実績ニ依ル	七年度実績ニ依ル	七年度実績ニ依ル	七年度実績ニ依ル	七年度実績ニ依ル

品手数科	101,502	七年辰辰辰ニ似ル土タル内容ハ租假 九利仕掛手数科原銀及銀物等ノ販 買手数科租假銀取立手数科等ナリ
土地及建物具田料	八四一八三	七年辰辰辰ニ似ル
長細路取買	一一四二一三	七年辰辰辰ニ似ルシ増額訂置ニ似ル相 給此科買具他ノ路取買増那ヲ見込ム
租額金不立	二一、二五〇	八年八月未交額七五〇〇〇 ニ對スルモノ二一、八七五 七年五分額同(八年九月一十九年三 月)七ケ月 八年十二月未交額七五〇〇〇 ニ對スルモノ九、二七五 七年五分額同(九年一月一十九年三 月)三ケ月 合計 二一、二五〇
租買	二〇一、五七六	租不六、七兩平辰ノ買額半均ニ似ル (内特別表「附六」ニ似ル)

品手数科	101,502	七年辰辰辰ニ似ル土タル内容ハ租假 九利仕掛手数科原銀及銀物等ノ販 買手数科租假銀取立手数科等ナリ
土地及建物具田料	八四一八三	七年辰辰辰ニ似ル
長細路取買	一一四二一三	七年辰辰辰ニ似ルシ増額訂置ニ似ル相 給此科買具他ノ路取買増那ヲ見込ム
租額金不立	二一、二五〇	八年八月未交額七五〇〇〇 ニ對スルモノ二一、八七五 七年五分額同(八年九月一十九年三 月)七ケ月 八年十二月未交額七五〇〇〇 ニ對スルモノ九、二七五 七年五分額同(九年一月一十九年三 月)三ケ月 合計 二一、二五〇
租買	二〇一、五七六	租不六、七兩平辰ノ買額半均ニ似ル (内特別表「附六」ニ似ル)

(附一)

配當金收入原簿内録表

會社名	配當元数	配當年	配當額	備考
市井興發	五、一、二、五〇〇〇	九〇	四、六、一、二、五〇	概不取近ノ配當年ニ依ル
山東起業	八、八、一、〇〇〇	九〇	四、四、一、五〇	
梅屋公司	一、二、五、〇〇〇	九〇	七、五、〇〇	
新野鐵道	一、四、八、九、九、六〇	八〇	一、一、九、一、九、六	
新野鐵道	二、〇、三、〇〇	九〇	一、八、二、七	
漢城銀行	六、二、五〇	九〇	一、八、七	
滿洲銀行	一、七、六、五、一、二	九〇	五、二、九、五	
正源銀行	七、五〇	九〇	二、二	

(附二) 前年小作料課税内課税

合計	56,326.00	1,250.00	1,320.00	56,326.00	1,250.00	1,320.00	1,250.00	1,320.00
米	40,000.00	1,000.00	1,100.00	40,000.00	1,000.00	1,100.00	1,000.00	1,100.00
麦	10,000.00	200.00	250.00	10,000.00	200.00	250.00	200.00	250.00
大豆	5,000.00	100.00	120.00	5,000.00	100.00	120.00	100.00	120.00
雑穀	1,000.00	20.00	25.00	1,000.00	20.00	25.00	20.00	25.00
其他	1,326.00	30.00	35.00	1,326.00	30.00	35.00	30.00	35.00

(附三) 前年小作料課税内課税

種別	数量	単価	金額	備考
小作料	4,052.5石	547.22	2,218.84	課内 4,052.5石 547.22
米	1,979.1石	220.00	435.40	課内 1,979.1石 220.00
大豆	1,029.0石	390.00	401.37	課内 1,029.0石 390.00
雑穀	1,295.9石	181.00	235.46	課内 1,295.9石 181.00
棉花	298.8石	50.00	149.40	課内 298.8石 50.00
合計	4,188.7石	550.00	2,318.76	
八年課税額	3,879.5石	550.00	2,133.75	
七年課税額	3,771.2石	550.00	2,074.16	

0000 0938

種別	金額	備考
寄附寄贈費	六八一六五	六年度及七年度買取ノ平均額ヲ見込ム
接待費	二七五三九	・
車馬費	五四四五	・
訴訟費	一〇〇〇〇	不良貸付金等ノ整理回収促進ヲ圖ル爲相當ノ増額ヲ見込ム(六年度三、四〇〇〇圓七年度一、八〇〇〇圓)
講習費	一、六五一	六年度及七年度買取ニ依ル
地籍整理費	五八〇四	・
維持費	五六六四	・
設備費	五五〇〇〇	定額ヲ計上ス

(附六)

雜費繰越内訳表

(附五)

職員人(一) 職内職外

種別	金額
職員人(一)	一八、三〇三
職員人(二)	二、一五五
職員人(三)	二、八八二
職員人(四)	五、八〇四

合計 三〇一、五十六
 其 一、五十六
 其 二、五十六
 其 三、五十六
 其 四、五十六
 其 五、五十六
 其 六、五十六
 其 七、五十六
 其 八、五十六
 其 九、五十六
 其 十、五十六

(附七) 計債利息豫想内譯表

種別	豫想高	備考
新米増殖資金	八二、八八八	同別表(基一)ノ通り
一般政府資金	一、七九七	(基二)ノ通り
一般内債	五、〇〇〇	(イ) 八年六月末發行額七五〇〇〇〇〇 利息三、九五〇〇〇〇〇 八年下期中借替豫定高五五〇〇〇〇〇 借替未済高二七五〇〇〇〇〇 (ロ) 八年下期新設發行豫定高一〇〇〇〇〇〇〇 借替未済高二〇〇〇〇〇〇〇 (ハ) 合計 米債一、八二一、六〇八 米債平償換高三、六五〇、一四七 借替別途提出ノ附表参照
米債利息	一、七九七	
合計	一、七九七	

別	八 年 五 月 末	利 率	利 息 總 額	備 考
四一	二一八〇〇〇〇	四 分 五	九五八五〇	利息總額高カ純高ニ利率ヲ乘シタルモノト符合セサルハ期ノ中途ニ一部償還アル關係ナリ
四二	一、三七九五〇〇	・	六、九七六	
四九	三、五一二〇〇〇	・	一、五四五五三	
五〇	四、四六〇〇〇	・	二、〇〇〇〇	
五五	四、〇五〇〇〇	・	一、七八五六〇	
五六	一、四〇〇〇〇	・	六、二三三	
六四	八、四四〇〇〇	・	三、七九八〇	
六五	四、五三〇〇〇	・	二、〇三八五	

(基一)

産米政府資金利息總額高別内訳表

(附註) 世帯貯蓄債内訳表

種別	金額	利率	利息總額	備考
日本郵政資金	八、一五八、八〇〇	四 分 五	九、五八五〇	利息總額高カ純高ニ利率ヲ乘シタルモノト符合セサルハ期ノ中途ニ一部償還アル關係ナリ
一、〇〇〇、〇〇〇	・	・	・	
一、〇〇〇、〇〇〇	・	・	・	
一、〇〇〇、〇〇〇	・	・	・	
一、〇〇〇、〇〇〇	・	・	・	
一、〇〇〇、〇〇〇	・	・	・	
一、〇〇〇、〇〇〇	・	・	・	

前	八六	八〇	七八	六八	六七
一八九六一、五〇〇	一、四七九〇〇〇	一、三四九〇〇〇	一、五二五〇〇〇	二、五八〇〇〇	一、三四六〇〇〇
	・	・	・九	・	四五
八一七、四八六	五七、六八一	五二、六一一	五九、四七五	一一、六一〇	六〇、五七〇

一五一一

東京府知事官邸内蔵書

四一	四二	四三	四〇	三五	三六	三四	三三
二一八〇〇〇〇	一、三三六、五〇〇	一、二〇〇〇〇	四九六〇〇〇	四〇〇〇〇〇	一、四〇〇〇〇	八、四〇〇〇〇	四、五〇〇〇〇
四九	・	・	・	・	・	・	・
二、五八五〇	六、一、五、六	一、五、四、五、三	二、〇〇〇〇	一、八、五、六、〇	六、二、三、三	三、五、八、〇	二、〇、三、八、五
二一、一、四、八、十	・	・	・	・	・	・	・

種別	九年度豫想	八年度豫想	備考
八年度上期迄ノ發行分ニ對スルモノ	三二六六二一	三四一〇二六	八年度上期償還済ニ付同期中ニ全部償却済
四〇四	一	七五五	
五二四	一	八五六	
五三四	六四四五四	六四四五四	
五八四	一五九九六	一六一四六	
五九四	七四三八	七四三八	
六〇四	五四五六	五四五六	

(附八) 社債取差償却金豫想内詳表
 (内) 償分

三六三二六三〇〇	一六八八六五五
二八三〇〇〇〇〇	五二四〇〇〇〇
一八四〇〇〇〇	一〇一〇

六	五	四	三	二	一	八	七	六	五	四	三	二	一
...

（一）八ノ一ノ...

...
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

八年下期内信替
ニ依ル新取生
数ニ對スルモノ

六六四	七六四	八七四	九一四	九二四	五三四	五八四	五九四
一三、四〇二	一〇、七一四	一〇、九一六	四、〇〇〇	六、〇〇〇	三、〇〇〇	一、五〇〇	七、五〇〇
一三、四〇二	一〇、七一四	一、二七五〇六	三、五〇〇	五、二五〇	五、四二七	三、六二四	三、一一八

九年度少理出ハ内イ製分
ハ九年十月信替定ニ付九
ケ月三分ノ一ヲ見込メル
係ナリ
九年度定万八年度定
ニ比シ増加セルハ八年
ハ期ノ中途ニ至リシタル
係ナリ

九年度定ト八年度定
ノ相違出

種別	八年度決算	七年度決算	六年度決算	六〇四
一二五四	一六五二一四	一七二、六七二		
(円)外	四三六六二一	三六八〇〇四		
八年度内新集	二〇〇〇〇	三、一二五		
八年度下期内新集	一五〇〇〇	三、六二五		
八年度下期内新集	七五〇〇	一、八一三		
八年度下期内新集	七五〇〇	三、一一八		

(1) 八年度決算ハ期ノ途中
借替決定ニ付月報計
ナルモ九年度分ハ一ケ
年分計上

(2) 八年度決算ハ較差高ク
百圓ニ付一區二十五圓
トセルモ九年度分ハ一
區五十圓乃至二區ヲ見
込タル爲較差額多シ

(3) 八年度決算ニハ和信銀
行登録税ヲ較差ニ計上
セルモ九年度分ハ之ヲ
含マス

九年度決算カ八年度ニ比シ

種別	八年度決算	七年度決算	六年度決算	六〇四
一二五四	一六五二一四	一七二、六七二		
(円)外	四三六六二一	三六八〇〇四		
八年度内新集	二〇〇〇〇	三、一二五		
八年度下期内新集	一五〇〇〇	三、六二五		
八年度下期内新集	七五〇〇	一、八一三		
八年度下期内新集	七五〇〇	三、一一八		

(1) 八年度決算ハ期ノ途中
借替決定ニ付月報計
ナルモ九年度分ハ一ケ
年分計上

(2) 八年度決算ハ較差高ク
百圓ニ付一區二十五圓
トセルモ九年度分ハ一
區五十圓乃至二區ヲ見
込タル爲較差額多シ

(3) 八年度決算ニハ和信銀
行登録税ヲ較差ニ計上
セルモ九年度分ハ之ヲ
含マス

九年度決算カ八年度ニ比シ

二五四 一六二二一四 一六二六六二

大平道直 八平道直

四代 計 表

四五六六二一 三六八〇〇四

二五五五五八
通計二五五五五八
八平道直

二〇〇〇

二一二五

(一) 八平道直 二八〇〇

八平道直 一五〇〇

三六二五

(二) 八平道直 二〇〇〇

六六四 六五〇〇

三一一八

(三) 八平道直 一八〇〇

六〇四 六五〇〇

三一一八

(四) 八平道直 一八〇〇

計 五七四 二四一、五五〇 二六一、六二〇
四〇六、七六四 四三、四二九二

減少セル社債發行残高カ
減少セルニ依ル

合計 八四三、三八五 八〇三、二九六

西 一 作 八 冊 正 八 冊 八 〇 三 二 九 六

正 〇 本 中 本 冊 三 冊 三 〇 〇 〇 〇 〇

中 本 冊 一 冊 〇 冊 〇 冊 〇 冊 〇 冊 〇 冊

} 原 本 十 五 冊 〇 冊 〇 冊 〇 冊 〇 冊 〇 冊
原 本 十 五 冊 〇 冊 〇 冊 〇 冊 〇 冊 〇 冊

損益繰延及實績比較表

一、利益ノ部

種別	九年度繰延	七年度實績	六年度實績
貸付金利息	八三、四二、三七八	九五、六八、一八二	九四、七六、一二八
株券及債券収入	二、二三、九六七	一、六五、五、六三七	一、〇九、三、一五一
株券収入	一、六六、八、七〇七	九、九六、八、六六三	五、八二、八、六九九
債券収入	五六、三、二六〇	六、五八、七、七四四	五、一〇、二、八二二
特種事業収入	一、四八、五、九一	一、一七、八、〇〇六	七、一、五、六八
預メ金利息	八、四三、六八	九、一、一二五	六、八七、七一
場所収入	五、四二、八、一一〇	四、六三、一、五二五	四、二六、九、〇二八
物納小作料	二、三〇、三、八七六	二、〇六、四、九二四	一、八三、六、三六四

金納小作料	八八五四七	七三〇四七	八六六四九
地所賃貸料	一二一〇二〇	九六一二六	九九〇九六
原種收入	二六六三〇〇	九四九二四	一四一、一八四
農産物差益	二四五五九一八	二〇九〇九四六	一、五五七五八〇
地所差益	一九二四四九	二一五五六八	五四八一五五
山林收入	七六三六六	一五九一四	八七四三
建物收入	二七七〇一一	二七七〇一一	二五二七六四
地所建物差益收入	九六六二一一	八九九四一一	一、〇二二八三六
物品貸付收入	八九三四九	八九三四九	七九四二七
受託土地改良事業收入	一三一、〇四〇	一〇二四六四	二八七〇六八
収入	一、四四五〇二五	一、七六二七九六	一、一四六五四五

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

小作料	二二〇三、八七六	二〇六、〇二四	一、八三六、三六四
地所賃貸料	一、四二八、一一〇	一、三二一、二二五	一、一〇六、〇二八
原種收入	八四、五六八	一、一八、〇六六	六、八八、〇一一
農産物差益	一、四八、五六一	一、一八、八〇六	一、〇二、二八二
地所差益	五、六三、二六〇	六、五八、〇三四	五、一〇、二八二
山林收入	一、六六、八七〇	一、六六、八六三	一、八二、八六二
建物收入	二、二三、一六六	一、六五、五三三	一、〇三、三一一
地所建物差益收入	八、三四、三三〇	六、五、八一一	六、四、一三二
物品貸付收入	八、九、三四九	八、九、三四九	八、九、三四九
受託土地改良事業收入	一、三、一〇四	一、〇、二四六	二、八、七〇六
収入	一、四、四五〇	一、七、六二八	一、一、四六五

公費	其他	修繕費	備品及消耗品費	通信及運搬費	通信費	運搬費	作業費	雜費	請手敷料	土地及建物賃借料
三〇七三〇〇	一七二、六九五	六五、一一四	一〇六、三九八	二六、九四八六	二八、〇七五	一七、七四八一	五三、九三〇	六三、二七二五	一〇、一五〇三	八四、一八三
二一六、四八九	二二七、六二〇	六五、一一四	一〇、一、三三一	二二、一、七七九	三八、〇七五	一三、七七八三	四、九二一	六二、八八九五	一〇、一五〇三	八四、一八三
二四七、〇〇二	二三三、七八三	六八、一一一	一〇、二、二三二	二七、〇、七九九	三九、一七九	一八、五三七三	四、六二四七	四七、九八八〇	八、五八二四	三〇、八一〇

二、六、八、〇

第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二
五、六、七、二、二	一〇、三、五、二、二	一六、二、六、〇、〇	一八、五、一、八、六	二五、〇、四、八、六	一一、四、一、〇、四	六二、二、〇、二、八	八八、一、八、三	八三、〇、三、一、三	五、六、七、二、二	一〇、三、五、二、二	一六、二、六、〇、〇
五、六、七、二、二	一〇、三、五、二、二	一六、二、六、〇、〇	一八、五、一、八、六	二五、〇、四、八、六	一一、四、一、〇、四	六二、二、〇、二、八	八八、一、八、三	八三、〇、三、一、三	五、六、七、二、二	一〇、三、五、二、二	一六、二、六、〇、〇
五、六、七、二、二	一〇、三、五、二、二	一六、二、六、〇、〇	一八、五、一、八、六	二五、〇、四、八、六	一一、四、一、〇、四	六二、二、〇、二、八	八八、一、八、三	八三、〇、三、一、三	五、六、七、二、二	一〇、三、五、二、二	一六、二、六、〇、〇

士農工商賃賃	八四一八三	八四一八三	三〇八一〇
市平	一〇丁五〇三	一〇丁五〇三	八五八二四
引	六三二廿二五	六二五八五五	四廿八八〇
取	五二五三〇	四五五二一	四六二四廿
取	一廿四八一	一三廿八二	一八五三廿三
取	三八〇廿五	三八〇廿五	三六一廿五
取	二六六八六	二二丁廿廿	二廿〇廿五
取	一〇六三六八	一〇丁三三一	一〇丁三三二
取	六五一一四	六五一一四	六八一一一
其	一廿一六五五	二二丁六二〇	二二丁廿八三
公	三〇丁三〇〇	二一六四八五	二四丁〇〇二

最事取股費	一一四二一三	八七八五六	五五〇六四
補給金利息	三二、二五〇	三五三、三五二	三一〇、一八二
雜費	三〇丁、五七六	三五三、六八七	一七四九五九
雜損	四二七六九五八	三、一七五〇七四	三六七七六
木價為替損	四二二二、九一二	一八六六一三	一三八一八三
仕掛利息	一丁、二九〇、一五〇	一丁、三九八、六四五	一〇七七七七三二二
取債利息	一〇、六〇〇、六〇八	一〇、二五七〇二六	九九五五五六一
定期預り金利息	四三三、八九四	五一五三七六	三六丁、六〇四
借入金利息	一五五、二九〇	五一九、五八〇	四三〇、七六五
取券借入料	一	一五一、六三	一

其 他	話 債 却 金	社 債 收 入 却 金	建 物 及 機 械 器 具 却 金	新 債 却 金	合 計	米 債 爲 替 指	差 引 基 本 額 費 品
一〇一、三五八	一、〇二一、八二六	八四三、三八五	一七八、四四一		二〇、二二八、二六六	四二、二二九、一三二	一六〇〇、四三、五五四
九一、五〇〇	一、一八五、三三八	五五六、九五二	一七八、四四〇	四四九、九八七	一九四〇、八三六、二一六	三、一七五、〇七四	一六二、三三、二八八
二九、三九二	一、六一八、三五六	五二一、七六一	一八二、二七〇	九一四、三二五	一六三、四六、五九二	三六、七七六	一六三〇、九八、一六

商 債 却 金	社 債 却 金	不 動 産 債 却 金	其 他 債 却 金	新 債 却 金	合 計	米 債 爲 替 指	差 引 基 本 額 費 品
一、五二二、二六〇	一、〇二一、八二六	八四三、三八五	一七八、四四一		二〇、二二八、二六六	四二、二二九、一三二	一六〇〇、四三、五五四
一、五二二、二六〇	一、一八五、三三八	五五六、九五二	一七八、四四〇	四四九、九八七	一九四〇、八三六、二一六	三、一七五、〇七四	一六二、三三、二八八
二九、三九二	一、六一八、三五六	五二一、七六一	一八二、二七〇	九一四、三二五	一六三、四六、五九二	三六、七七六	一六三〇、九八、一六

貸付金利息	八三三、三七八	八、九五五、七二六	六一三、三三八	九年度ハ産米資金ハ、貸出増加ニ主因シテ平均貸付高一、四八二、〇〇〇円増加シ此ノ為利息九、八六〇、〇〇〇円増加スモ他方金利平均ニ厘方低下スル為二四、八四〇、〇〇〇円ノ減收ヲ生シ且ツ八年度ハ太興合名府管関係特別収入四四四、〇〇〇円ノ差引上記ノ通りノ減少トナル(詳細別表(附二)参照)
株券及債券収入	二、三三、九六七	三、三八、〇四三	二、四八、一七六	東拓礦業配当金八年度八年度申途払込、為六、八九〇、四九年度ハ一ヶ年分一七五、〇〇〇円ニ付
株券収入	一、六六八、七〇七	二、四六九、六七八	八〇〇、九七一	

九年度補給案
八年度
一、利益ノ部
損益豫想比較表

種別	九年度豫想	八年度豫想	増減高	増減理由
貸付金利息	八三三、三七八	八、九五五、七二六	六一三、三三八	九年度ハ産米資金ハ、貸出増加ニ主因シテ平均貸付高一、四八二、〇〇〇円増加シ此ノ為利息九、八六〇、〇〇〇円増加スモ他方金利平均ニ厘方低下スル為二四、八四〇、〇〇〇円ノ減收ヲ生シ且ツ八年度ハ太興合名府管関係特別収入四四四、〇〇〇円ノ差引上記ノ通りノ減少トナル(詳細別表(附二)参照)
株券及債券収入	二、三三、九六七	三、三八、〇四三	二、四八、一七六	東拓礦業配当金八年度八年度申途払込、為六、八九〇、四九年度ハ一ヶ年分一七五、〇〇〇円ニ付
株券収入	一、六六八、七〇七	二、四六九、六七八	八〇〇、九七一	

債券收入	五、六三、三六〇	九一〇、四六五	二、四七、二〇五
特種事業收入	一、四八、五九一	一、二三、六五五	二、四九、三六
預金利息	八四、三六八	一一八、八八六	三、四、五二八
地所收入	五、四二八、一一〇	四、四九四、一三三	九三三、九九七
物納小作料	二、三〇三、八七六	二、一〇〇、六九七	二、〇三、一七九

差引二、四、二〇月ノ増加トナリ其
 ノ他九年度ハ満毛等ノ松込増
 加ノ為一、九、三〇月ノ増収アリ他方
 八年度ハ南興及山倉株式賣却
 益九三三、六二〇月アリ差引上記ノ
 通減収トナル
 九年度ハ満鉄社債米債國債ノ
 手持増加ノ為債券利息ニ於テ
 七、六、七、四、月ノ増収トナルモ八年度
 ハ國債賣却益及評價益四一八
 八七九月アルニ因ル
 永興金山ノ増収
 八年度ハ内債二千萬圓ノ新規登
 行ニ依リ餘裕金潤澤ナルニ因ル
 九年度ハ増産計畫進行ノ為
 約七千石ノ増収豫定ナルニ加ハ
 八年度ハ南興水害ノ為三萬
 石ノ減収ヲ生スルニ因ル

全納小作料	八八、五四七	八六、〇八二	二、四六五
地所債、賃料	一、二一〇、二〇〇	一、〇六、五一九	一、四、五〇一
原塩收入	二、六六、三〇〇	二、三二、二二二	三、四、〇八八
農産物差益	二、四五五、九一八	一、七二六、一五四	七二九、七六四

増産計畫進行ノ關係
 増産計畫ニ依ル増収及流込
 物件増加ニ依ル増収ヲ見込ム
 採塩高五百萬斤増加ニ因ル
 増収一六、〇〇〇月
 賣價昂騰ニ主因スル増収
 一八、〇八八月
 (イ) 處分數量ニ〇、五三六石
 (イ) 概換算) 増加ニ依ル増収
 約八八、九二二月
 (四) 賣價昂騰(平均一月五八錢)
 約六〇、四五六二月
 (イ) 代錢差益ノ増加三六、三三三
 合計 七二九、七六四月
 備考
 九年度豫想ニ於ケル處分
 數量ハ概ニ換算シ三八二、三

地所差益	一九二、四四九	二四二、四四九	五三、〇〇〇	八年度ハ七年度差益ノ繰越サレケルモノアリタル關係ナリ
山林收入	七六、三六六	七六、三六六	—	朱乙事業收入八年度ハ特ニ好況ヲ見込マルルニ因ル
建物收入	二七七、三一一	二七〇、三三一	六、八八〇	流込物件増加ノ關係
地所建物譲渡收入	九六六、二一三	一、〇六七、四七七	一、〇一、二六四	八年度ハ瑞豊公司收入ニ於テ七年度繰越差益及純過利息收入等ノ増収六八、八〇〇円アリ且九年度ハ年賦払込ノ為ニ産市街地等ニ於テ債権高約五十萬円減少シ此ノ為ニ三五、〇〇〇円ノ減収ヲ生スルニ因ル

物品貸付收入	八九、三四九	八二、六六〇	六、六八九	増産計劃ニ基ク肥料貸付高ノ増加
受託土地改良事業收入	一三、〇四〇	一三、二五三	八七、八七	江西干拓關係投資額ノ減少ト利率ノ低下アリタルモ九年度ハ代行手数料ノ收入ヲ見込ム
雑収入	一、四四五、〇二五	一、八五一、三二四	四〇六、二九九	満洲方面好転ニ依ル増収ヲ見込ム
諸手数料	三一、四四六	三三、八〇九	二、三六三	社債市價ノ昂騰ト減債基金ノ減少トニ因ル(別表附ニ参照)
担保物件鑑定料	二六、五七一	二五、七七一	一、〇〇〇	
社外報酬	二、一九九五	二、一八九〇	一〇五	
料受入金	三二六、三八〇	一九九、四七三	一、二六、九〇七	
保留債権	—	—	—	
回収益	—	—	—	
社債買入償還差益	七九二、三二七	一、二八〇、七八一	四八八、四五四	

肥料差益	六〇、八一三	二五、八七九	三四、九三四	八年度ハ肥料價格不振ナリ シニ因ル
雑収入	一八五、四九三	二六五、七二一	八〇、二二八	保證債務解除料ノ減 五〇、〇〇〇円 南興證券貸付料ノ減 五〇、〇〇〇円 諸利息等ノ增收約 二〇、〇〇〇円
合計	一九、二〇、四一八	二〇、五、四七二	一、三、三〇六	
米債償還益	七九、三三七	一、二、八〇、七八一	四、八、四五四	
差引基本収入高	一、八、四、二、八〇九	一、九、二、六、一、九四三	八、三、三、八五二	

二、損失ノ部

種別	九年度豫想	八年度豫想	増減高	増減理由
報酬及給料	八三〇、三二五	七九七、四五二	三二、八六三	八年度内ニ於ケル昇給及同年度 中途ニ於ケル新規採用ノ關係 ニ主因ス
諸報酬	八九、一八三	八八、七二六	四、五七	
諸給料	六二七、〇二八	六〇一、三九	二五、八八九	
在勤手当	一一四、一〇四	一〇七、五八七	六、五一七	右ニ伴フ當然増加
雑給	三五〇、四八六	三四八、〇六〇	二、四二六	
退職給與費	一八五、一八六	一八〇、三三五	四、九五一	
旅費	一六三、九〇〇	一五、一〇七〇	一、二、八三〇	農業増産計画実行ニ基ク駐 在員旅費ノ増加、其他延滞整 理旅費ノ増加等ヲ見込ム
諸税	一〇、三五、七二二	一一、三〇、二七一	九四、五四九	九年度ハ七年度実績ヲ基準 トシタル關係上見積リ過少ナリ
地稅	五五六、七二七	五六七、五〇〇	一〇、七七三	

土地及建物 賃借料	諸子教科 料	雑費	作業費	運搬費	通信費	運信費	通信費	消耗品費	備品費	修繕費	其他	公費
八四一八三	一〇一五〇三	六三二七二五	五三九三〇	一七七四八一	三八〇七五	二六九四八六	一〇六三九八	六五二一四	一〇七一三四	一七二六九五	三〇七三〇〇	
八二三四四	一五四五〇一	八七三三五四	五七三九一	一八四四一四	三九三七〇	二八一七五	一一三六九八	一〇七一三四	一一三六九八	二二六五三三	三三六二三八	
一八三九	五九九九八	二四〇六二九	三四六一	六九三三	一八九五	一六八九	七三〇〇	四二〇二〇	七三〇〇	五八八三八	二八九三八	

シニ因ル
八年度ハ内債三千萬圓發行(既
發二千萬圓下期内一千萬圓)ノ
為登錄税六萬圓ノ支出アリ
九年度ハ發行計画ナキニ因ル
八年度ハ南鮮水害復舊費ヲ要
スルニ因ル
八年度ハ暖房用石炭特ニ昂
騰セシニ因ル
九年度ハ七年度実績ヲ基準
トシタル關係上見積リ過少ナ
リシニ因ル
八年度ハ内債五千五百萬圓ノ借
替ヲ計画セルヲ以テ之ク元利
仕拂子教科ヲ要スルニ因ル

農事 施設	補給 金	利 息	雑 費	米債為替損 損	雑 損	仕拂利息	社債利息	定期預金 利息	借入金利息
一一四二一三	三二二五〇	三〇一五七六	四二七六九五八	四二二三九一二	五三〇四六	二二九〇一五〇	一〇六〇六〇八	四三二八九四	一五五二九〇
一〇五七二〇	五三〇七八九	二二九二一三	六六五五六七二	六〇〇四五〇六	五二一六六	二二五七五三八	一〇八六五八二四	四二七四四一	一七五六三六
八四九三	三二二五〇	二二九二一三	二七七八七一四	一八八〇五九四	一八八〇	二八八三八八	二六五二一六	一五四五三	二〇三四六

増産計画進行ノ關係
九年三月一拵支拂ノモト為シ
タルニ因ル
八年度ハ四十回社債借替超過金
二二三二四〇圓ノ特別支出アリ
九年度ハ訴訟費等ニ於テ約四
〇〇〇圓ノ増加ヲ見込ナル為差
引上記ノ減少トナル
為替恢復ト送金額ノ減少トニ
因ル詳細別表(附三)参照
株増増加ニ基ク減損ノ増加
等
一般内債ノ低利借替ト米債買
入償還ニ依ル残高ノ減少トニ主
因又詳細別表(附四)参照
九年度ハ利率平均二厘方低下セ
ルモ預金高六十四萬圓増加セルニ因ル
米穀資金ノ借入期間短縮ノ關
係

雑利息	一〇、三三八	二九、六三七	一八、二七九
諸償却金	一〇、二八二六	九八、五五五	三二、二七一
杜内較差償却金	八四三、三八五	八〇、二九六	四一、〇八九
建物機械器具償却金	一七八、四四一	一八七、二五九	八八、一八
合計	二〇、二二八、二六六	二二七、〇六二	二四七、九四八
米債為替損	四、二二九、一	六、〇四、五〇六	一、八八〇、五九四
差引基本	一六、〇〇四、三五四	一六、六〇、七〇八	五九七、三五四
経費	二、四二三、七三七	二、六六〇、三三五	二、三六四、九八
再差引基本			
純益			

八年度ハ杜内融通金利息多額ナルニ因ル(利益、部附表貸付金利息中、杜内貸借分減二四七、〇四四ト対応スルモノナリ)

八年度下期内借借五十五萬圓及新規発行一十萬圓ニ対スル較差償却、増加ニ主因ス

九年度ハ七年度実績ヲ基準トシタル関係上見積過少ナリシニ因ル

(附二) 貸付金利息比較表

種別	平均貸付高		収入率		利息		増減高
	九年度	八年度	九年度	八年度	九年度	八年度	
一般貸付分	八二、九〇八、五〇〇	八二、七三三、三〇〇	七、三六	七、六四	六、一六六、三〇〇	六、二七四、三〇〇	一、一〇八、〇〇〇
関係會社分	一四、三五五、五〇〇	二一、三六四、八〇〇	三、二九	五、四一	四七二、二三〇	一、一四九、八五八	六、七二六、六二八
内 大興合名分	—	三、三六九、五〇〇	—	一、三一八	—	四四四、一〇〇	四四四、一〇〇
内 其他	一四、三五五、五〇〇	一七、八九五、三〇〇	三、二九	三、九四	四七二、二三〇	七、〇五七、五八	二、二七五、五二八
産米増殖分	二六、三八四、五〇〇	二二、〇八六、六〇〇	六、二二	六、二八	一、六四一、七五〇	一、三八六、三七八	二、二五四、三七二
移住民分	五、四六、三〇〇	五、五〇、六〇〇	八、六八	八、三〇	四七四、一九	四、五七、七	一、七一一
小計	一四、一九二、八〇〇	一、二六、〇八一、三〇〇	六、六六	七、〇二	八、二六七、五九九	八、八五六、三三三	五、八八、六三四
内 大興合名分	—	三、三六九、五〇〇	—	一、三一八	—	四四四、一〇〇	四四四、一〇〇
内 其他	一四、一九二、八〇〇	一、二二、七一一、八〇〇	六、六六	六、八六	八、二六七、五九九	八、四二一、三三三	一、四四、五三四
社内貸借分	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	八、三四二、三七八	八、九五五、七二六	一、六一三、三四八

(附二) 米債償還差益比較表

差引	八年度			九年度			年度別	同別
	計	五七	二五	計	五七	二五	減債基金	買入單價
	六九九、五二五	三九九、八五〇	二九九、六七五	六五九、五二一	三五九、五九五	二九九、九二六		六四、五〇佛
	五二、二八	四九、六七	五六、二二	六二、五四	六一、〇〇	六四、五〇佛		四六五、〇〇佛
	一、三三八、〇〇〇	八〇五、〇〇〇	五三三、〇〇〇	一、〇五四、五〇〇	五八九、五〇〇	四六五、〇〇佛		一六五、〇七四
	六三八、四七五	四〇五、一五〇	二三三、三二五	三九四、九七九	二二九、九〇五	一六五、〇七四	差引	三三一、一三八
四八八、四五四	一、二八〇、七八一	八一二、七三一	四六八、〇五〇	七九二、三二七	四六一、一八九	三三一、一三八	還益	

注：本表は、(貸借対照表)に基づき作成したものである。

(附三) 米債為替損比較表

差引	八年度		九年度		種別
	五七回	二五回	五七回	二五回	
	三九九八五〇	二九九六七五	三九九五九五	六五九五二	元金分送
	九六二三五五	九二四三六〇	九二七〇五三	一八二一六〇八	利息分
	一三六二八五	一、二二四、〇三五	一、二八六、六四八	二、四八一、二二九	計額
	二二、一四	二二、六五	二六、九三	二七、〇〇	為替相場換算額
	五八八七一九二	五四〇五、二七一	四七七七、〇五四	九二〇、〇五九	平價換算額
	二、七三二、五四三	二、四五五、四一五	二、五八一、〇一七	四、九七七、四七四	差引為替損
	一八八、五九四	二、九四九、八五七	二、一九六、三三七	四、三三三、九二四	

米債為替損比較表(續) 昭和十三年全額

(附四) 社債利息比較表

種別	九年度豫想	八年度豫想	増減高	増減理由
産米増殖資金	八一七、四八六	八三七、七七一	二、三八五	八年度八年度中途ニ於テ利率引下ケラレタル關係ナリ
一般政府資金	一六七八九七五	一、七〇二、七一〇	二、三、七三五	本興合名資金營業拡張資金、償還ニ主因ス
一般内債	四、四五〇、〇〇〇	四、五三三、六三四	八三、六三四	(一) 五千五百万円借入ニシテ減少 六五三、〇〇一 円
外債	三、六五四、四七	三、七九〇、七九	一、三六、五六一	(二) 臺灣銀行引渡社債償還ニ因ル減少 六一、二〇〇 円
合計	一、〇六〇、〇六八	一、〇八六、五八四	二六、五、二一六	(三) 八年二月發行ノ二千万円ニ関スル増加 一三〇、五八四 円 (四) 八年十月發行豫定一千万円分ノ増 五〇〇、〇〇〇 円 差引減少高 八三、六三四 円 買入償還ノ關係

東拓補給金要求ノ説明

一 八年度外債関係損失ノ比較

ノ米債償還益ヲ比較スルニ

- イ 九年度ハ減債基金ノ支拂高四萬弗ヲ減シタルコト
- ロ 市價ノ騰貴ニ因リ買入價格昂騰シタルコト
- ニ 依リ昭和八年度ニ於ケル買入償還益一三八。千弗ハ九年度ニ於テハ二九二千弗トナリ、差引四八千円ヲ減少ス
- 三 為替損ヲ比較スルニ
 - イ 元金ニ於テ四万弗及利息ニ於テ八三。十弗ノ支拂減額ニ付
 - ロ 送金為替相場ノ昂騰セルコト
 - ハ 昭和八年度ハ平均二。三弗九
 - ニ 九年度ハ平均二。八弗九

ニ 依リ八年度ニ於ケル為替損六一。四。千円ハ九年度ニ於テ四三。三。千円トナリ、差引一八。一。千円ヲ減少ス

三 之ヲ要スルニ

	八年度	九年度	差引増減
償還益	一三八〇 千円	七九二 千円	△ 四八八 千円
為替損	六一〇 四	四二二三	△ 一八八一
差引損失	四八二四	三四三一	△ 一三九三

トナリ外債ノ元利拂ノ為ニ生スル損失ハ九年度ニ於テ一三九三 千円ヲ輕減スルコトナル

三 補給金百万円ノ要求アル理由

東拓ハ八年度ニ於テハ為替損補填ノ為百万円ノ補給金ヲ文付セラレ、
 コト、ナリ居ル處九年度ニ於テハ外債ノ元利拂ノ為ニ生スル損失百三十九
 万円ヲ減スルコトナルヲ以テ殆ニト補給金ノ必要ナキニ至レルモ、ト
 謂フニシ然ルニ九年度ニ於テ補給金百万円ノ要求アリタル所以ハ
 業績良化シ經常的純益ノ増加ヲ見込ミ得生尚其ノ損失ヲ補填

スルコトヲ得ス 而シテ臨時益ノ檢出ハ之ヲ期待シ得ザルヲ以テ
 東拓ハ依然トシテ會社ノ存立上重大ナル危機ニ在リト謂ニ在リ
 外債關係ノ損失補填方法ヲ比較スルニ左ノ如シ

二 對シ	八年度	九年度
外債關係損失	四、八二四 千円	三、四三一 千円

基本純益	一、二一七	二、四二二
臨時益	一、四四三	。
差引損失金	二、一六三	一、〇〇八

右損失金ノ補填ハ		
為替整理繰入	七五九	。
補給金(税引)	五〇〇	一、〇〇〇
一依リ	。	。
差引	。	。

三 昭和八年度對九年度損益豫想比較

八年度豫想高ハ

總收入 二〇、五四二千円

總損失 二二、七〇六

差引純損金△ 二、一六三

ナリ所シテ總損益ヨリ外債關係

1. 外債償還益 二三八〇

2. 外債爲替損 六一〇四

ヲ控除シタル損益ハ

益 金 一九三六

損 金 一六六〇一

差引純益金 二六六一

トナル

更ニ之ヨリ臨時ノ收支ト目サレ、

九年度豫想高ハ

總收入 一九、三二〇千円

總支出 二〇、二二八

差引純損金△ 一、〇〇八

ナル處

1. 外債償還益 七九二

2. 外國爲替損 四、二二三

トナル

1. 株式賣却益 九三三

2. 國債賣却益及評價益 四一八

3. 大興合名延利 四四四

4. 内債ノ利子支払期 三五三

5. 支更ニ依ル負債ノ増 三五三

ヲ控除スルトキハ

經常利益 一七、四六六

經常損失 一六、二四九

差引基本利益 一、二一七

ヲ控除スルトキハ

經常利益 一八、四二八

經常損失 一六、〇〇四

差引基本利益 二、四二三

基本純益二二六千四百増加ノ主ナル事由

Z. 収入部ニ於テハ九六一千四百ノ增收トナル主ナル事項左ノ如シ

(イ) 貸付金利息

貸付金高増加スルモ一般貸付ノ金利低下ニ因リ差引 減 一四四千円

(ロ) 株券及債券收入

繰込金ノ増加及公社債ノキリ増増加ニ因ル 増 三〇四千円

(ハ) 地所收入

小作料ノ增收及農産物賣價ノ騰貴ニ因ル 増 九三三十四円

又 支出部ニ於テハ二四四十四円ノ減少トナル主ナル事項左ノ如シ

(イ) 報酬給料其他ノ給與及旅費

増 五三十四円

(ロ) 諸税ノ減少(主トシテ登録税)

減 九四十四円

(ハ) 修繕費(八年度水害復舊)ノ減少

減 四二十四円

(ニ) 通信運搬費ノ節約

減 一十千円

(ホ) 雑費ノ減少(主トシテ社債借替手数料及借替經過利子)

減 二四〇千円

(ウ) 社債利息ノ増

増 九一十千円

(一) 政府資金ノ利下ニ因ル

減 四五千円

(二) 一般内債ハ低利借替ニ因ル減ト八年中一新規發行ニ

因ル増トシテ差引 減 八三十四千円

(三) 一般内債中八年以上期ニ於テ臨時換トシタルモノ、査定

増 三五三十四千円

(四) 外債買入償還ノ進行ニ伴フ

減 一三三十四千円

(ト) 社債敬差銷却金ノ増

増 四一十千円

東洋拓殖株式會社

損益比較表

種別	八年上期	七年上期	差引増減高
利益金	一、六六九七〇〇	九一九九九〇〇	二、四六九八〇〇
内米価引当金	七九一、〇〇〇	三七九六〇〇	四一七、〇〇〇
福利給金	七四六、六〇〇		七四六、六〇〇
差引	一〇、一三二、一〇〇	八、八二〇、三〇〇	一、三一、八〇〇
利益金	一、六六九七〇〇	八、九九〇、八〇〇	二、六七八、〇〇〇
内米価引当金	三、四一、七〇〇	一、一二八、二〇〇	二、二八三、五〇〇
差引	八、二五八、〇〇〇	七、八六二、六〇〇	三九五、四〇〇
利益引当金	一、八七四、一〇〇	九、五七七、〇〇〇	九一六、四〇〇
種別加収入	一、八〇二、六〇〇	一、五七六、〇〇〇	一、六四五〇〇〇

備考
 百圓未満四捨五入ノ關係上日圓額ニ於テ内評ノ台則ニ符合セザルモ
 ノアリ

内 出ラ 特 加 入 及 特 別 支 引	内			内 株 券 差 益	内 株 券 差 益
	内 債 債 利 息	貸 付 金 具 他 特 別 支 出	内 債 債 利 息		
四二六七〇〇	三五二七〇〇	二六〇〇	三五五三〇〇	四四四一〇〇	九三三六〇〇
一〇五〇〇〇〇	二五〇〇〇〇	二五〇〇〇〇	二五〇〇〇〇	一	一
六二二三〇〇	三五二七〇〇	二四七四〇〇	一〇五三〇〇	四四四一〇〇	九三三六〇〇

東洋拓殖株式会社

内 出ラ 特 加 入 及 特 別 支 引	内 債 債 利 息	貸 付 金 具 他 特 別 支 出	内 債 債 利 息	内 株 券 差 益	内 株 券 差 益
...
...
...

内	西					再差引基本純益高
	米價為替損	貸付益其他	特別債却益	社債純利息	特別経費計	
再差引基本純益高	11,222,500	1,112,100	1,047,000	1,278,100	1,278,100	11,222,500
差引基本純益高	11,222,500	1,112,100	1,047,000	1,278,100	1,278,100	11,222,500
再差引基本純益高	11,222,500	1,112,100	1,047,000	1,278,100	1,278,100	11,222,500

基本差引出題表 (単位)

東洋拓殖株式会社
15.5.15

内	西					再差引基本純益高
	米價為替損	貸付益其他	特別債却益	社債純利息	特別経費計	
再差引基本純益高	11,222,500	1,112,100	1,047,000	1,278,100	1,278,100	11,222,500
差引基本純益高	11,222,500	1,112,100	1,047,000	1,278,100	1,278,100	11,222,500
再差引基本純益高	11,222,500	1,112,100	1,047,000	1,278,100	1,278,100	11,222,500

備考 百圓未満四捨五入ノ關係上百圓整ニ於テ内譯ノ合計ト符合セサルモノアリ (以下同前)

増加内譯別表参照

増多 日圓米商出資五人ノ出資止日圓米ニ爲テ引續ノ合借イ済合
 増多 日圓米商出資五人ノ出資止日圓米ニ爲テ引續ノ合借イ済合

貸付金利息	株券及株券收入	株券收入	仙券收入	特種事業收入
1,126,200	986,200	775,900	225,300	17,100
1,126,200	986,200	775,900	225,300	17,100
1,126,200	986,200	775,900	225,300	17,100
1,126,200	986,200	775,900	225,300	17,100

基本收入内詳比較表

貸付金利息	株券及株券收入	株券收入	仙券收入	特種事業收入
1,126,200	986,200	775,900	225,300	17,100
1,126,200	986,200	775,900	225,300	17,100
1,126,200	986,200	775,900	225,300	17,100
1,126,200	986,200	775,900	225,300	17,100

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

受此事業収入	22,000	22,000	22,000	主トシテ利率低下ノ關係
預ケ金利息	1,000	1,000	1,000	
地所 收入	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
小作料及賃賃	7,600	7,600	100	
原料	19,800	27,400	2,100	
原 産 物 左 益	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
代 産 物 左 益	1,000	1,000	1,000	
加 別 差 益	11,000	12,000	1,000	

東洋拓殖株式会社

受此事業収入	22,000	22,000	22,000	主トシテ利率低下ノ關係
預ケ金利息	1,000	1,000	1,000	
地所 收入	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
小作料及賃賃	7,600	7,600	100	
原料	19,800	27,400	2,100	
原 産 物 左 益	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
代 産 物 左 益	1,000	1,000	1,000	
加 別 差 益	11,000	12,000	1,000	

(イ) 採量高七上一三、九八三、〇〇〇
 斤八上一六、七〇〇、〇〇〇斤此
 ノ増収二四、二〇〇、〇〇〇
 (ロ) 市價昂騰ニ因ル賣却益及持越
 許債益ノ増加四〇、〇〇〇、〇〇〇圓
 詳細列表参照
 代致数量一級換算一七上三、三四
 二石八上六一一石差引派二、七二
 一石ニ主因ス
 (ハ) 採分面積増加ノ為即賣益七三、
 〇〇〇圓増加
 (ニ) 年賦課税差益等ノ減少三七、
 〇〇〇圓

東洋拓殖株式会社

山崎 源人	山崎 源人	山崎 源人	山崎 源人	山崎 源人
12,400	13,200	14,100	15,000	16,000
14,500	15,400	16,300	17,200	18,100
16,000	17,000	18,000	19,000	20,000
18,000	19,000	20,000	21,000	22,000

東洋拓殖株式會社

保留債權回収	肥料差益	雑収入	合計
2,700	11,200	12,400	26,300
10,400	8,200	12,400	31,000
11,400	11,100	12,400	34,900
11,400	11,100	12,400	34,900

東洋拓殖株式會社

東洋拓殖株式會社

東洋拓殖株式會社

合計	42,240,000	42,240,000	0	
職員人	17,450,000	15,420,000	2,030,000	職員人件費の増
旅費	4,280,000	2,420,000	1,860,000	出張費の増
諸税	2,400,000	10,400,000	(8,000,000)	大正八年度入替り及び大正七年度繰上り金に因る
その他	18,110,000	14,000,000	4,110,000	大正八年度入替り及び大正七年度繰上り金に因る

東洋拓殖株式会社

基本経費内訳比較表

科目	八年度上期	七年度上期	増減	理由
人件費	17,450,000	15,420,000	2,030,000	八月十五日詳細説明済
報謝料	1,240,000	1,240,000	0	
給料	11,220,000	11,240,000	(20,000)	
在勤手當	2,000,000	2,240,000	(240,000)	
雑給	1,970,000	1,240,000	730,000	
退職給與費	8,210,000	8,240,000	(30,000)	
旅費	4,280,000	2,420,000	1,860,000	節約ニ主因ス
諸税	2,400,000	10,400,000	(8,000,000)	營業所得ノ減少ニ因ル

東洋拓殖株式会社

貸入金利息	社債利息	仕掛利息	地租其他	水利組合費	社債登録費
九三、八〇〇	五、八八、八〇〇	五、八八、八〇〇	五、八八、八〇〇	一〇、八、四〇〇	五、二、二〇〇
二九、八二〇	五、一七、三〇〇	五、一七、三〇〇	五、一七、三〇〇	一五、七、一〇〇	一、七、七〇〇
二〇、四三〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二、五、一〇〇	二、八、二〇〇
八、八〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇
八、八〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇
八、八〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇
八、八〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇
八、八〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇
八、八〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇	一、七、三〇〇

基本簿目内訳其外別表

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

社債登録費	水利組合費	地租其他	仕掛利息	社債利息	借入金利息
五、二、二〇〇	一〇、八、四〇〇	五、八八、八〇〇	五、八八、八〇〇	五、八八、八〇〇	九三、八〇〇
一、七、七〇〇	一五、七、一〇〇	五、一七、三〇〇	五、一七、三〇〇	五、一七、三〇〇	二九、八二〇
二、八、二〇〇	二、五、一〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二〇、四三〇〇
二、八、二〇〇	二、五、一〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二〇、四三〇〇
二、八、二〇〇	二、五、一〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二〇、四三〇〇
二、八、二〇〇	二、五、一〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二〇、四三〇〇
二、八、二〇〇	二、五、一〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二〇、四三〇〇
二、八、二〇〇	二、五、一〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二〇、四三〇〇
二、八、二〇〇	二、五、一〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二、一、二〇〇	二〇、四三〇〇

八上ハ七上ニ比シ社債發行高約
 一千五百萬圓増加シニ因ル
 一、七、三〇〇
 三〇、〇〇〇
 三〇、〇〇〇
 六四、〇〇〇
 九四、〇〇〇
 計

預金部利息ハ利下ト太興合名
 資金融替ノ關係ニ主因シニ六
 六〇〇圓減
 米價利息買入供還ノ爲七四八
 〇〇圓減
 一般内債ハ七下一千萬圓發行
 ノ關係ニ主因シ三一四七〇〇
 差引増加 二一三、三〇〇圓
 八上ハ内債發行ノ爲資金潤滑借
 入高平均約四百萬圓減少セシニ
 因ル

定期預り金 利息其他	修繕費	備品及消耗品費	運賃費	作務費	仕掛手数料	基車補助費	保料	賃借料
19111000	11100	111000	111000	111000	111000	111000	111000	111000
11110000	111000	111000	111000	111000	111000	111000	111000	111000
11110000	111000	111000	111000	111000	111000	111000	111000	111000
主トシテ社内融通金受高利息ノ 増加ニ因ル	300	主トシテ煖房用石炭價額ノ騰貴 ニ依ル	玄米及穀ノ区分数量増加及運賃 昂騰ノ關係ニ主因ス	主トシテ採掘品ノ増加並ニ銀價 昂騰ニ因ル	主トシテ社債借替ニ依ル元金仕 掛手数料ノ増加	増産計畫進行ノ關係ニ主因ス		

東洋拓殖株式会社

10110000	111000	111000	111000	111000	111000	111000	111000	111000
11110000	111000	111000	111000	111000	111000	111000	111000	111000
11110000	111000	111000	111000	111000	111000	111000	111000	111000
主トシテ社内融通金受高利息ノ 増加ニ因ル	300	主トシテ煖房用石炭價額ノ騰貴 ニ依ル	玄米及穀ノ区分数量増加及運賃 昂騰ノ關係ニ主因ス	主トシテ採掘品ノ増加並ニ銀價 昂騰ニ因ル	主トシテ社債借替ニ依ル元金仕 掛手数料ノ増加	増産計畫進行ノ關係ニ主因ス		

東洋拓殖株式会社

資本金	準備金	当座預金	現金	債権	貸付	固定資産	負債	純資産
1,440,000	4,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000
1,440,000	4,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000
1,440,000	4,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000

東洋拓殖株式会社

東洋拓殖株式会社

社債	建設	設備	器具	合計
1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000
1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000
1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000

七下及八上内債發行三千萬圓ニ
主因スル較差債却金増八、九〇
〇圓
外債較差債却法改訂ニ依ル増四
四一〇〇圓

備考 八年上期ニ於テ雜費（項）ニ計上シタル四十回社債借替超過
金二三三、二〇〇圓ハ比較ノ便宜上「社債利息」ニ組替ヘタリ

極秘

東 拓 整 理 案

(昭和八、八、四)

第一 米貨社債發行残高三、〇〇〇、〇〇〇弗(此ノ帳簿價值大四、一九三、〇

〇〇圓)ハ之ヲ政府ニ肩替ニスルコト

備考 右残高三、〇〇〇、〇〇〇弗ノ對出基礎ハ八年六月末米貨社債

残高三、五六七、五〇〇弗ヨリ同年下期甲ノ修正高五、二八〇〇

〇〇弗(減價基金二五回分一五〇、〇〇〇弗五七回分二〇〇、〇

〇〇弗即三五〇、〇〇〇弗ヲ以テ二五回分六八弗、五七回分六

五弗ニテ買入ルルモノトス。及臨時買入修正高三、九五〇〇弗

ヲ控除セル残高ナリ

第二 第一ノ肩替價值ハ八五〇〇、〇〇〇圓トシ内ニ二、〇〇〇、〇〇〇圓ニ

對シテハ株式四十四萬株(一株五十圓拂込済)ヲ政府ニ於テ引受ケ

品名	数量	單位	金額	備考
大豆	14,200	石	1,420,000	
日本	1,000	石	100,000	
米	10,000	石	1,000,000	
...

第三 第一ノ所得増進ハ八五〇〇〇〇〇〇〇〇圓ノ内ニ二二〇〇〇〇〇〇〇〇圓ニ
テ計測シムル數高ナリ

正取ニテ買入ルルモノノ一ノ數額及人壽壽高五五〇〇〇圓

〇〇圓三三〇〇〇〇圓ト以テ二五圓分六八圓、正十圓分六

〇〇圓(總計基金ニ五圓分一五〇〇〇〇圓正十圓分二〇〇〇

圓高三五五五五〇〇圓ト以テ同率ノ際甲ノ壽壽高五二八〇〇

圓ト以テ同率ノ際乙ノ壽壽高五二八〇〇

〇〇圓ハ、之ヲ壽壽高ニ換算スルモノトナリ

第一 米穀増産費件數表(一)〇〇〇〇〇〇〇〇圓(一)〇〇〇〇〇〇〇〇圓

米穀増産費件數表(一)〇〇〇〇〇〇〇〇圓(一)〇〇〇〇〇〇〇〇圓

第一 米穀増産費件數表(一)〇〇〇〇〇〇〇〇圓(一)〇〇〇〇〇〇〇〇圓



總額六三〇〇〇〇〇〇〇圓ハ政府ノ貸付金トスルコト

備考 右肩替價格八五〇〇〇〇〇〇圓ノ算出基礎ハ米貨附債現在市

價二五圓分六八弗、五七圓分六五弗ナルモ定時買入償還ニ件

フ騰貴等ヲ見込ミ附替平均七十七弗トシ之ヲ爲替相場二十九

弗ニテ換算シタル金額ヲ基準トス

第三 現在ノ資本金五〇〇〇〇〇〇〇圓(内拂込三五〇〇〇〇〇〇圓)ハ

之ヲ二分ノ一ニ渡資シニ五〇〇〇〇〇〇〇圓(内拂込一七五〇〇〇〇〇

〇圓)トスルコト

第四 政府引受株式ニ對シテハ一般株主ト同率ノ配當ヲ爲スコト

備考 配當豫想ハ九年度豫算豫想ヲ基準トセハ別表ノ通り三分四厘

三毛額ノ見込ナリ

總計八五〇〇〇〇〇〇圓

（昭和九年年度）
 整理後ノ東拓損益豫想
 一、九二〇、六〇〇圓
 別表損益豫想表
 （九年度）参照

(1) 基本純益金

同利益増加ニ依ル所得税ノ増加約

同差引肩替後ノ豫想純益金

右處分内譯

積立金等

同配當金

株式配當金

内政府分

肩替分

計

内政府納付金

同合計

一、七九〇、六〇〇圓
 一、六七八〇〇圓
 八〇四八〇〇圓
 七五三、四〇〇圓
 二七〇、〇〇〇圓
 一、三五二、八〇〇圓
 五、四〇〇圓

拂込金三九五〇〇圓
 厘三毛弱
 拂込金六五〇〇圓
 厘三毛弱
 拂込金二二〇〇圓
 厘三毛弱

二 國民交還金 一六五五六〇〇圓
 三 支出金 六二六五五〇〇圓
 四 計金 一六五五六〇〇圓
 五 貸付金 八〇四八〇〇圓
 六 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 七 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 八 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 九 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 一〇 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 一一 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 一二 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 一三 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 一四 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 一五 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 一六 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 一七 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 一八 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 一九 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 二〇 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 二一 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 二二 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 二三 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 二四 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 二五 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 二六 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 二七 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 二八 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 二九 貸付金 三〇〇〇〇〇圓
 三〇 貸付金 三〇〇〇〇〇圓

損益算想表 (九年度)

種別	金額		種別	金額	
	金額	部額		金額	部額
貸付金利息	八三三三三七八	報酬及給料	八三〇三一三		
株券及債券收入	二二三一九六七	諸報	八九一八三		
利息收入	一六六八七〇七	諸給	六二七〇二八		
利息收入	五六三二六〇	在勤手当	一〇一〇〇		
預金利息	一四八五九一	給	五〇四八六		
地所收入	八四三六八	退職給與費	一八五一八六		
物納小存	一八五八六二	費	一六三九〇〇		
物納小存	三三〇三六	税	一〇三三六二		
物納小存	八八三六	税	五五七二七		

地所賃貸料	一二一、〇二〇	公費	三〇七、三〇〇
原鹽收入	二六六、三〇〇	其他	一七二、六九五
農產物差益	三、二四四、二四九	修繕費	六五、一一四
地所差益	一六、一、九〇〇	備品及消耗品費	一〇六、三九八
山林收入	五四、一七六	通信及運搬費	二六、九四八
建物收入	二七、七〇一	通信費	三八、〇七五
地所建物讓渡收入	九六、六二一	運搬費	一七、七四八
物品貸付收入	八九、三四九	作業費	五三、九三〇
受託土地改良事業收入	一〇、九〇九	雜費	六三、三七二
雜收入	一、三五八、〇二一	諸手費料	一〇、一三〇
諸手費料	三、〇〇六	土地及建物賃借料	八四、一八三

昭和十一年度決算書 (其平表)

地所賃貸料	一二一、〇二〇	公費	三〇七、三〇〇
原鹽收入	二六六、三〇〇	其他	一七二、六九五
農產物差益	三、二四四、二四九	修繕費	六五、一一四
地所差益	一六、一、九〇〇	備品及消耗品費	一〇六、三九八
山林收入	五四、一七六	通信及運搬費	二六、九四八
建物收入	二七、七〇一	通信費	三八、〇七五
地所建物讓渡收入	九六、六二一	運搬費	一七、七四八
物品貸付收入	八九、三四九	作業費	五三、九三〇
受託土地改良事業收入	一〇、九〇九	雜費	六三、三七二
雜收入	一、三五八、〇二一	諸手費料	一〇、一三〇
諸手費料	三、〇〇六	土地及建物賃借料	八四、一八三

		差引基本収入高	米 債 價 額 益	合 計					
		一八、一二七、五五一	七、一九五、一三	一八、八二二、六四					
	(再差引基本純益高)	差引基本経費高	米 債 爲 替 損	合 計	特 別 償 却 金	建 物 及 機 械 器 具 償 却 金	社 債 償 却 金	諸 債 償 却 金	雜 利 息
	一、九二〇、六一二	一六、二〇六、九三九	三、六四四、一一九	一、九八五、〇五八	二〇〇、〇〇〇	一、七八、四四一	九、四三、三八五	六、二二、一八二	一〇、一、三五八

役員俸給金	二六、五六一	役員退任金	二、一六、六三三	役員退職金	一、一、四二一
役員退職金	二、一六、六三三	役員退職金	一、一、四二一	役員退職金	一、一、四二一
役員退職金	一、一、四二一	役員退職金	一、一、四二一	役員退職金	一、一、四二一
役員退職金	一、一、四二一	役員退職金	一、一、四二一	役員退職金	一、一、四二一
役員退職金	一、一、四二一	役員退職金	一、一、四二一	役員退職金	一、一、四二一

善民基本雑入高	一八二二六三三	善民基本雑費高	一六二〇六三三
米附貯蓄高	一六二二六三三	米附貯蓄高	三六四四一一
合 計	一八八四九〇六	合 計	一八八四九〇六
特別貯蓄金	二〇〇〇〇〇	特別貯蓄金	二〇〇〇〇〇
臨時貯蓄金	一〇〇〇〇〇	臨時貯蓄金	一〇〇〇〇〇
振替貯蓄金	八〇〇〇〇〇	振替貯蓄金	八〇〇〇〇〇
雑 貯 蓄 金	一〇〇〇〇〇	雑 貯 蓄 金	一〇〇〇〇〇

東拓借入金ノ償還方法

- (1) 昭和九年度ヨリ全二十七年度迄毎年三、一三七九〇〇圓（減価基金納額六十二萬九千二百九十九圓）償還（償還高連同利息〇、六二〇、一〇〇圓）
- (2) 昭和二十八年度二、五七九、九〇〇圓償還
- (3) 償還高累計三、〇〇〇、〇〇〇圓

(1) 東洋畜産 六三〇〇〇〇〇〇圓
 (2) 東洋畜産 二八八二〇〇〇圓
 (3) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (4) 東洋畜産 二八八二〇〇〇圓
 (5) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (6) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (7) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (8) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (9) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (10) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (11) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (12) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (13) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (14) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (15) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (16) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (17) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (18) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (19) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (20) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (21) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (22) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (23) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (24) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (25) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (26) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (27) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (28) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (29) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (30) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (31) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (32) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (33) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (34) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (35) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (36) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (37) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (38) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (39) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (40) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (41) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (42) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (43) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (44) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (45) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (46) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (47) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (48) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (49) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (50) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (51) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (52) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (53) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (54) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (55) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (56) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (57) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (58) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (59) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (60) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (61) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (62) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (63) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (64) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (65) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (66) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (67) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (68) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (69) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (70) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (71) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (72) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (73) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (74) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (75) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (76) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (77) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (78) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (79) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (80) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (81) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (82) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (83) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (84) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (85) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (86) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (87) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (88) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (89) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (90) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (91) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (92) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (93) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (94) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (95) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (96) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (97) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (98) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (99) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓
 (100) 東洋畜産 一〇〇〇〇〇圓

償却ヲ要スヘキ不良資産内譯表

種別	償却所要額	備考
一般貸付金	一、八六六、九〇〇	現在資産償額七三、八七八、〇〇〇圓
關係會社貸付金	一、八四八、五〇〇	一八、五一四、六〇〇円
滿洲毛織	七七〇、六〇〇	滿利息分一五三、三三〇〇圓ノ六分複利 十二ヶ年現償額ニ依ル
北滿電氣	七七九、七〇〇	現在資産償額二、三三九、〇〇〇圓
東印度起業	一〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇圓
東洋畜産	二八八、二〇〇	八六四、六〇〇圓
株券	六〇一、一〇〇	株數三四、九〇〇株現在資産償額一株三 一圓二〇錢(拂込五〇圓)ヲ切下ケ一 四圓トス
東洋畜産	六〇一、一〇〇	

債	株	債	株
滿蒙毛織	一、三二六、三〇〇	現在資産價額一、〇〇〇、〇〇〇圓ノ六分 複利十二年現價額ニ依ル	
東洋畜産	一、二三三、三〇〇	現在資産價額三七〇、〇〇〇圓	
東省官業	七〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇圓	
特種事業	四二九、八四〇		
裕華公司	二九五、九〇〇	現在資産價額八八七、七〇〇圓	
新農公司	三五七、七〇〇	金額償却	
ボルネオ農園	六六六、八〇〇	現在資産價額九九二、七〇〇圓	
中東海林公司	九四九、二〇〇	二八四、七六〇〇圓	
裕大紡織	二〇三、九八〇〇	三〇〇、〇〇〇圓	
雜	五五八、九〇〇		

附註マ受スヘキ不良資産内購表

債	株	債	株
滿蒙毛織	一、三二六、三〇〇	現在資産價額一、〇〇〇、〇〇〇圓ノ六分 複利十二年現價額ニ依ル	
東洋畜産	一、二三三、三〇〇	現在資産價額三七〇、〇〇〇圓	
東省官業	七〇〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇圓	
特種事業	四二九、八四〇		
裕華公司	二九五、九〇〇	現在資産價額八八七、七〇〇圓	
新農公司	三五七、七〇〇	金額償却	
ボルネオ農園	六六六、八〇〇	現在資産價額九九二、七〇〇圓	
中東海林公司	九四九、二〇〇	二八四、七六〇〇圓	
裕大紡織	二〇三、九八〇〇	三〇〇、〇〇〇圓	
雜	五五八、九〇〇		

田	14,000	14,000	4,000	18,000	18,000	4,000
畑	10,000	14,000	11,000	25,000	25,000	11,000
雑	4,000	4,000	4,000	8,000	8,000	4,000
合計	28,000	32,000	19,000	51,000	51,000	23,000

農耕地評價益内譯表

種別	所有面積	現在資産價額		評價額		差引評價益	
		反當	總額	反當	總額	反當	總額
田(田)	3,907	5,850	21,795,000	7,500	21,270,000	1,215	2,525,000
畑(畑)	10,000	14,000	45,980,000	10,000	40,010,000	4,010	1,970,000
合計			67,775,000		61,280,000		6,495,000

八年七月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	八年一月	十二月	十一月	十月
六八〇〇	六八一九	七一三四	五八三八	四八九三	四三九七	四〇九五	四四六九	四四五六	四九七四	五二一〇
六五八分ノ一	六四九〇	六三〇八	五二五九	四二三七	三九六四	三七四九	四〇六〇	四〇五七	四五〇六	四六一四
七八〇〇	七六〇三	六九五〇	五九三三	五〇八三	四四六四	四三〇六	四八五三	四九一〇	四九一五	五一九一

日	十一日	十日	九日	八日	七日	六日	五日	四日	三日	二日	十一日
夏前	六六二九	六八三一	五八六四	五三六三	五二八八	四九四三	四八八八	四七四三	四六八八	四六三三	五〇一三
夏中	六三六五	五四六三	五三三〇	五〇一三	四八一一	四七八八	四六八八	四六一四	四六〇八	四五六六	四四六六
夏後	六二一〇	六三一一	六〇四三	五八二四	五七七八	五六八八	五六一四	五〇八〇	五〇〇六	四九三三	三五三三

米 冊 帳 簿 帳 簿

廿六日	廿七日	廿八日	卅一日
六八、四分ノ三	六九、二分ノ一	六九、八分ノ七	六八、〇〇
六五、八分ノ一	六五、四分ノ一	一	六五、〇〇
七六、二分ノ一	七六、〇〇	七五、〇〇	七四、〇〇

廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日
六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇
六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇
六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇	六八、〇〇

市價二五回分六八弗、五七回分六五弗ナルモ定時買入償還
 ニ伴フ騰貴等ヲ見込ミ兩者平均七十七弗トシ之ヲ爲替相場
 二十九弗ニテ換算シタル金額ヲ基準トス
 現在ノ資本金五〇〇〇〇〇圓（内拂込三五〇〇〇〇圓）
 ハ之ヲ二分ノ一ニ減資シ二五〇〇〇〇〇圓（内拂込一七五〇〇
 〇〇〇圓）トスルコト
 政府引受株式ニ對シテハ一般株主ト同率ノ配當ヲ爲スコト
 備考 配當豫想ハ九年度損益豫想ヲ基準トセハ別表ノ通り三分四
 厘三毛弱ノ見込ナリ
 政府貸付金ノ償還方法ハ大体肩替米貨社債ノ償還方法ニ依ルモノ
 トシ（別表参照）其ノ利息ニ付テハ肩替米貨社債ノ平價換算ニ依
 ル利息相當額（昭和九年度ニ於テハ米貨社債利息一八二二九〇〇
 弗ノ平價換算額三、六五、六七〇〇圓）ヲ仕拂フコト
 肩替米貨社債ノ元金償還ノ場合ニ於テ爲替相場及債券市價ノ變動

第六
 第五
 第四
 第三
 第二
 第一

(昭八一〇、九)

第一、外債ノ肩替リ方法
(一) 拓務省ノ東拓整理案綱領

- 一、政府ハ昭和八年末ニ於ケル東拓ノ外債發行殘高三、〇〇〇、〇〇〇弗(此ノ帳簿價額六四一九二、〇〇〇圓)ヲ八五〇〇、〇〇〇圓ニテ肩替リスルコト
- 右肩替價額ハ額面百弗ニ付平均七十七弗トシ爲替相場二十九弗ニテ換算スルモノトス
- 二、政府ハ肩替價額八五〇〇、〇〇〇圓ニ對シ
(1) 二、〇〇〇、〇〇〇圓ヲ以テ株式四十四萬株(一株五十圓拂込済)ヲ引受ケ
- (2) 六、〇〇〇、〇〇〇圓ヲ以テ貸付金トスルコト
- 三、政府引受株式ニ對シテハ一般株主ト同率ノ配當ヲ爲スコト
- 四、政府貸付金ニ付テハ
(1) 其ノ償還方法ハ大體肩替米貨社債ノ償還方法ニ依ルコト

一、東拓ハ外債肩替リニ因リテ生ズル損失
 二〇、八〇、八〇〇〇〇圓
 (即チ肩替額八五〇〇〇〇〇〇圓ト帳簿價額六四一九二〇〇〇
 圓トノ差額)

(一八二〇)

第二、東拓ノ整理方法

一、東拓ハ外債肩替リニ因リテ生ズル損失

二〇、八〇、八〇〇〇〇圓

(即チ肩替額八五〇〇〇〇〇〇圓ト帳簿價額六四一九二〇〇〇
 圓トノ差額)

(四) 利息ハ肩替米貨社債ノ平價換算ニ依ル利息相當額トスルコト

五、肩替外債ノ利拂ニ因リ生ジタル政府ノ爲替差損金額ハ東拓ヨリ政
 府ニ納付スルコト

六、肩替外債ノ元金償還ニ當リ爲替相場及債券市價ノ變動ニ因リ生ジ
 タル政府ノ損益ハ其ノ都度前項ノ納付金ト通算スルコト

七、東拓ハ株主ニ配當シ得ヘキ利益金ガ其ノ拂込資本金ノ年三分ノ割
 合ヲ超過シタル場合ニ於テ左ノ割合ニ依リ納付金ヲ納入スルコト

(1) 年六分ノ割合ニ達スル迄ハ年三分ノ割合ヲ超過スル額ノ二分ノ
 一

(2) 年六分ヲ超過スル金額ニ付テハ其ノ三分ノ二

及同社ノ不良資産

ハ左ノ財源ヲ以テ之ヲ銷却補填スルコト

計

一〇、四〇〇、〇〇〇圓

(1) 現在ノ資本金五〇〇、〇〇〇、〇〇〇圓（内拂込三五〇、〇〇〇、〇〇〇圓

ヲ半額減資スルコトニ因リ減資差益 一七五〇、〇〇〇圓

(2) 積立金ノ取崩 一、八九九五〇〇圓

(3) 有價證券評價益 二、九五〇、〇〇〇圓

(4) 農耕地評價益 八、八七七七〇〇圓

計 三一、二二七二〇〇圓

三、新資本金ハ左ノ通りトナル

(1) 半額減資ニ因リ 二五〇〇、〇〇〇圓（内拂込一七五〇、〇〇〇圓）

(2) 外債肩替リニ基ク政 二、〇〇〇、〇〇〇圓（株式數五十萬株）
府持株ノ増加ニ依リ 株式數四十四萬株（全額拂込）

計 四四、〇〇〇、〇〇〇圓（内拂込三九五〇、〇〇〇圓）
（總株式數九十四萬株）

（Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page)

三、政府持株數ハ左ノ通りトナル

(イ) 現在大〇、〇〇〇株ナル
 三〇、〇〇〇株(内拂込一、五〇〇、〇〇〇圓)
 處減資ニ依リ

(ロ) 外債肩替ニ基ク増加分四四〇、〇〇〇株拂込二二、〇〇〇、〇〇〇圓

計 四七〇、〇〇〇株(拂込二三、五〇〇、〇〇〇圓)

右政府ノ持株數ハ總株數ノ五割ヲ占メ又政府持株拂込金ノ總拂込金ニ對スル割合ハ五割九分五厘トナル

三、政府持株數ハ左ノ通りトナル

(イ) 現在大〇、〇〇〇株ナル
 三〇、〇〇〇株(内拂込一、五〇〇、〇〇〇圓)
 處減資ニ依リ

(ロ) 外債肩替ニ基ク増加分四四〇、〇〇〇株拂込二二、〇〇〇、〇〇〇圓

計 四七〇、〇〇〇株(拂込二三、五〇〇、〇〇〇圓)

右政府ノ持株數ハ總株數ノ五割ヲ占メ又政府持株拂込金ノ總拂込金ニ對スル割合ハ五割九分五厘トナル

年	入		出		差引過不足
	別配資金収入貸付金利息	別配資金収入貸付金利息	元金償還	元金償還	
昭和	九八〇四三六五六	一六七四六二九六	二二八七	△一、六五八	
一〇八一	一三、五三二	一七九四五二	三六	△一、二八	
一一八一	一三、四〇八	一九〇四四一	七五	△一、九六九	
一二八二	二五、二八四	二〇二四三	一	△一、四九七	
一三八三	二二、一六〇	二一四四二	〇六	△一、四四四	
一四八三	三〇、三六二	二二五四一	〇一	△一、三九〇	
一五八四	六二、九一二	二二三七	三九	△一、三三七	

第一、政府ノ年次別收支概算

(二) 振務省案ヲ實行シタル場合ノ豫想

(單位千圓)

（Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page, containing financial figures and descriptions.)

大 蔵 省

昭 和 小 川 誠

一六八五二	二七七八八	二四八三	八八九五	一七三
一七八五九	二六六三	二六〇三	七八三	五〇一
一八八六六	二五三九	二七一三	六六八	四八五
一九八七三	二四一五	二八三三	五七二	四六九五
二〇八八〇	二二九一	二九四三	四六六	四三六
二一八八七	二一六七	三〇六三	三六一	四三七七
二二八九四	二〇四三	三一八三	二五五	四二一八
二三九〇一	一九一九	三三三〇	三一五〇	四〇五八
二四九〇七	一七九五	三四一三	三〇四	三八九九
二五九一四	一六七一	三五二二	二九三八	三七四〇
二六九二一	一五五七	三六四二	二八三二	三五八一

一五	一七	三	△	二	八
一四	一五	〇	一	四	三
一四	一六	九	五	△	一
一四	一七	八	五	△	一
一四	一八	五	三	△	一
一四	一九	三	七	△	一
一四	二〇	二	一	△	一
一四	二一	〇	五	△	一
一四	二二	〇	五	△	一
一三	二三	八	九	△	一
一三	二四	七	四	△	一
一三	二五	八	一	△	一

大 藏 省

[Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

備考

一、収入高ハ東邦基本収入ヲ九年度一、九二〇、六〇〇圓トシ十年度以
降ハ右収入ニ政府借入金ノ返済ニ伴フ利権一分三厘（政府借入金

二七九二八	四二二	三七五	七二七	三、四二二	一三、四二二	△六九五
二八九六九	六四九	四四七	〇六六	二、四七五	八、一二三	△六〇五六
二九一〇〇七	五〇七	五〇七	五〇七	一、五八八	一、五八八	△七三
三〇一〇〇七	五〇七	五〇七	五〇七	一、五〇七	一、五〇七	△七
三一、〇〇七	五〇七	五〇七	五〇七	一、四二六	一、四二六	△八八
三二、〇〇七	五〇七	五〇七	五〇七	一、三四五	一、三四五	△一六九
三三、一〇〇七	五〇七	五〇七	五〇七	一、二六四	一、二六四	△四四〇七
合計三、四七一	四八、九〇五	八、一四九	七九、五二六	一、〇一、八五一	一、三〇、五二二	△三三、六三〇

一、	二、	三、	四、	五、	六、	七、	八、	九、	十、	十一、	十二、	十三、	十四、	十五、	十六、	十七、	十八、	十九、	二十、
...

大蔵省

金五分八厘ヲ内債四分五厘ニ償付フルモノトスニ相當スル
 入ヲ加算シ之ヲ基準トシテ算出セルモノナリ

三、支出高ハ肩替米債ヲ償還期直前迄ハ毎年定額ノ減償基金（二五
 四分三十萬兩五七四分三十二萬兩計六十二萬兩）ニ依リ二五
 分七十九兩、五七四分七十五兩ヲ以テ買入償還シ償還期ニ於テ
 ハ兩側共各殘高全部ヲ券面額（即チ百兩）ヲ以テ償還スルモノ
 トシ之ニ依ル毎年度ノ發行残高ニ對スル所要利息高及元金償還
 損失（肩替債額ト償還所要邦貨高トノ差損）ヲ算出セルモノナ
 リ

三、千圓單位切捨ノ關係上内譯ノ合計ニ符合セサルモノアリ

第二、初年度（昭和九年度）ニ於ケル東拓損益取組

一、基本純益金 一、九二〇、六〇〇圓

内 詳

(イ) 收入 一八、一二七、五五一圓（米債償還益七一、九五、一三圓ヲ除ク）
 (ロ) 支出 一六、二〇六、九三九圓（米債爲替損三、六四四、一一九圓ヲ除ク）
 差 引 一、九二〇、六〇〇圓

二、所得税ノ増加 約 一三〇、〇〇〇圓

三、差引消替後ノ繰越純益金 一、七九〇、六〇〇圓

四、右益金度分ノ内詳

(イ) 積立金等 二七〇、〇〇〇圓

(ロ) 配當金（年三分四厘三毛弱）一、三五二、八〇〇圓（内政府分八〇四、八〇〇圓）

(ハ) 政府補助金 一六七、八〇〇圓

大 蔵 省

(註. 5. 小冊納)

第三、初年度ニ於ケル政府收支豫想

一、收入 四六二九三〇〇圓

内

貸付金利息 三、六五六七〇〇圓 (肩替外債ノ利息、八二二、九〇〇圓ノ平價換算額)

株式配當金 八〇四八〇〇圓

納付金 一六七八〇〇圓

二、支出 六二八七八〇〇圓 (外債利息ヲ二十九弗算ニテ計上)

三、差引支出超過 一、六五八五〇〇圓

一、基本財産

一、貯蓄金

第三、拓務省案ヲ不適當トスル理由

第一、政府ハ東拓ノ使命ヲ遂行セシムル要アルモ同社ノ現状ハ外債ノ肩替リヲ必要不可避トスル時期ニ在ラザルコト

一、東拓ハ現在約一億五千萬圓ノ社債發行餘力ヲ存シ自力ヲ以テ賤生ノ方法ヲ購ジ得ル餘力ヲ有スルコト

二、東拓ガ資金調達ノ方法ヲ有シ債務ヲ履行シ得ルニ拘ラズ政府ガ其ノ保證債務ノ責ニ任ジ外債ノ肩替リヲ爲スハ同社ノ株主保護トナルベキコト

第二、拓務省案ノ肩替價格七十七弗ハ不適當ナルコト

一、肩替價格七十七弗ハ安値ニ過ギ不適當ナルノミナラズ減債基金以外ノ償還期ニ於ケル償還ヲ考慮セズト認メラル、コト即チ東拓外債市價現在二五回分六八弗五七回分六五弗見當ナル處

(1) 政府外債ト東拓外債トハ其ノ市價ニ於テ從來十弗内外ノ値開キヲ有スルヲ以テ政府ガ肩替リヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ市價

(8. 5. 小川鶴)

三、拓務省ノ肩替價格七十七弗案ヲ實行スルトキハ政府ハ多額ノ損失ヲ蒙リ東拓ハ納付金ノ負擔ヲ加重スルニ至ルベキコト

尙政府ガ右ノ損失ヲ免レンガ爲ニハ外債市價ノ騰貴前像ノ成ルベク多額ノ外債ヲ買入ル、ノ必要ヲ生ズル所、此ノ如キハ多額ノ資金ヲ要スルノミナラズ政府ノ爲ス所作トシテ不適當ナリ

三、肩替價格七十七弗ハ爲替相場二十九弗替ニテ計算シアルモ最近ニ於ケル對米相場二十七弗半ニテ計算スルトキハ肩替價格ハ七十三弗弱トナルコト

第三、二分ノ一減資ニテハ不充分ナルコト

一、外債消替ヲ行フ爲ニハ肩替價格ノ引上ヲ要スル處依テ生ズル肩替損ノ増加ヲ補填スルガ爲ニハ東拓ハ一層強度ノ減資ヲ必要トスルコト

(1) 肩替損ノ補填財源ハ之ヲ資産ノ評價益ニ求ムルハ不堅實ナルニ付株主勘定ノ切捨ニ依ラザルベカラズ

大藏省

十、外債ノ消替ニ付、東拓ハ納付金ノ負擔ヲ加重スルニ至ルベキコト

尙政府ガ右ノ損失ヲ免レンガ爲ニハ外債市價ノ騰貴前像ノ成ルベク多額ノ外債ヲ買入ル、ノ必要ヲ生ズル所、此ノ如キハ多額ノ資金ヲ要スルノミナラズ政府ノ爲ス所作トシテ不適當ナリ

三、肩替價格七十七弗ハ爲替相場二十九弗替ニテ計算シアルモ最近ニ於ケル對米相場二十七弗半ニテ計算スルトキハ肩替價格ハ七十三弗弱トナルコト

第三、二分ノ一減資ニテハ不充分ナルコト

一、外債消替ヲ行フ爲ニハ肩替價格ノ引上ヲ要スル處依テ生ズル肩替損ノ増加ヲ補填スルガ爲ニハ東拓ハ一層強度ノ減資ヲ必要トスルコト

(1) 肩替損ノ補填財源ハ之ヲ資産ノ評價益ニ求ムルハ不堅實ナルニ付株主勘定ノ切捨ニ依ラザルベカラズ

（註）東拓株式市價調
 三、二分ノ一減資案ハ同社株式市價ニ對比シ有利ニ過グルコト
 二、二分ノ一減資ヲ行フ場合ニ於テモ適當ナル肩替價格ヲ算定シ
 得ルヤ疑問ナリ
 （註）

肩替價格	二分ノ一減資ノ場合	三分ノ二減資	四分ノ三減資
額面百弗ニ付肩替價格	八五〇〇〇千圓	九〇八三〇千圓	九三七五〇千圓
右ノ米貨換算額	二六五圓	二八四圓	二九三圓
二十九弗香ノ場合	七七弗	八二弗	八五弗
二十七弗半ノ場合	七三弗	七八弗	八〇弗五

三、二分ノ一減資案ハ同社株式市價ニ對比シ有利ニ過グルコト
 （註）東拓株式市價調

舊株(五十圓拂込)	十月六日現同上拂込額ニ	九月中最高	最低
新株(二十五圓拂込)	在ノ市價	對スル割合	
七・六〇	二〇〇〇	二一八〇	一九三〇
・三〇四	・四〇〇	八〇一	・三〇
		六・五〇	

大 蔵 省

昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	昭和十四年	昭和十五年	昭和十六年	昭和十七年	昭和十八年	昭和十九年	昭和二十年	昭和二十一年	昭和二十二年	昭和二十三年	昭和二十四年	昭和二十五年	昭和二十六年	昭和二十七年	昭和二十八年	昭和二十九年	昭和三十年	
...

第四、元金償還ニ當リ政府ノ蒙リタル損失金ヲ納付金ニ通算スルノ不適
當ナルコト

一、肩香外債ノ元金償還ノ場合政府ガ爲替相場及債券市價ノ變動ニ因
リ蒙リタル損失金ハ其ノ都度政府ト東拓トノ間ニ於テ決済セズ之
ヲ納付金ニ通算スルコトトナリ居レルモ右ハ政府ニ對シテハ多大
ノ損失ヲ蒙ラシメ且ツ東拓ニ對シテハ差當リ損失金ノ計上ヲ免ル
ルモ將來久シク業績ヲ低下セシムル禍根ヲ貽スヘシ

第五、納付金納付ノ條件ガ現在ノ補給金納付ノ方法ヨリモ東拓ノ爲有利
ナルコト

(註) 昭和八年度補給金ノ納付方法

株主ニ配當シ得ヘキ利益金ガ拂込資本金額ニ對シ年六分ノ
割合ニ達スル迄ハ其ノ半額、年六分ノ割合ヲ超過スル部分
ニ付テハ其ノ三分ノ二
本案ニ依ル納付方法

第六、拓務省案ニ依ル外債肩替ニ伴フ東拓ノ整理方法ヲ概括スレバ
 (イ) 株主勘定ノ切捨(一九三九、五〇〇圓)ニ依リテ外債肩替損ニ
 〇、八〇八、〇〇〇圓ヲ補填シ
 (ロ) 資産評價益(一、八二七、七〇〇圓)ヲ以テ不良資産(一〇、四〇
 〇、〇〇〇圓)ノ銷却ヲ行フ
 建前ナリト認メラルル處
 一、右ハ上述ノ如ク不備多キノミナラズ東拓ノ業務改善ニ資スルコト
 殆ドナシト認メラルルコト
 (ハ) 資産ノ評價益ニ依リ不良資産ヲ銷却スルハ單ニ帳簿上ノ整理ヲ
 行フニ過ギズ

株主ニ配當シ得ヘキ利益金ガ拂込資本金額ニ對シ年三分ノ
 割合ヲ超過スル場合ニ於テ年六分ノ割合ニ達スル迄ハ該超
 過金額ノ半額、年六分ノ割合ヲ超過スル部分ニ付テハ其ノ
 三分ノ二

(8, 8, 小川鶴)

(四) 株主勘定ノ切捨ハ結局外債肩替ニ因リテ生ズル債券市價ノ騰貴ニ伴フ損失金ヲ銷却スルコトトナルベク折角ノ整理モ證券所有者ヲ利スルニ止マルベシ若シ外債ノ政府肩替リヲ行ハザル場合ニ於テハ東拓ハ之ヲ負擔スル要ナキモノト認メラル

三、本案ハ外債ノ元利拂ニ當リ爲替相場及債券市場ノ變動ニ因リ生ズル損失ヲ一應總テ政府ノ負擔トスルモノナルヲ以テ東拓ノ爲應急策トナルベキモ納付金負擔ノ重壓ハ永ク存続スルニ至ルヘク東拓ノ整理ヲ促進スル所以ニ非サルコト

（Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is illegible due to fading and low resolution.)